

## 平成 25 年度 木津川上流管内河川レンジャー懇談会

### 次 第

日時：平成 25 年 7 月 31 日 (水) 10:00～

場所：近畿地方整備局木津川上流河川事務所 3F 会議室

★タイトルをクリックすると会議資料にジャンプします。

- 議事要旨
- 委員名簿

1. 平成 24 年度 運営報告について
2. 平成 25 年度 河川レンジャー年間活動計画について
3. 平成 25 年度 実施スケジュールについて
4. 運営要領(案)の改正について
5. 平成 25 年度 募集要領について
6. その他

# 平成 25 年度 木津川上流管内河川レンジャー懇談会 議 事 要 旨

(開催要領)

開催日時：平成 25 年 7 月 31 日(水) 10:00～

開催場所：国土交通省木津川上流河川事務所 3F 会議室

(議事次第)

1. 平成 24 年度運営報告について
2. 平成 25 年度河川レンジャー年間活動計画について
3. 平成 25 年度実施スケジュールについて
4. 運営要領(案)の改正について
5. 平成 25 年度募集要領について
6. その他

(会議状況)

全体状況	三上所長挨拶	木本会長進行
		
河川レンジャー説明①	河川レンジャー説明②	河川レンジャー説明③
		
会議状況①	会議状況②	会議状況③
		

(議事内容)

## 1. 開会

事務局より配布資料の確認ならびに出席会員の紹介後、近畿地方整備局木津川上流河川事務所、三上所長より懇談会開催に際しての挨拶が行われた。

## 2. 平成 24 年度運営報告について

木本会長の議事進行のもと、資料-1に基づき、事務局より平成24年度の運営報告が行われ、その後、西田・溝延河川レンジャーより平成24年度に実施された14件の河川レンジャー活動および年間活動計画外の活動2件の報告が行われた。補足として事務局より、平成24年度河川レンジャー活動のアンケート分析結果や参加者よりの感想・意見の報告を行った。

本議題に関しての会員の主な意見は以下のとおりとし、今後の河川レンジャーの運営に反映させていくこととした。

○昨年と比べて、参加者が格段に増えている。いろいろな形で広報しているのが、功を奏したのだと思う。今後ともますます続けていってほしい。

○『アンケート集計結果』の調査項目”活動をどこで知ったか”について、半分が「その他」とあるが、どういうところで知ったのか、わかる範囲で教えてほしい。

また、H24-⑧、⑨の活動で、「その他」が100%になっているので、おそらく他機関の広報で活動に参加されたのだと思うが、わかれば教えてほしい。

「学校の案内で知った」が2番目に多く、“どのような広報を希望するか”でも「学校のチラシ配布」が多いので、学校のチラシ配布はかなり効果があると思う。

→ 「その他」については、事務局から直接と、河川レンジャー自身から知人等への広報とういうことで、知人関係も含まれている。H24-⑧、⑨の活動については、地元の消防団等の集まりで人数が多かったので、「その他」とまとめさせてもらった。

学校のチラシ配布については、昨年度からの実績で、学校の中で紹介して頂けると、保護者へ連絡が行くこと、また集約がしやすいという点で、今年度もこの方法で進めてきた。

その他にも広報活動として、ホームページを出したり、伊賀地域における公共機関にも配布したりしているが、それを見て参加したという方は少ないと感じた。

○参加人数が増えてきたことはありがたい結果であり、小学校の夏休みの宿題の時期に合わせるなど、小学校に募集をかける時期が大事であると思う。

## 3. 平成 25 年度河川レンジャー年間活動計画について

木本会長の議事進行のもと、はじめに事務局より平成25年度河川レンジャー年間活動計画の概要説明を行い、続いて西田・溝延・吉岡河川レンジャーより、個々の活動について計画の補足説明が行われた。(資料-2)

本議題に関しての会員の主な意見は以下のとおり。

○H25-④「名張川ホテル再生に向けて(ほたる鑑賞会)」について、比奈知ダムでもホテル再生(自然再生)をしているので、できればタイアップしてやらせていただければありが

たい。

(公表すると、ホテルを取って帰られる人もおり、少なくなってきたという報告も受けているので、広げることはいいのか悩むところではあるが。)

○クリーンウォーキングの時に、堤防の安全も確認していただいているというお話があったが、どのように実施されているのか。

→ ごみを拾いながら、もぐらの巣穴などによって堤防に大きな変化がないか、決壊の恐れがないかなどについても見てもらうよう消防団にお願いしている。

○大変ありがたい話。堤防の安全確認は大変重要なため、いくつか事例をあげて、こういうところに注意して見てもらいたいということを消防団の方々に教えてあげてほしい。

○ごみに関しての意識をもつ場がもっとあればよいと思う。

『アンケート集計結果』を見ると、“川について感じていることや思っていること”については「ごみが多い」「汚い」、「どんな「川」になったらいいと思うか」では、圧倒的に「きれいな川になってほしい」とあり、“きれいな「川」にするためにみんなができること”では「ごみを拾う」とある。年齢順に見ると、小さい子どもが多く、その年代が「川がきれいになってほしい」と望んでいると感じている。クリーンウォーキングなど清掃活動もされているが、個々の活動の中で、ごみに関する意識をもつとか、ごみを拾う活動を組み入れるなど活動を通して周知していければ、子どもたちの思うきれいな川を早く実現できるのではないかな。

○今年度の活動に食文化学習がない。昨年度の活動のH24-⑦のアンケート集計結果を見ると、「なまずのかばやきがおいしかった」など良い意見があるので、ぜひたくさん企画してもらいたい。準備など大変だとは思いますが、これを続けることで、子どもの頃から「食べた」ということがよい経験になる気がするので、ぜひ続けてもらいたい。

→ 食文化学習は好評だったが、担当の西レンジャーは多くの活動を計画しており、特に今年は年4回の「やなせ子ども水辺調査隊」に力を入れているので、食文化学習を外す結果となった。

→ 食べ物は人を惹きつけるので、ひとつのポイントにするとより広がると思う。ぜひやってもらいたい。

○今年度はあまりホテルを見かけていない。温度や雨の関係があるのか？

→ 今年は非常に少ないところと、逆に増えているところがある。一番増えているところが、安部田地区で、今年で約5000匹発生している。名張川近辺の支流が減ってきている。

ゴールデンウィーク前は寒く、それ以降は一気に暑くなったので、うまく成長ができなかったのではないかな。

#### 4. 平成25年度実施スケジュールについて

木本会長の議事進行のもと、事務局より平成25年度実施スケジュールの説明が行われ、原案のとおり承認された。(資料-3)

## 5. 運営要領(案)の改正について

木本会長の議事進行のもと、事務局より河川レンジャー会議による主体的な運営を推進していくための改正や河川レンジャー応募要件の緩和に基づく運営要領(案)の改正についての説明が行われ、原案のとおり承認された。(資料-4)

本議題に関しての会員の主な意見は以下のとおり。

○淀川水系の他の河川レンジャーも意欲的に自主的にやっっていこうという動きになってきていると理解してよいか。

→ 淀川水系の他の河川レンジャーは淀川・琵琶湖・猪名川があり、木津川上流は淀川の仕組みを概ね踏襲した形で進めてきている。

淀川管内の河川レンジャーは20名以上もおられ、広範囲で活動されていることから、一同に会して情報交換を行う場が必要という面もあるが、木津川上流管内の河川レンジャーは現在5名であり、各河川レンジャーの活動にそれぞれ他の河川レンジャーが参加するなどコンパクトな形でやっているところが事情として違っており、今回の改正の提案にも繋がっている。

また琵琶湖や猪名川の河川レンジャーにおいてもそれぞれ仕組みや事情は異なるが、もっと河川レンジャーが主体となって運営していると聞いている。

○運営要領(案)について、改正日を平成25年7月31日とする。

## 6. 平成25年度募集要領について

木本会長の議事進行のもと、事務局より募集要領の説明が行われ、原案のとおり承認された。(資料-5)

## 7. その他

ホテル関連の活動は小学校でも好評だった。今年度配布した夏休み中の活動についてのチラシには6月にあるホテル関連の活動は掲載されていないので、来年の広報では検討していかなければならないと考えている。

## 8. 閉会

事務局より閉会の挨拶が行われ、「平成25年度 木津川上流管内河川レンジャー懇談会」を閉会した。

[次第に戻る](#)

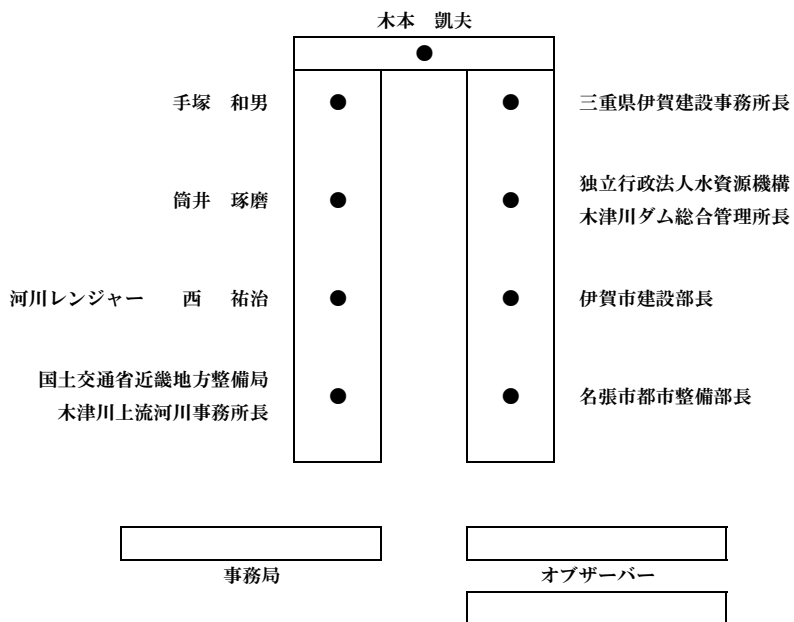
## 平成25年度 木津川上流管内河川レンジャー懇談会 会員名簿

日時：平成25年 7月31日(水) 10:00～

場所：近畿地方整備局木津川上流河川事務所 3F会議室

	分 類	氏 名 <small>ふりがな</small>	所 属 等	備 考
懇談会会員	学識経験者 及び見識者	木本 凱夫 <small>きもと よしお</small>	元三重大学大学院生物資源学共生環境学	
		手塚 和男 <small>てづか かずお</small>	三重大学教育学部特任教授(教育担当)	
		筒井 琢磨 <small>つつい たくま</small>	皇學館大学社会福祉学部教授	
	河川レンジャー	西 祐治 <small>にし ゆうじ</small>	レンジャー会議座長	
	自 治 体	里 宏幸 <small>さと ひろゆき</small>	三重県伊賀建設事務所長	
		柴田 和昭 <small>しばた かずあき</small>	独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所長	
		北山 太加視 <small>きたやま たかし</small>	伊賀市建設部長	
		前田 芳久 <small>まえだ よしひさ</small>	名張市都市整備部長	
	国土交通省	三上 章 <small>みかみ あきら</small>	国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長	

### 【配席表】



[次第に戻る](#)

## 平成24年度 運営報告について

[次第に戻る](#)

# 平成 24 年度 木津川上流管内河川レンジャー 運営報告

## 1.平成 24 年度 木津川上流管内河川レンジャー 運営内容

### 1-1 平成 24 年度木津川上流管内河川レンジャーの運営状況

平成 24 年度の木津川上流管内河川レンジャーの運営状況は次表のとおりです。

河川レンジャー活動は、平成 23 年度木津川上流管内河川レンジャー会議(平成 24 年 3 月 14 日開催)での年間活動計画の決定を受け、5 名の河川レンジャーによる全 14 件(内、個人活動 2 件)の活動が実施されました。

また、平成 24 年 6 月には年間活動計画以外の活動として、名張市旧細川邸やなせ宿で開催された「やなせ祭り」での河川レンジャーの PR 活動(やなせ祭り)が実施され、また、平成 25 年 2 月には、淀川管内河川レンジャー主催活動に協力参加を行いました。

各種会議や講座などの開催状況は、懇談会、レンジャー会議、推薦委員会、発見講座、養成講座がそれぞれ 1 回ずつ開催されました。

(表-平成 24 年度木津川上流管内河川レンジャー運営状況)

年月日	運営内容
平成24年4月～3月	★「水質調査」実施【個人活動】毎月1回実施
平成24年6月9日(土)	☆「やなせ祭り」PR活動の実施
平成24年6月11日(月)	「平成24年度木津川上流管内河川レンジャー懇談会」の開催
平成24年6月16日(土)	★「名張川ホタル再生に向けて(ほたる鑑賞会)」の実施
平成24年7月28日(土)	★「川下り・カヌー体験」の実施
平成24年7月29日(日)	★「名張川自然観察ウォーキング」の実施
平成24年8月5日(日)	★「遊んで学ぼう！水のはたらき」の実施
平成24年8月19日(日)	★「木津川源流探検とシャワークライミング体験」の実施
平成24年8月26日(日)	★「名張川水生生物調査と食文化学習」の実施
平成24年9月16日(日)	★「水防技術講習会①(伊賀市総合防災訓練)」の実施
平成24年9月20日(木)	河川レンジャーの募集(募集期間：平成25年1月10日(木)まで)
平成24年9月26日・27日 10月5日・26日	★「外来植物セイタカアワダチソウ削減策の調査」の実施【個人活動】
平成24年10月13日(土)	★「水防技術講習会②(一般参加者対象)」の実施
平成24年11月18日(日)	★「木津川源流探検登山」の実施
平成24年12月13日(木)	★「新居小学校防災学習会」の実施
平成25年1月20日(日)	「木津川上流発見講座」の開催
平成25年2月6日(水)	「平成24年度木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会」の開催
平成25年2月17日(日)～23日(土)	☆「木津川展」協力参加
平成25年2月24日(日)	「河川レンジャー養成講座」の開催
平成25年3月2日(土)	★「久米川(木津川)クリーンウォーキング」の実施
平成25年3月11日(月)	「平成24年度木津川上流管内河川レンジャー会議」の開催
平成25年3月24日(日)	★「名張川ホタル再生に向けて(ほたる幼虫放流体験)」の実施

★：年間活動計画に基づく河川レンジャー活動 ☆：年間活動計画外の河川レンジャー活動



## 1-2 平成 24 年度河川レンジャー活動状況

平成 24 年度の河川レンジャー活動の実施状況は次表のとおりです。

年間活動計画で決定された 14 件の活動に対して、1 件が雨天のため中止となりましたが、「H24-②」結果報告会として活動が 1 回追加されたため、全 14 回の活動が実施されました。（「H24-外」を除く）

（表-平成 24 年度木津川上流管内河川レンジャー活動状況）

No	活動名	担当 河川レンジャー	実施日時	募集人数 参加人数	備考
H24-①	水質調査	西田 【個人活動】	平成24年4月～平成25年3月 毎月1回実施予定 13:00～15:00 (作業各2時間)	-	
	変更なし	変更なし	平成24年4月～平成25年3月 毎月1回実施 9:00～12:00 (作業各3時間)	-	
H24-②	名張川ホタル再生に向けて (ほたる鑑賞会)	廣岡	平成24年6月 17:00～20:00 (3時間)	30名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名張地区まちづくり推進協議会・まちなか交流部会との連携活動</li> <li>・当日雨天のため、活動内容を縮小して実施</li> </ul>
	変更なし	変更なし	平成24年6月16日(土) 19:00～20:00 (1時間)	35名	
	(追加) 名張川ホタル再生に向けて (ほたる幼虫放流体験)	廣岡	平成25年3月24日(日) 9:00～12:00 (3時間)	11名	
H24-③	名張川自然観察ウォーキング	溝延	平成24年7月 13:00～17:00 (4時間)	20名	
	変更なし	変更なし	平成24年7月29日(日) 9:00～12:00 (3時間)	34名	
H24-④	遊んで学ぶ水の働き	溝延	平成24年8月 13:00～17:00 (4時間)	20名	
	遊んで学ぼう！水のはたらき ～ペットボトルで水の力について実験してみよう～	変更なし	平成24年8月5日(日) 9:00～12:00 (3時間)	43名	
H24-⑤	川下り・カヌー体験	西・廣岡 【合同活動】	平成24年7月28日(土) 10:00～15:00 (5時間)	70名	
	変更なし	変更なし	平成24年7月28日(土) 10:00～15:00 (5時間)	51名	

No	活動名	担当 河川レンジャー	実施日時	募集人数 参加人数	備考
H24-⑥	木津川源流探検と シャワークライミング体験	西・廣岡 ・池田 【合同活動】	平成24年8月19日(日) 10:00～16:00 (6時間)	50名	・淀川管内河川レンジャー (木津川)との連携活動
	変更なし	西・廣岡 【合同活動】	平成24年8月19日(日) 8:30～17:30 (9時間)	57名	
H24-⑦	名張川水生生物調査と 川魚試食からの食文化学習	西	平成24年8月26日(日) 13:00～16:00 (3時間)	30名	・やなせ宿との連携活動
	名張川水生生物調査と食文 化学習	変更なし	平成24年8月26日(日) 12:00～16:00 (4時間)	44名	
H24-⑧	水防技術講習会① (消防団員対象)	西田	平成24年9月上旬(日) 13:00～17:00 (4時間)	125名 (消防団) 140名 (自主防災会)	・伊賀市総合防災訓練と連 携して実施
	水防技術講習会① (伊賀市総合防災訓練)	変更なし	平成24年9月16日(日) 9:00～12:00 (3時間)	265名	
H24-⑨	水防技術講習会② (一般参加者対象)	西田	平成24年9月中旬(日) 13:00～17:00 (4時間)	60名	・伊賀市市民ふくし大学講 座と合同開催
	変更なし	変更なし	平成24年10月13日(土) 13:30～16:00 (2.5時間)	56名	
H24-⑩	外来植物セイタカアワダチ ソウ削減策の調査	溝延 【個人活動】	平成24年9月中旬・下旬 4日間予定 13:00～16:00 (計12時間)	-	
	変更なし	変更なし	平成24年9月26日・27日 10月5日・26日 13:00～16:00 (計12時間)	-	
H24-⑪	久米川(木津川)クリーン ウォーキング	西田	平成25年3月第一土曜 9:00～12:00 (3時間)	60名	
	変更なし	変更なし	平成25年3月2日(土) 9:00～12:00 (3時間)	59名	

No	活動名	担当 河川レンジャー	実施日時	募集人数 参加人数	備考
H24-⑫	木津川上流植生調査& クルミサーチング ※子どもを対象とした活動 と個人調査	池田	平成24年7月・10月 2回実施予定 13:00～17:00 (4時間)	30名	
	クルミサーチングと木津川 上流探検	変更なし	平成24年9月23日(日) 10:00～15:30 【雨天のため中止】	-	
H24-⑬	河川関係の地名研究 ※子どもを対象とした活動 と個人調査	池田	平成24年8月・11月 2回実施予定 13:00～17:00 (4時間)	30名	
	木津川源流探検登山-三峰 山で源流をつきとめ薬草観察 をしよう!-薬剤師と忍者研究 家が木津川源流を語る	変更なし	平成24年11月18日(日) 8:30～15:00 (6.5時間)	10名	
H24-⑭	学校教育プログラムへの組み 込み	西・廣岡・溝 延・西田・池田 【合同活動】	-	-	・学校教育プログラムでの 実施
	新居小学校防災学習会 ～身近な防災施設と川の水 質について学習しよう～	西田	平成24年12月13日(木) 8:45～12:00 (3.25時間)	27名	
H24-外	自治体等が開催する行事へ の参加	西・廣岡・溝 延・西田・池田 【合同活動】	-		
	やなせ祭り	西・廣岡 ・溝延 【合同活動】	平成24年6月9日(土) 9:30～16:00 (6.5時間)		・やなせ宿主催 ・河川レンジャー協力参加
	木津川展	西	平成25年2月17日(日) ～2月23日(土) (7日間)		・淀川管内河川レンジャー (木津川)活動への協力参加

## 2. 運営内容詳細

### 2-1 各種会議、講座等の開催状況

平成24年度に開催した懇談会などの各種会議、講座等の開催状況は以下のとおりです。

#### (1) 平成24年度 木津川上流管内河川レンジャー懇談会

1) 開催日時：平成24年6月11日(月) 15:00～17:00

2) 開催場所：近畿地方整備局木津川上流河川事務所 3F 会議室

3) 議事内容

1. 平成23年度運営報告について
2. 平成24年度河川レンジャー年間活動計画について
3. 平成24年度実施スケジュールについて
4. 運営要領(案)および審査要領(案)の改正について
5. 平成24年度募集要領について
6. その他

4) 決定事項

- ・運営要領(案)については、各種会議の円滑な運営を行うための改正(開催回数の削除等)と、伊賀市の組織変更に伴う改正に関する事務局提案が原案のとおり承認されました。
- ・審査要領(案)については、再任希望者と新規河川レンジャー応募者を総合的に評価できるよう、採択規定の改正に関する事務局提案が原案のとおり承認されました。
- ・平成24年度の募集要領ならびに実施スケジュールについては、上記の運営要領(案)および審査要領(案)の改正内容を反映させた事務局提案が原案のとおり承認されました。

#### (2) 平成24年度 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会

1) 開催日時：平成25年2月6日(水) 16:00～20:00

2) 開催場所：近畿地方整備局木津川上流河川事務所 3F 会議室

3) 議事内容

1. 審査要領(案)について
2. 河川レンジャー応募者並びに再任希望者によるプレゼンテーション
3. 審査
4. 河川レンジャー予定者の決定
5. その他

4) 決定事項

- ・新規河川レンジャー応募者1名によるプレゼンテーション、再任希望者4名による活動報告が行われ、新規河川レンジャー応募者1名、再任希望者4名が河川レンジャー予定者として決定されました。

#### (3) 平成24年度 木津川上流管内河川レンジャー会議

1) 開催日時：平成25年3月11日(月) 18:30～20:30

2) 開催場所：上野遊水地集中管理センター 2F 会議室

3) 議事内容

1. 平成24年度河川レンジャー活動報告
2. 平成25年度河川レンジャー年間活動計画の決定
3. 今後のスケジュール
4. その他

4) 決定事項

- ・平成25年度の河川レンジャー年間活動計画が承認されました。  
また、平成25年度は更なる地域連携の活性化を図っていくため、学校教育プログラムでの活動実施や地域の活動団体等との連携した活動の実施についても検討・実施していくこととなりました。

- ・今後のスケジュールについては、各種会議の開催時期等について状況に応じて検討・修正を行うこととし、事務局提案のとおり承認されました。

#### (4) 木津川上流発見講座

- 1)開催日時：平成25年1月20日(日) 10:00～16:45
- 2)開催場所：上野遊水地集中管理センター 2F 会議室
- 3)参加者：12名
- 4)カリキュラム：次表のとおり

(表-木津川上流発見講座カリキュラム)

講義内容	講義時間	講師
木津川上流の自然環境	10:10～10:55	元三重大学大学院生物資源学共生環境学 木本 凱夫
木津川上流の防災対策	11:05～11:50	国土交通省木津川上流河川事務所
木津川上流の防災施設見学	12:45～16:45	木津川上流管内河川レンジャー事務局

◇ 今年度は、リピーターの参加申込みに対応できるようなカリキュラムを検討し、木津川上流管内の防災施設見学を組み込みました。

#### (5) 河川レンジャー養成講座・体験講習会

- 1)開催日時：平成25年2月24日(日) 9:30～16:00
- 2)開催場所：上野遊水地集中管理センター 2F 会議室
- 3)参加者：河川レンジャー予定者4名
- 4)カリキュラム：次表のとおり

(表-養成講座・体験講習会カリキュラム)

講義内容	講義時間	講師
(中止)体験講習会① 「応急手当を身につけよう!!」	9:40～11:10	伊賀市消防本部 中消防署
(中止)体験講習会② 「川の水を調べてみよう!!」	11:20～12:20	木津川上流管内河川レンジャー事務局 中尾 博行
実践編	河川管理について	13:15～13:35 木津川上流管内河川レンジャー事務局 伊藤 繁之
	河川レンジャー活動について	13:45～14:40 木津川上流管内河川レンジャー事務局 木津川上流河川事務所 森下係長
	年間活動計画作りについて	14:50～15:50 木津川上流管内河川レンジャー事務局

◇ 河川レンジャー養成講座は、河川レンジャー予定者が活動を行う際に役立つような実践的な内容とし、体験講習会は、一般参加も対象とした体験型のカリキュラムを検討しましたが、体験講習会は、参加申込みが集まらず、中止することとなりました。

[次第に戻る](#)

活動No	H24-①	実施河川レンジャー	西田河川レンジャー
活動名	<b>水質調査</b> <b>(個人活動)</b>		
実施日	平成24年4月～平成25年3月まで 毎月1回実施(計12回)		
実施場所	久米川および往古川 7地点		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年を通して測定地点の家庭排水の水質がどのように変化するか、また指定外の汚水、油類などが排水されていないかを監視すると同時に川の水質がどれだけ汚染されているかの傾向を数値により判断する。</li> <li>・ 測定結果について発生元地域自治会に注意喚起や啓発、地方情報誌に「川の健康状態」等の記事を掲載依頼し、住民に汚染状態を訴える。</li> </ul>		
参加者	個人活動のため、参加者なし。		
活動内容	<p>観察水採取・パックテスト</p> <p>自宅出発～友生～芝床橋の順序で7ヶ所の採取地点より測定水採取 7ヶ所の測定水を所定の温度に保った後、PH測定開始、7ヶ所の測定水を希釈して一定の室内温度に保ち、COD測定開始</p> <hr/> <p>結果取りまとめ・測定用具片付け</p> <p>測定結果記録、測定用具水洗、後片付け</p> <hr/> <p>※調査結果取りまとめ中</p>		

## 平成24年度 河川水質調査値

項目	測定月		3月 20日		4月 13日		5月 16日		6月 15日		7月 17日		8月 15日			
	気温	水温	6℃	12℃	晴れ	17℃	18℃	晴れ	23℃	22℃	晴れ	23℃	23℃	晴れ	29℃	28℃
No	採取地点		pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD
①	木興池べり		6.5	17	7.5	13	7.0	15	7.0	15	7.0	17	7.0	13	7.0	13
②	JA木興入口		7.0	13	7	15	7.5	16	7.5	15	7.0	17	7.0	13	7.0	13
③	長田橋上		7.0	5	7.5	15	7.0	17	7.0	15	7.0	10	7.0	13	7.0	13
④	久保川原橋		7.0	0	7	6	7.0	6	7.0	13	7.0	7	7.0	13	7.0	13
⑤	白鳥グラウンド		7.5	20	7.5	18	7.5	15	7.5	15	7.0	13	7.5	13	7.5	13
⑥	天神橋		7.0	13	7	15	7.0	15	7.0	7	7.5	7	7.0	10	7.0	10
⑦	芝床橋		7.0	13	7	11	7.0	13	7.0	7	7.5	7	7.0	8	7.0	8

項目	測定月		9月 13日		10月 14日		11月 16日		12月 16日		1月 16日		2月 20日			
	気温	水温	31℃	26℃	晴れ	21℃	20℃	晴れ	16℃	12℃	晴れ	10℃	12℃	晴れ	7℃	7℃
No	採取地点		pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD
①	木興池下		7.0	16	7.0	17	7.5	15	6.5	15	7	60	7	30	7	30
②	JA木興入口		7.0	13	7.0	17	7.0	18	7.0	13	7	18	7	30	7	30
③	長田橋上		7.0	10	7.0	13	7.0	7	7.0	5	7	7	7	13	7	13
④	久保川原橋		6.5	5	6.5	5	7.0	5	7.0	5	6.5	5	6.5	11	6.5	11
⑤	白鳥グラウンド		7.0	18	7.5	20	7.0	12	7.5	13	7.5	18	7.5	20	7.5	20
⑥	天神橋		7.0	7	7.0	10	7.0	5	7.0	5	7	13	7	10	7	10
⑦	芝床橋		7.5	5	7.0	10	7.0	5	7.0	5	7	10	7	13	7	13

※12月以降積雪後の測定日より河川の水の色が黄色みを帯び始め濃くなってきている。  
 水路・河川の建設工事は確認できず、田畑よりの雪解け水による濁りおよび田の苗代下地作業とも考えられる。  
 ※1月、2月COD数値が高い原因は降雨量なく、河川への下水流入量増加とも考えられる。

# 平成24年度 往古川環境写真

①長田橋上



測定日 3月20日

②JA 木興入口



測定日 3月20日

③木興池ベリ



測定日 3月20日



測定日 4月13日



測定日 4月13日



測定日 4月13日



測定日 5月15日



測定日 5月15日



測定日 5月15日



測定日 6月15日



測定日 6月15日



測定日 6月15日



測定日 7月17日



測定日 7月17日



測定日 7月17日



①長田橋上



測定日 8月15日



測定日 9月13日



測定日 10月14日



測定日 11月16日



測定日 12月16日

②JA 木興入口



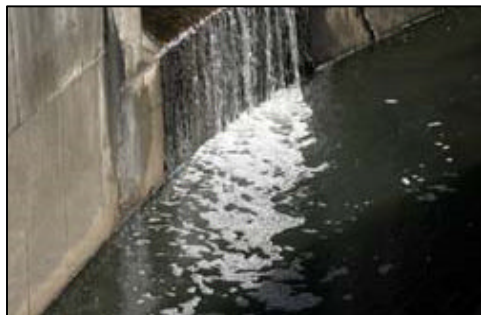
測定日 8月15日



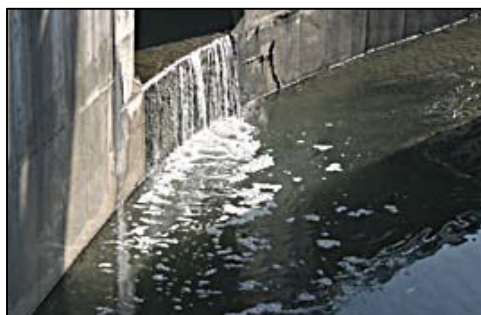
測定日 9月13日



測定日 10月14日



測定日 11月16日



測定日 12月16日

③木興池ベリ



測定日 8月15日



測定日 9月13日



測定日 10月14日

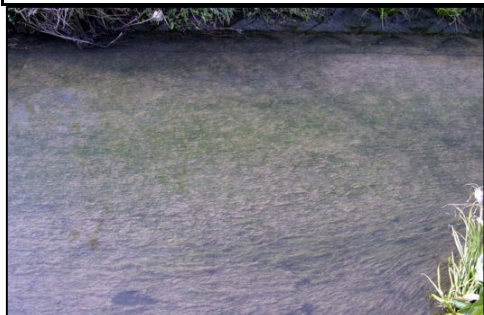


測定日 11月16日



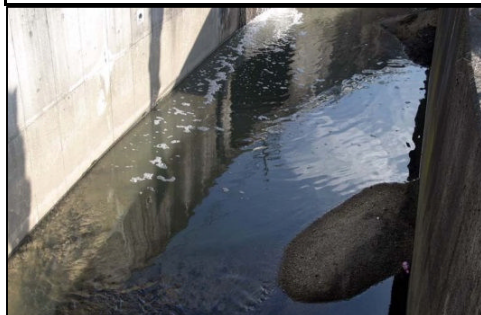
測定日 12月16日

①長田橋上



測定日 1月16日

②JA 木興入口



測定日 1月16日

③木興池ベリ



測定日 1月16日



測定日 2月20日



測定日 2月20日



測定日 2月20日

# 平成24年度 久米川環境写真



測定日 3月20日



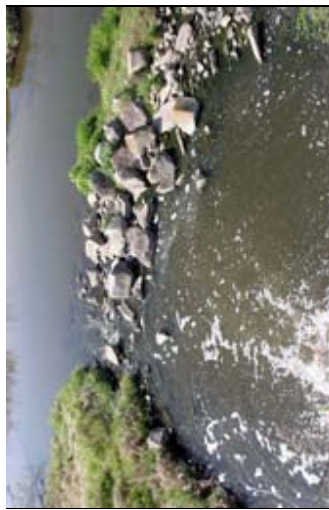
測定日 4月13日



測定日 5月15日



測定日 3月20日



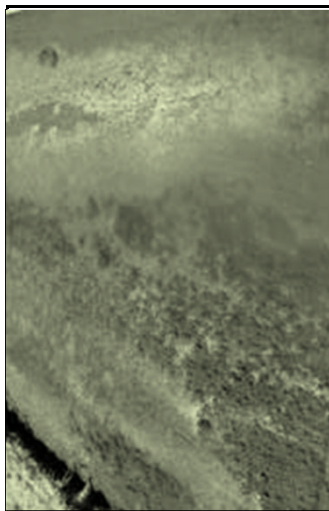
測定日 4月13日



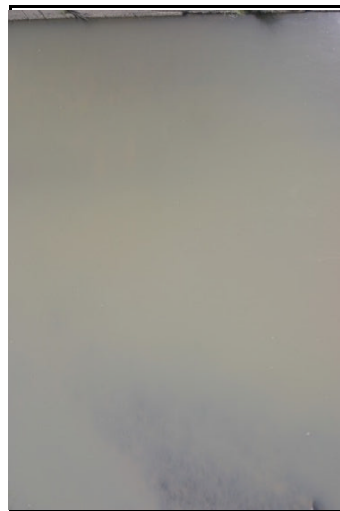
測定日 5月15日



測定日 3月20日



測定日 4月13日



測定日 5月15日



測定日 3月20日



測定日 4月13日



測定日 5月15日

④久保川原橋



測定日 6月15日



測定日 7月17日



測定日 8月15日

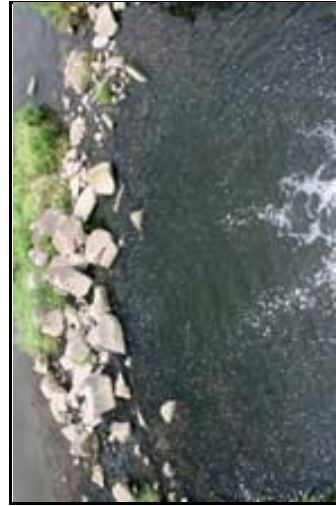
⑤白鳳グラウンド



測定日 6月15日



測定日 7月17日



測定日 8月15日

⑥天神橋



測定日 6月15日



測定日 7月17日



測定日 8月15日

⑦芝床橋



測定日 6月15日



測定日 7月17日

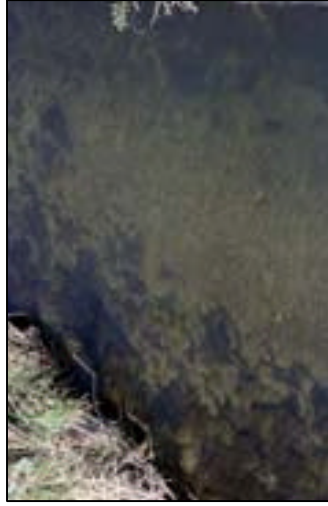


測定日 8月15日

④久保川原橋



測定日 9月13日

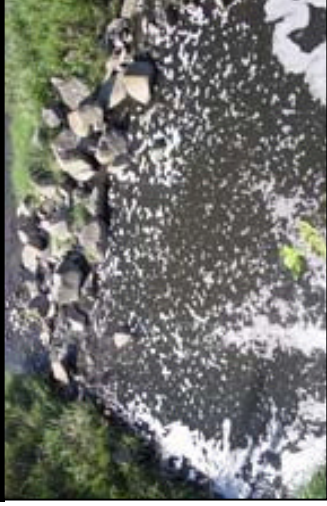


測定日 10月14日



測定日 11月16日

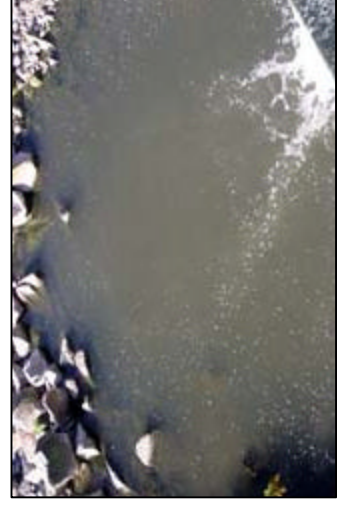
⑤白鳳グランド



測定日 9月13日



測定日 10月14日



測定日 11月16日

⑥天神橋



測定日 9月13日



測定日 10月14日



測定日 11月16日

⑦芝床橋



測定日 9月13日



測定日 10月14日

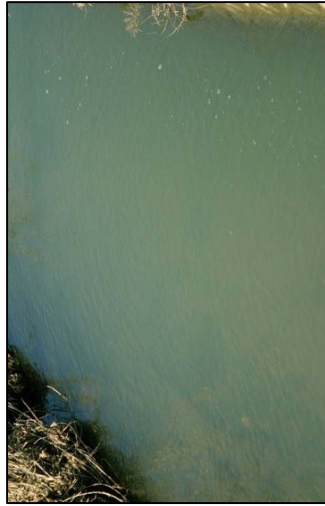


測定日 11月16日

④久保川原橋



測定日 12月16日

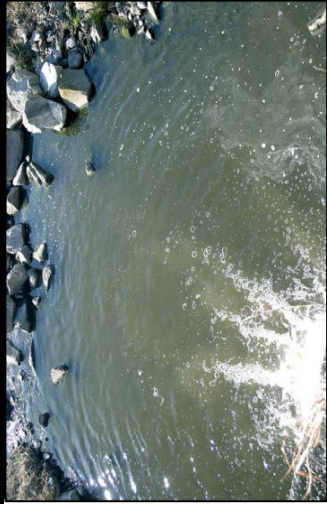


測定日 1月16日

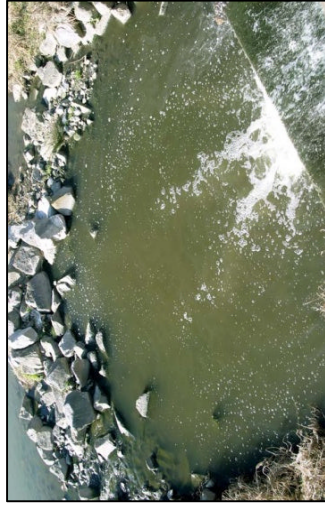


測定日 2月20日

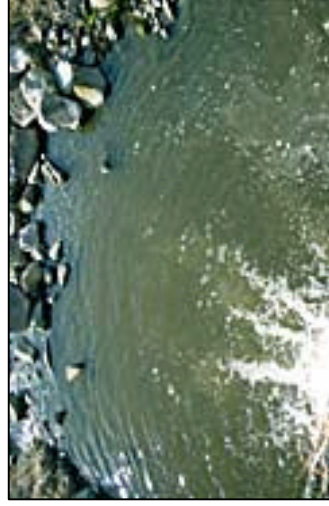
⑤白鳳グラント



測定日 12月16日



測定日 1月16日

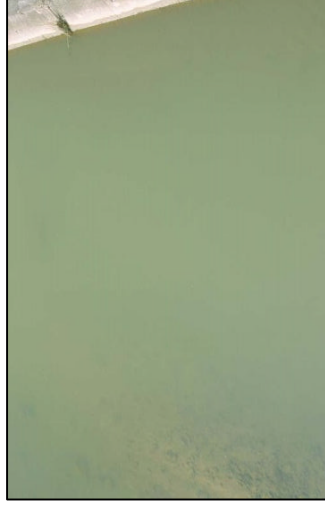


測定日 2月20日

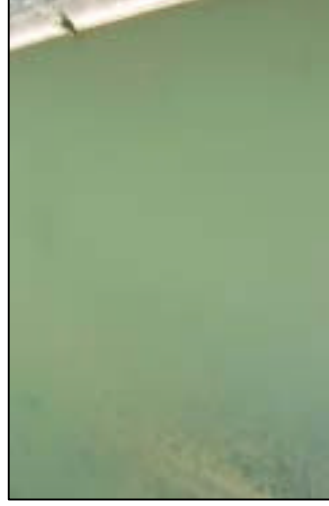
⑥天神橋



測定日 12月16日



測定日 1月16日



測定日 2月20日

⑦芝床橋



測定日 12月16日



測定日 1月16日



測定日 2月20日

活動No	H24-②-1	実施河川レンジャー	廣岡河川レンジャー
活動名	名張川ホタル再生に向けて(ほたる鑑賞会)		
実施日	平成24年6月16日(土) 19:00~20:00 ※当日雨天のため川での観察会を、屋内での鑑賞会に変更		
実施場所	名張市新町 旧細川邸やなせ宿		
活動目的	名張川・町なかホタルの再生に向け、平成22・23年度に引き続いて名張市まちづくり推進協議会・まちなか交流部会との連携による活動として、現在の状況(ホタル飛翔等)の観測、今後の課題及び進行中のカワニナ・ホタルの飼育状況を説明することにより、名張川の自然環境を考える機会となることを目的とする。 また、活動をPRして、今後の活動への理解協力を求める。		
参加者	35名		
活動内容	<p>①ホタルの生態・ホタル飼育状況の説明 19:00~19:35 やなせ宿にて、まちづくり推進協議会の竹中氏よりホタルの生態説明を行ない、河川レンジャーよりカワニナの飼育状況、昨年までのホタル再生に向けての取り組み状況の説明を行った。</p> <hr/> <p>②ホタルの鑑賞会 19:35~20:00 当日雨天のため、活動内容を一部変更し、やなせ宿内において事前に捕獲しておいたホタルの観察と生態の説明等を行った。(名張川河川敷でのホタル観察会は中止)</p> <hr/> <p>③アンケート 20:00~20:10 アンケートの記入をお願いし、今後の活動計画の参考となるよう参加者の感想などを聞いた。</p>		
講師	なし(名張地区まちづくり推進協議会 副会長 田畑 純也他協力)		
感想考察	<p>◆活動全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホタル鑑賞会当日は、あいにくの雨で当初の申込み人数より少なくなった。実際に来ていただいた人数は、参加者35名とスタッフ20名だった。</li> <li>・朝から雨が降ったりやんだりでもみながらの準備であった。</li> <li>・電話での問い合わせもあり「説明会だけでも実施したい」と開催を決定した結果、昨年よりたくさんの子供に参加いただいた。親参加者の感想より、自然体験や観察会には子供を参加させたいとの気持ちを感じとれた。</li> <li>・親ホタルの採取、えさとなるカワニナの飼育に質問もいただきながら説明をし、今後の活動に対する理解と協力をお願いできた。</li> </ul>		

感想  
考察

・観察会について、アドバンスコープからも取材を行っていただき、放映された結果、名張市民に、「まちづくり推進協議会」と「河川レンジャー」が連携して、名張川の再生に向けて、ホタルを呼び戻す活動を続けていることをアピールできたと思われる。

・今後の産卵状況を慎重に観察し、成長の中間報告が出来る様に工夫していきたい。また、参加者やホタル飼育の協力者をどんどん増やして、地域ぐるみの活動となるよう、経年的に続けていきたい。「名張川再生に向けて」マスコミ等へもPRをして、活動報告を取り上げていただくなど、地域に広報を行なっていきたい。

◆活動目的の達成状況について(アンケート調査結果等より)

・現在進行中のカワニナ・ホタルの飼育状況や、名張川のホタル再生に向けた取り組み内容を説明し、今後の活動への理解協力を求めることができた。

・「今まで無関心であったがこの活動が機会となり、川や水について興味を持った」「川、環境を良くして自然と共生する事を考えたい」などの意見をいただいたことより、名張川の自然環境についてもう一度考える機会とする目的は達成できたと考えます。また、昔の川の様子やホタルの飛翔の様子を聞くことができ、ホタルが飛び交う将来の川の姿をみんなで想像し共有できたことから、今後の活動への参加や人工飼育を共同で行っていくなど、地域全体の取り組みに発展していく1歩となったと考えます。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

・名張地区まちづくり推進協議会・まちなか交流部会との連携活動ということもあり、協議会や交流部会の方々に中心に動いていただき、スタッフ間の連絡調整や降雨による内容変更の判断等、円滑に実施できた。降雨のため、河川敷での観察会は中止としたが、事前に観賞用のホタルを捕獲しておいた事は的確な判断であったと思う。屋外での活動については、特に天気や現地の状況に左右されるので、十分な計画をする必要があるとあらためて感じた。

参加者  
意見

- 昨年に引き続き雨のため非常に残念です。
- いっしょに飼ってみたい。
- たくさんホタルが飛ぶ様になってほしい。
- 長く続けていただき、年々グレードアップして行ってほしい。(ホタルの数も含めて)
- 久しぶりにホタルの光っているのが見られてとてもうれしかった。
- 今まで比較的無関心であった。今回の参加を機会にもっと川や水に興味を持ちたいと思いました。
- 川、環境を良くして自然と共生する事を考えたい。

活動状況

説明状況



説明状況・アドバンスコープ取材





活動状況

説明状況



観察用飼育箱

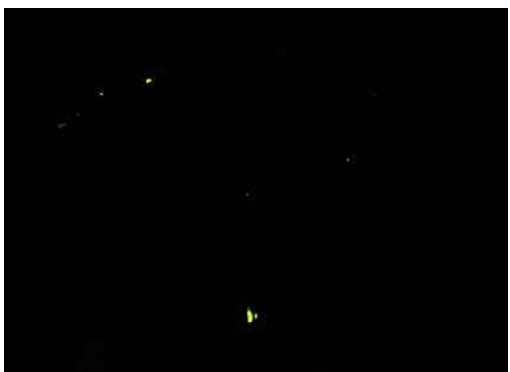
説明状況



親ホタル



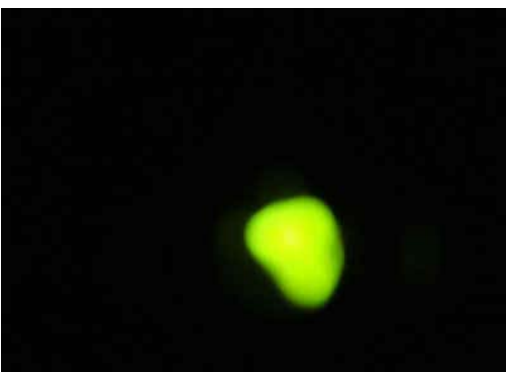
発光状況



カワニナ飼育状況



発光状況



カワニナ飼育状況



# 2012 なばり川 ほたる観賞会

～優雅なホタルの乱舞する里をめざして～

日 時：平成 24 年 6 月 16 日（土）  
午後 7 時から（2 時間程度）  
『ほたる再生のお話と観賞会』  
会 場：新町 旧細川邸やなせ宿  
\*少雨決行 先着 30 名 / \*申込み×切り 6 月 15 日（金）

※イオン名張店・愛宕神社（新町橋付近）の駐車場をご利用下さい。  
やなせ宿の駐車場はご利用いただけません。  
※動きやすい服でご参加下さい。



近鉄名張駅から徒歩約 14 分

## 開催趣旨

名張川では、数十年前まで 6 月になるといふところ、ホタルが飛び交い優雅で幻想的な風景が見られていました。ここ数年は水辺環境の変化とともに、このような風景が少なくなってきました。

そこで、豊かな水辺空間が存在する周辺環境を守り、『ほたる観賞会』を通じて地域連携の場として、また、自然環境についてももう一度考える機会となることを期待して、この鑑賞会を開催します。一緒にほたる鑑賞をしませんか？

## ホタルの見頃時期と乱舞時間

この地域では、毎年 6 月上旬から 2 週間ほど、夕暮れから午後 9 時までホタルの飛翔が見られます。（ホタルのオスが草むらでじっとしているメスを求めて飛び交います。）ホタルは風がなく暖かい日によく乱舞します。

### 参加申込み・お問い合わせ

名張地区まちづくり推進協議会 【TEL 64-2605】

木津川上流管内河川レンジャー事務局 【TEL 62-0476】

※FAX でお申込みいただく場合は「参加申込書」に必要事項を記入いただき、木津川上流管内河川レンジャー事務局 【FAX 62-0477】まで送付下さい。

### 参加申込書

参加者氏名 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 才 \_\_\_\_\_ 男性・女性 \_\_\_\_\_

保護者氏名 \_\_\_\_\_ ※小学校低学年以下の方の参加は、保護者もしくは引率者も一緒に参加下さい。

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

お電話 \_\_\_\_\_

主 催：まちなか運営協議会・名張市旧細川邸やなせ宿  
共 催：名張地区まちづくり推進協議会・まちなか交流部会・木津川上流管内河川レンジャー  
後 援：キッズスクウェア 支 援：国土交通省木津川上流河川事務所

活動No	H24-②-2	実施河川レンジャー	廣岡河川レンジャー
活動名	名張川ホタル再生に向けて(ほたる幼虫放流体験)		
実施日	平成25年3月24日(日) 10:00～11:45		
実施場所	名張市新町 旧細川邸やなせ宿		
活動目的	名張川・町なかホタル再生に向けて、6月に開催した「ほたる鑑賞会」より飼育していた、カワニナ・ホタルの飼育状況を説明し、今後の課題を話し合うことによって、地域連携の場としてこれからも継続的に実施することにより、名張川の自然環境についても一度みんなで作って考え、水辺に親しむ機会となることを目的とする。		
参加者	11名		
活動内容	<p>①ホタルの飼育状況説明 10:00～11:00</p> <p>ホタルの幼虫とカワニナの飼育状況について、今までの失敗談や今年成功した観察記録や今後の課題などを説明した。また、継続的に実施するために参加者にホタルの飼育協力依頼を行った。</p> <hr/> <p>②ホタル幼虫放流体験・アンケート 11:00～11:45</p> <p>散策道を宇流富志禰神社付近まで移動し、人工孵化したホタルの幼虫(70匹)とカワニナを、参加者全員で名張川に放流した。</p>		
講師	なし		
感想考察	<p>◆活動全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度～2年ホタルの幼虫を育てて、今年初めて、70匹ほどの人工孵化に成功した。</li> <li>・ホタルの幼虫を育てるには、卵からかえった後の水や温度などの環境を整えてあげることと、餌になるカワニナをいかに確保できるかであると思う。今回は、カワニナも一緒に育てた。</li> <li>・参加者全員ホタルの幼虫を初めて見たという意見であった。</li> <li>・せっかくの機会であったが、広報が少し遅かったことと、名張地区、名張小学校に限定したことが原因か参加者が少なかったのが残念である。</li> <li>・ホタルの飼育状況や方法の説明をする際、1年間かけてホタルの飼育日記(観察記録)をすることは"夏休みの自由研究"にも有効であるという内容の説明をした。参加者からの反応が良かった。今後、卵がかえった後から飼育をしたいという意見もいただいた。</li> </ul>		

感想  
考察

・今は、ホタルの幼虫を人工孵化で増やしているが、いずれは、自然のサイクルでホタルが増えるようにも考えていかなければならない。それには、ホタルが幼虫となったとき、どのようにしてカワニナを確保できるか、自然の中で餌となるカワニナをどのように増やすかが今後の課題である。

◆活動目的の達成状況について(アンケート調査結果等より)

- ・やなせ宿や参加者の意見より、来年もホタル鑑賞会やホタルの飼育を続けてほしいという意見や、近くに住んでいる方が当日参加されて、昔の川の状況なども聞くことができたことなど、地域連携の場として継続的に実施することにより、名張川の自然環境についてみんなで考え、水辺に親しむきっかけとなったと思う。
- ・今後、地域連携・世代交流の場として、また川の情報発信の場として、やなせ宿を拠点に、活動を継続していきたい。

参加者  
意見

- ・ホタルの幼虫をはじめて見た。
- ・ホタルの幼虫がこんなに気持ち悪いと思わなかった。
- ・蛍が飛ぶ川になってほしいです。
- ・目に見えない人達の努力に感動した。
- ・昔、川で泳いでいたので孫が同じように泳げる川になってほしい。

活動状況

ホタルの幼虫飼育状況



カワニナ飼育状況



ホタルの幼虫観察状況



ホタルの幼虫観察状況



活動状況

飼育について説明状況



飼育について説明状況



飼育について説明状況



飼育協力について依頼状況



飼育方法について確認状況



ホタル幼虫放流状況



ホタル幼虫放流状況



ホタル幼虫放流状況



# なばり川 ほたる幼虫放流体験

名張川では、数十年前まで6月になるといふところ、ホタルが飛び交い優雅で幻想的な風景が見られていました。ここ数年は水辺環境の変化とともに、このような風景が少なくなって来ました。

そこで、豊かな水辺空間が存在する周辺環境を守り、『ほたる幼虫放流体験』を通じて地域連携の場として、また、自然環境についてもう一度考え、水辺に親しむ機会が増えることを期待して、下記の要項で、河川レンジャーさんが人工孵化に成功したホタル幼虫の放流体験を開催致します。

貴重な体験と成ります。是非お誘い合わせの上ご参加下さい。

日 時：平成25年 3月24日(日)

午前10時～(2時間程度)

集合場所：新町 「旧細川邸やなせ宿」

放流場所：名張川

参加費：無料 小雨決行

募集人員：子供20名程度

(大人は放流できませんが参加人数制限は有りません)

最終〆切：平成25年 3月22日(金曜日)

∴ 動きやすい服装でご参加下さい。

駐車場は、イオン名張店・愛宕神社境内(新町橋付近)をご利用下さい。



※ 参加申し込み・お問い合わせの方は

名張市旧細川邸やなせ宿事務局 【電話 62-7760】

木津川上流管内河川レンジャー事務局【電話 62-0476】までお願いします。



主催：名張地区まちづくり推進協議会 まちなか交流部会  
共催：木津川上流管内河川レンジャー キッズスクウェア  
協賛：まちなか運営協議会 名張市旧細川邸やなせ宿  
支援：国土交通省木津川上流河川事務所

きりとせん

名張川 ほたる幼虫放流体験 参加申込

∴小学3年生以下のお子様は、保護者同伴でのご参加をお願いします。

お名前 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 才 \_\_\_\_\_ 男性 ・ 女性

ご住所 \_\_\_\_\_

お電話 \_\_\_\_\_ 保護者お名前 \_\_\_\_\_

活動No	H24-③	実施河川レンジャー	溝延河川レンジャー
活動名	名張川自然観察ウォーキング		
実施日	平成24年7月29日(日) 9:00~12:00		
実施場所	名張川河川敷(糸川橋~沖津藻大橋)		集合場所:平尾山カルチャーパーク
活動目的	名張川においてウォーキングしながら、バードウォッチングとビオトープの観察を行い、川環境と生物の関わり、川環境保全の重要性を学習するとともに、川べりを散策することによる癒し効果、日常の生活空間の広がりを体験してもらう。		
参加者	34名(小学生・幼児19名・保護者15名)		
活動内容	<p>①名張川ウォーキング 9:00~9:30 平尾山カルチャーパークより名張川河岸に歩み新夏見橋-糸川橋-新夏見橋-沖津藻大橋-新夏見橋-平尾山カルチャーパークの約2kmを歩行。</p> <hr/> <p>②バードウォッチング 9:30~10:30 上記行程において名張川に棲息している鳥類の観察を行った。 〔観察したもの〕・・・・・・ホオジロ、セグロセキレイ、アオサギ、ツバメ、スズメ、メジロ</p> <hr/> <p>③ビオトープ生物観察 10:30~12:00 名張川の河川敷内に設置したビオトープ(平成22年度活動で設置)で、棲息している魚介類、水生昆虫の観察、生物指標による水質の確認を行い、水質保全の認識を学習した。 〔観察したもの〕・・・・・・カワゲラ、サワガニ、ブユ、ヤマトビケラ、カワニナ、コオニヤンマ、ヒル、ムギツク、カワムツ、ハグロトンボ、コヤマトンボ、カワヨシノボリ、コオイムシ</p>		
講師	伊賀自然の会 日本野鳥の会会員 田中 豊成 近畿建設協会 中尾 博行		
感想考察	◆活動全般について 今回は、小学校への事前資料配布と名張市広報への掲載がスムーズになされ、応募者が短時間に殺到し、早々の募集打ち切りとなった。		

感想  
考察

前回までの反省点(活動タイトル名の平易化と募集チラシの配布時期の改善)がいかされた形となった。

夏休み中の自由研究の一環として利用されたようであったが、暑さ対策と、鮎釣シーズンで釣り人が各所におり、野鳥の種類が少ないという課題を残したが、熱中症になる人もなく無事に終了した。野鳥の数については季節的な変動があり、止むをえない事情があるが、ビオトープ観察は水温の高い時期にしないと参加者の不評をかうことが如実であり、夏休み中の自由研究の一環としての活動に組み入れてもらうならこの時期にせざるを得ないと思う。

時間が長いということと暑さ対策という観点からは、内容をバードウォッチングと水生生物観察に分離したうえ、短時間の活動として実施できる方法も検討したい。

バードウォッチングの場所については、川べりを良く見渡せて、自動車との接触がなく安全に活動できるという観点より現在の場所より優れたところはないと思う。

やなせ宿と同様の催しがあるが、駐車場問題、歩行距離の短さ等より、ウォーキングの要素が満たせずまいちの感がある。実施場所・内容も含めて良いところがあれば検討していきたい。

◆活動目的の達成状況について(アンケート調査結果等より)

川に親しみをもってもらい、ゴミ拾いなどを通じて河川環境を守ることに前向きな考えをいただけてもらったと思う。開催時間は、暑さ対策を考え、前は午後からの開催としたが、今回は午前の開催に変更した。

バードウォッチングだけであれば、橋の下、木の陰でゆとりをもちながら実行できたと思う。ビオトープ観察時の暑さ対策としてパラソル、簡易テントを用意したが、参加人数と催しの時間配分より、ゆとりのない中での実施となり、日陰で休みつつ遂行することが不十分だったのではないかと思う。

アンケート回答より、川の中にいろいろな生き物がいることを初めて観察し、川の環境を守ることが大切なことであるとの意見をいただいたので、川の環境と生物の関わりが深いということ、川の環境保全が重要であるという理解が進んだのではないかと思う。。

子供たちに安全に川べりを歩き、名張川の自然を観察する機会を与えることにより、川への一層の関心をもっていただくことができたと思うので、活動目的は達成できた。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

イベント実施可否の判断基準として、ビオトープの水位が通常時より15cm上回った場合に設定したのは適切であった。

協力スタッフが少ない場合は、活動開始前の注意事項説明等で、参加者に危険な場所を説明したり、保護者にも子どもたちの安全管理をお願いするなど、出来る限りの対応を工夫して、十分な安全管理ができる活動を実施していきたい。

参加者  
意見

大変おもしろかった。

暑かった。

安全で楽しく談話できる場所(河岸)としてほしい



活動状況

集合状況



河川への移動状況



バードウォッチング状況



ダムについての説明



ビオトープ観察状況



ビオトープ観察状況



ビオトープ観察状況



活動後のまとめ、開催



伊賀市・名張市内  
小学校へ配布

木津川上流管内  
**河川レンジャー**

**夏休み  
自由研究！**

**川で自然観察をしよう！**

木津川  
川下りとカヌー体験

平成24年7月28日(土)  
10:00~15:00

●場所: 伊賀市依那古地区木津川河川敷  
●定員: 70名(小学3年生以下は保護者同伴)  
●申込〆切: 7月26日(木)まで

※着替え、タオル、替えの靴を持ってきて下さい。  
※動きやすい服(長そで・長ズボン)、はきなれた靴で参加下さい。

木津川  
源流探検と  
シャワークライミング体験

平成24年8月19日(日)  
8:30~16:30

木津川の源流を訪(たず)ね、川はどこから誕生するのか見てみよう。源流近くの渓流でシャワークライミングをして川の流れを体で感じ、身を守る方法を考えよう。

●場所: 伊賀市奥馬野  
●定員: 25名(小学3年生以下は保護者同伴)  
●申込〆切: 8月16日(木)まで

※着替え、タオル、替えの靴を持ってきて下さい。

名張川  
自然観察ウォーキング

平成24年7月29日(日)  
9:00~12:00

名張川をウォーキングしながらバードウォッチングと水の中の生きものを観察しよう。

●場所: 名張川河川敷(平尾山カルチャーパーク集合)  
●定員: 20名(小学3年生以下は保護者同伴)  
●申込〆切: 7月26日(木)まで

遊んで学ぼう！  
水のはたらき

平成24年8月5日(日)  
9:00~12:00

ペットボトルで水車・水鉄砲などを作って水の力を実践しよう。筏(いかだ)にものってみよう。

●場所: 名張川河川敷(積田神社付近)  
●定員: 20名(小学3年生以下は保護者同伴)  
●申込〆切: 8月3日(木)まで

名張川水生生物調査と  
食文化学習

平成24年8月26日(日)  
11:00~16:00

名張川の生きもの調査をして、川の様子を観察しよう。また、昔の人が食べていた川魚の試食から、食文化について学習しよう。

●場所: 名張市やなせ宿  
●定員: 30名(小学3年生以下は保護者同伴)  
●申込〆切: 8月23日(木)まで

※参加申込については、裏面「参加申込書」を木津川上流管内河川レンジャー事務局にFAXでお送り下さい。

道の駅、市民活動センター等  
公共機関へ配布

**参加者募集**

**名張川自然観察ウォーキング**

~名張川を歩いてバードウォッチングと水の中の生きものを観察しませんか~

日時	平成24年7月29日(日) 9:00~12:00
場所	名張川河川敷(新夏見橋付近)
定員	20名(先着順)
参加料	無料
対象者	どなたでも 小学3年生以下の方は保護者同伴でご参加下さい。
内容	専門の先生に教えてもらって、名張川のバードウォッチングとピオトープの生きものを観察します。どんな生きものを見つける事ができるかな？
持ち物	・あればバードウォッチング用双眼鏡 ・ぬれる場合がありますので替えの服と靴、タオルを準備下さい。
その他	・川の水位が高くなっている場合や雨天の場合は活動を中止します。(当日8:00に決定)

**集合** 平尾山カルチャーパーク入口付近 9:00受付

【集合までのアクセス】  
●鉄道の場合  
近鉄名張駅下車  
駅1徒歩約12分  
●車の場合  
平尾山カルチャーパークの駐車場をご利用下さい。

活動No	H24-④	実施河川レンジャー	溝延河川レンジャー
活動名	<p align="center"><b>遊んで学ぼう！ 水のはたらき</b>  <b>～ペットボトルで水の力について実験してみよう～</b></p>		
実施日	平成24年8月5日(日) 9:00～12:00		
実施場所	名張川河川敷（糸川橋下流）		
活動目的	<p>模型の水車、ペットボトル筏、ペットボトル風車船、水鉄砲などの工作物で実験する事により、直接、水に触れ、水の持つ多様な物理的性質を理解し、水の力のすごさや怖さ、川の性質を知る事により、川で身を守る安全知識について学習する。</p>		
参加者	43名（小学生・幼児25名・保護者18名）		
活動内容	<p>①洪水記念確認及びダム機能説明 9:00～9:30  糸川橋下流の小公園に設置されている洪水記念碑の説明及びダム機能説明</p> <hr/> <p>②模型水車実演、サイフォン実験、水鉄砲遊び、ペットボトル帆掛け舟製作等 9:30～10:50  模型の水車を川につけ 実際に水をおくることが出来ることを確認。サイフォン効果で水を取り出す実験と竹樋で水を送る実験、帆掛け舟の製作と遊び、ささ舟の製作と舟流し遊び。風船ジェット船での舟遊びを行い、水に親しむ機会を提供した。</p> <hr/> <p>③ペットボトル筏試乗 10:50～12:00  手作りのペットボトル筏を組み立て、約10mの距離を試乗してもらい、非日常の体験と浮力について学習した。</p>		
講師	なし		
感想考察	<p>◆活動全般について  今回は、小学校への事前資料配布と名張市広報への掲載がスムーズになされ、応募者が短時間に殺到し、早々の募集打ち切りとなった。前回までの反省点（活動タイトルを平易化、チラシ配布時期の改善）がいかされた形となった。  夏休み中の自由研究の一環として利用されたようであったが、手作りの工作物で各人が楽しんでいただいたようで、川遊びの楽しさを体験できたのではないかと思います。ただ、実施メニューがやや多く説明が雑になった感があり、今後、進行方法や興味を持ってもらえる説明方法などを工夫する必要があります。</p>		

感想  
考察

◆活動目的の達成状況について(アンケート調査結果等より)

川に親しみをもってもらい、ゴミ拾いなどを通じて河川環境を守ることに前向きな考えをいただけてもらえたと思う。

参加者の中にゴム草履なのでケガをしたという感想があった。現場は事前に草刈をしていたが、ヨシの茎の切り口は鋭利であり対策として長靴の着用が必要かと判断される。遊歩道用の歩道が確保できれば、問題解決の一助になると思う。

今回の工作物はオリジナリティのあるもので、初めて作成する楽しみがあったものと思うが、参加者多数の場合、材料の準備と、現場での作業時間、理科実験の要素を含むという観点から、進め方が難しいという事が問題としてあがった。今後は、進め方や説明方法について検討していきたい。

参加者は川べりで、実際に水につかり水遊びの楽しさを堪能することができたと思う。

危険の一字により、川より人を遠ざける現況を一步打破できたと思うので、活動目的は達成できた。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

活動実施可否の判断基準として、ビオトープの水位が通常時より15cm上回った場合に設定したのは適切であったと思う。

安全面については、参加人数に応じて安全監視のスタッフを確実に確保しておく必要があったと思う。

活動実施前にスタッフに詳しく説明し、配慮を求める時間の設定が必要とも感じた。

参加者有りのリハーサルが出来ない状況での本番実施ということ、参加者とは初対面ということで、参加者の特性を把握する時間もなく、安全面で、なお一層の配慮が必要(参加人数)と感じられた。

天気については、アメダス・天気図・ピンポイント情報を参酌し、当日の実行を決定した。

また、前日、水資源機構木津川ダム総管理事務所所長に活動実施を伝え、ダム放水について確認する等、安全面の配慮をしたにもかかわらず、活動の時間帯に小雨に見舞われた。

予報にない急な天気のくずれ等に備えても対策をとる必要があると感じた。

今後は、いろんな場合を想定した万全の体制で活動実施したい。

参加者  
意見

大変おもしろかった。

家庭ではできない貴重な体験ができた。

ゴムぞうりであったので、草のカブで足を切ったりした。今後は靴も必要と思った。

ペットボトル筏と水車はおもしろかった。

初めての体験ばかりで興味深く楽しかった。

こどもがひとつひとつ楽しくあそんでいたのが良かった。

活動状況

集合状況



伊勢湾台風時洪水記念碑説明



活動状況

水車実験状況



サイフォン実験状況



水鉄砲遊びの状況



風船舟進水状況



笹舟遊びの状況



ペットボトル帆掛け舟進水状況



ペットボトル筏試乗状況



ペットボトル筏試乗状況



伊賀市・名張市内  
小学校へ配布

木津川上流管内  
**河川レンジャー**

**夏休み  
自由研究!**

**川で自然観察をしよう!**

**木津川  
川下りとカヌー体験**

**平成24年7月28日(土)  
10:00~15:00**

- 場所: 伊賀市依那古地区木津川河川敷
- 定員: 70名(小学3年生以下は保護者同伴)
- 申込〆切: 7月26日(木)まで

※着替え、タオル、替えの靴を持ってきて下さい。  
※動きやすい服(長そで・長褲)、はきなれた靴で参加下さい。

**名張川  
自然観察ウォーキング\***

**平成24年7月29日(日)  
9:00~12:00**

名張川をウォーキングしながら  
ハードウォッチングと水の中の  
生きものを観察しよう。

- 場所: 名張川河川敷  
(平尾山カルチャーパーク集合)
- 定員: 20名(小学3年生以下は保護者同伴)
- 申込〆切: 7月26日(木)まで

**木津川源流探検と  
シャワークライミング体験**

**平成24年8月19日(日)  
8:30~16:30**

木津川の源流を訪(たず)ね、川はどこから誕生  
するのか見てみよう。源流近くの渓流でシャワー  
クライミングをして川の流を体で感じ、  
身を守る方法を考えよう。

- 場所: 伊賀市奥馬野
- 定員: 25名  
(小学3年生以下は保護者同伴)
- 申込〆切: 8月16日(木)  
まで

※着替え、タオル、替えの  
靴を持ってきて下さい。

**遊んで学ぼう!  
水のはたらき**

**平成24年8月5日(日)  
9:00~12:00**

ペットボトルで  
水車・水鉄砲などを  
作って水の力を  
実験しよう。  
筏(いかだ)にも  
のってみよう。

- 場所: 名張川河川敷(積田神社付近)
- 定員: 20名(小学3年生以下は保護者同伴)
- 申込〆切: 8月3日(木)まで

**名張川水生生物調査と  
食文化学習**

**平成24年8月26日(日)  
11:00~16:00**

名張川の生きもの  
調査をして、川の  
様子を観察しよう。また、昔の人が食べていた川魚  
の試食から、食文化について学習しよう。

- 場所: 名張市やなせ宿
- 定員: 30名(小学3年生以下は保護者同伴)
- 申込〆切: 8月23日(木)まで

※参加申込については、裏面「参加申込書」を木津川上流管内河川レンジャー事務局にFAXでお送り下さい。

道の駅、市民活動センター等  
公共機関へ配布

**遊んで学ぼう! 水のはたらき**
参加者募集

~ペットボトルで水の力について実験してみよう~

日時	平成24年8月5日(日) 9:00~12:00
場所	名張川河川敷(糸川橋付近)
定員	20名(先着順)
参加料	無料
対象者	どなたでも 小学3年生以下の方は保護者同伴でご参加下さい。
内容	ペットボトルでつくった水車、竹製の水鉄砲 遊び、ペットボトル帆かけ船づくりなどで水 の力について実験します。筏(いかだ)にも のってみよう。うまく水に浮くことができる かな?
持ち物	・ぬれる場合がありますので替えの服と靴、 タオルを準備下さい。
その他	・川の水位が高くなっている場合や雨天の 場合は活動を中止します。(当日6:00に決定)

**集合** 名張川 積田神社の前 9:00受付  
 [会場までのアクセス]  
 ●徒歩の場合  
 近鉄名張駅下車  
 東に徒歩約20分  
 ●車の場合  
 積田神社横  
 東山商會  
 の駐車場を  
 ご利用下さい。

活動No	H24-⑤	実施河川レンジャー	西河川レンジャー・廣岡河川レンジャー ※合同活動
活動名	川下り・カヌー体験		
実施日	平成24年7月28日(土) 10:00～15:00		
実施場所	伊賀市依那古地区 木津川河川敷		
活動目的	<p>参加者に川の中を歩いてもらい、川底が滑る事や急に深さが変わる事、流れの強さを体験してもらう。</p> <p>その体験の中からどうすれば安全に川と付き合えるのか、川を楽しむ事が出来るかを体験してもらう。</p> <p>また川遊びとしてカヌー体験も行い、川と触れ合い、川の事・環境の事を考えるきっかけ作りを行う。</p>		
参加者	<p>51名 (小学生・幼児31名、保護者20名)</p> <p>●伊賀市、名張市、生駒市、守口市から参加</p>		
活動内容	<p>①川下り体験 10:00～11:30</p> <p>伊賀市沖地区河川敷より、市部地区までの約1 kmを、川の様子や危ないところを確認しながら、保護者も含めて川を歩き、流れながら、川下りを体験した。</p> <hr/> <p>②カヌー体験と水際観察 13:00～15:00</p> <p>沖地区河川敷前で、2班に分け、カヌー体験と水際観察会を実施し、川遊びの楽しさを体験した。</p>		
講師	なし (依那古体験隊 辻 元嗣他協力)		
感想 考察	<p>◆活動全般について</p> <p>今回、早めの計画とチラシ作製を行い、伊賀市・名張市の全小学校に配布したところ、多くの申し込みがあり、定員締め切りで申し込みを断らざるを得ない状況にあった。子ども達及び保護者の川での体験学習に興味がある事をあらためて感じた。</p> <p>伊賀市、名張市の一般からの参加者は初めて体験する人が多く、アンケートを確認すると「楽しかった」「面白かった」という意見が多く、川に対する興味や考えを持ってもらうまでには至っていない部分もあるが、広く一般の子ども達と保護者の方に、川を体験してもらう目的は果たしたと考える。遊びと体験の中から、川をきれいにする必要がある事は感じてもらえたと思うので、今回の体験を子ども達が今後に生かしてくれる事を期待したい。</p>		

感想  
考察

◆活動目的の達成状況について(アンケート調査結果等より)

今回、伊賀市・名張市他からの多数の参加申込があり、一般市民の中でも川に関する体験学習に興味がある事をあらためて知った。

参加に際しては保護者の方にも川下りを実際に体験してもらい、

最初は「私も入らないといけないのですか…」というお母さんもいたが、良い体験が出来たとの声もあり、実際に家族でこういった体験をしてもらう事に意味があると思っている事に対しては、有意義な活動が出来たと思う。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

参加人数が多く、安全確保が危惧されたが無事終了した。

川下りの活動範囲を一昨年より約半分に短縮した為、物足りなかった参加者もいたようだが、

参加者の安全と体調を考えると結果的には良かったと考える。

熱中症対策として、当初の予定以上に飲料水などを準備した点と、依那古体験隊協力スタッフを含めて事前の環境整備と準備を十分に行った事が良かったと思う。

参加者  
意見

- (子ども)
- ・面白かった、楽しかった
  - ・また参加したい
  - ・川の流りが楽しかった
  - ・カヌーが難しかった
  - ・もっと川を知りたくなった
  - ・もっと時間が欲しかった
  - ・友達が出来て良かった
  - ・魚がとれなくて残念だった

- (大人)
- ・面白かった、楽しかった
  - ・また参加したい
  - ・子どもの教育に良いと思った
  - ・友人がたくさんできて良かった
  - ・子どもと一緒に体験できてよかった
  - ・夏休みの良い経験になった
  - ・川は思ったより深くて驚いた
  - ・川に興味を持った

参加者の声

- ・子ども達も喜んでおり、なかなか出来ない貴重な体験をさせてもらいました。来年も参加したいので、早めの案内が自宅に欲しい。
- ・川のきれいな所でやって欲しい。
- ・川下りには少し抵抗があったのですが、思い切ったら楽しかった。
- ・きれいな水でシャワーが浴びれたら言う事無しですが…。

活動状況

活動開始前の説明と班分け状況



全員での記念撮影状況





活動状況

川下りスタート直後の状況



郡橋からの活動状況



川下り後半の状況



昼食のカレーの提供状況



カヌー体験の状況



カヌー体験の状況



水生生物調査の状況



水生生物調査の状況



# 夏休み 川とのふれあい大作戦!

## 川に触れ、川に遊ぼう

7月 28日(土)  
10:00~15:00

### 『木津川 川下りとカヌー体験』

木津川を歩き、川の中の様子や川の流れを体で体験しましょう。  
そして川の幅さを知り、川の楽しさを感じましょう。

場所：伊賀市依那古地区 木津川河川敷  
定員：70名  
(小学3年生以下は保護者同伴)  
協力：依那古体験隊



自然豊かな伊賀の子どもたちへ

私達が住む伊賀にはきれいな川が流れています。夏休みの間に、そんな川とふれあってみませんか。家族・お友達みんなで川に遊び、川を知り、川とふれあう体験をしてみましょう。



## 源流を探し、 渓流を体験しよう

8月 19日(日)  
8:30~16:30

### 『木津川源流探検と シャワークライミング体験』

木津川の源流を訪ね、川の誕生を知り、源流近くの渓流を体験しましょう。

場所：伊賀市坂下、及び大山田馬野溪谷  
定員：25名  
(小学3年生以下は保護者同伴)  
協力：自然とゆかいな仲間たち

## 川を調べ、 川を味わおう

8月 26日(日)  
11:00~16:00

### 『名張川水生生物調査と 食文化学習』

名張川の魚や水辺の生き物を探し、川魚の試食から昔の人の食文化について学びましょう。

場所：名張市やなせ宿周辺  
定員：30名  
(小学3年生以下は保護者同伴)  
協力：やなせ宿



※申し込み方法など  
くわしくは裏面をご覧ください

木津川 川下りとカヌー体験		集合
日時	平成24年7月28日(土) 10:00~15:00	伊賀市依那古木津川河川敷グランド 9:45受付開始
場所	伊賀市依那古(沖地区) 木津川河川敷	【金沢7ヶ所】 車の場合:上野原よりH42を10分、 高山交差点より10分 伊賀鉄道の場合:依那古駅下車徒歩5分
定員	70名(先着順) ※参加費無料【申込〆切 7/26(木)】	
対象	小学生以上 ※3年生以下の方は保護者もしくは引率者の方同伴をお願いします。	
持物	動きやすい服装(長袖・長ズボン)はきなれた靴着替え、タオル、替えの靴 お茶などの飲料水も各自で準備してください。	
その他	雨天の場合は中止とします。	
内容	10:00~12:00 川下り 12:00~13:00 カレーでの昼食 13:00~15:00 カヌーやゴムボートでの川遊び 水辺の水生物調査	

活動No	H24-⑥	実施河川レンジャー	西河川レンジャー・廣岡河川レンジャー ※下流・田中木津川レンジャーとの合同活動
活動名	木津川源流探検とシャワークライミング体験		
実施日	平成24年8月19日(日) 8:30～17:30		
実施場所	伊賀市青山・坂下地区 木津川源流 及び 大山田地区 奥馬野・馬野溪		
活動目的	木津川の源流を訪ね、周りの環境を知り、川の誕生を確認する事から川の大切さを感じてもらう。 また源流近くの溪流でのシャワークライミング体験より、川の流れを体で感じて身を守るすべを体験しながら川遊びの楽しさを体験する。		
参加者	57名 (小学生・幼児32名、保護者25名) ●伊賀市、名張市、生駒市、守口市から参加 ●下流の木津川レンジャー関係は、内18名		
活動内容	<p>①木津川源流探検 8:30～11:50 バスにて伊賀市青山へ移動。 伊賀市青山坂下地区の林道を約4kmを歩き、木津川の源流を探して登った。</p> <hr/> <p>②馬野溪でのシャワークライミング体験 13:30～17:30 参加者を低学年・高学年で計4班に分け、自然とゆかいな仲間達の皆さんの指導の元、シャワークライミング体験を実施した。</p>		
講師	なし (木津川出張所管内河川レンジャー他協力)		
感想 考察	<p>◆活動全般について 一日の中で、源流探検とシャワークライミング体験の活動には、少し無理があったと思う。 参加者の中からも意見はあったが下流との交流や夏休みの計画を考えた場合、時間的にきつい部分がある事は承知の上で実施した。 参加者の意見として「正直、川の源流を探そうなんて、考えたことなかった。目からウロコやった」という意見もあり、川と親しむ上で一つのきっかけになったと思う。 山で保水された雨水がしみ出て、それがたくさん集まり木津川になること、源流(馬野溪谷)の水は冷たく美味しいこと、水流は思っている以上に強いことは実感として理解してもらえたと思う。</p>		

感想  
考察

◆活動目的の達成状況について(アンケート調査結果等より)

時間的には予想はしていたが、だいぶ伸びてしまい、段取りが悪かったと言う意見もあり、別々にした方が良かったのではとの意見もあったが、全体的には良かったのではないと思う。

大人には長かったが、子どもにはまだ短かったという意見もあった。

感想の中で「楽しかった」という意見が目立ち、川の事について色々と考えてくれるような感想は少なかったが、活動後の段階ではこういうアンケート結果になるのだろうなと思った。

しかしアンケートの中でも普段経験の出来ない体験が出来たとの感謝の声もあり、源流を見て川の誕生を知り、溪流で川的美しさを感じ、水流の中で身を守る体験をしてもらう目的で開催した企画に対してこの体験が記憶の中に残り、安全の事や川を大切にしてくれる思いにつながったと思う。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

今回の活動が一番人気で、募集開始後、1週間で予定していた定員を遙かにオーバーし、人員整理することも考えたが、何とか協力スタッフを集め、計画も細かく練って進める事とした。

自然とゆかいな仲間たちの豆本さんとスタッフの方でも計画を練ってもらい、大きな問題なく開催できた。

時間スケジュールも細かく決めつつもりでも参加者が多くなれば、予想以上に時間ロスもあり計画通りにはいかなかったが、全体的には良かったと思う。

参加者  
意見

(上流；伊賀、名張からの参加者)

- ・楽しかった、また行きたい。
- ・自然の中でこの様な遊びが出来る事を知る機会をもらい感謝します。
- ・川の源流を探るのは初めてで、山奥を歩くのは大変だが楽しかった。
- ・シャワークライミングは楽しいだけでなく、力の威力も感じた。
- ・サポートしてくれる人がいて安心して参加できました。
- ・自然の中で子どもと遊びたいですが、知識がない為、怖くて自分達だけではできませんでした。
- ・一日、良い経験をさせてもらいました。

(下流；京都、奈良、大阪からの参加者)

- ・源流探検で思いの外、空き缶やゴミが多いのに驚いた。
- ・子どもにも川の安全な遊び方を知るきっかけになるので、良いと思った。
- ・普段の川と大水の時の川等、美しい半面恐さを子どもに体験を通して学ぶ機会を増やしたい。
- ・すごく楽しくスリリングでした。
- ・子どもにも良い体験をさせる事が出来ました。
- ・川の色んな“顔”“姿”を見れて楽しく過ごせました。
- ・源流体験とシャワークライミングは別の日にした方が、自然観察も出来のでは…

(木津川・福井レンジャーのコメント)

木津川(下流)では体験できない事ばかりでした。実現する為に上流域レンジャー・河川事務所、体験隊などの多くの方の力で楽しく過ごしました。

木津川の中流・下流とは全く違う川と自然活動をするたびに、上流の川を見ながら、「冷たくてきれいだったなあ」と思う事でしょう。

シャワークライミングをする子ども達の嬉しそうな顔を見ると、川の魅力に更に川が好きになったと思います。溪流にも空き缶が転がっていました。

自然を楽しむと共に汚さない事も大切にしましょう。

活動状況

活動開始前の説明の状況



林道終点から更に源流に向けた登山の状況



途中でのサワガニ観察の状況



源流の状況



靴底に滑り止めの藁を巻いている状況



開始前、公民館前での記念撮影の状況



シャワークライミングの状況



シャワークライミングの状況



## 夏休み 川とのふれあい大作戦!

### 川に触れ、川に遊ぼう

7月 28日(土)  
10:00~15:00

#### 『木津川 川下りとカヌー体験』

木津川を歩き、川の中の様子や川の流れを体で体験しましょう。そして川の怖さを知り、川の楽しさを感じましょう。

場所 : 伊賀市依那古地区 木津川河川敷  
定員 : 70名  
(小学3年生以下は保護者同伴)  
協力 : 依那古体験隊



自然豊かな伊賀の子どもたちへ

私達が住む伊賀にはきれいな川が流れています。夏休みの間に、そんな川とふれあってみませんか。家族・お友達みんなで川に遊び、川を知り、川とふれあう体験をしてみましょう。



### 源流を探し、深流を体験しよう

8月 19日(日)  
8:30~16:30

#### 『木津川源流探検とシャワークライミング体験』

木津川の源流を訪ね、川の誕生を知り、源流近くの深流を体験しましょう。

場所 : 伊賀市坂下、及び大山田馬野溪谷  
定員 : 25名  
(小学3年生以下は保護者同伴)  
協力 : 自然とゆかいな仲間たち



### 川を調べ、川を味わおう

8月 26日(日)  
11:00~16:00

#### 『名張川水生生物調査と食文化学習』

名張川の魚や水辺の生き物を探し、川魚の試食から昔の人の食文化について学びましょう。

場所 : 名張市やなせ宿周辺  
定員 : 30名  
(小学3年生以下は保護者同伴)  
協力 : やなせ宿

※申し込み方法など  
くわしくは裏面をご覧ください

木津川源流探検とシャワークライミング体験		集合
日時	平成24年8月19日(日) 8:30~16:30	上野遊水地集中管理センター 8:15受付開始
場所	伊賀市坂下より青山高原、及び馬野溪谷	
定員	25名(先着順)   参加費   無料	
対象	小学生以上 ※3年生以下の方は、保護者もしくは引率者の方の同伴をお願いします。	
持物	動きやすい服装(長袖・長ズボン)履きなれた靴 着替え、タオル、替えの靴 昼食、飲料水は各自で準備してください。	
その他	雨天の場合は中止とします。 現場へはバスで移動します。	
内容	9:15~11:45 木津川源流探検 12:00~13:00 (昼食) 13:00~15:30 馬野溪谷シャワークライミング	住所: 伊賀市小田町242 車の場合: R165小田西交差点北側 伊賀鉄道の場合: 上野市駅下車徒歩12分

活動No	H24-⑦	実施河川レンジャー	西河川レンジャー
------	-------	-----------	----------

活動名	<b>名張川水生生物調査と食文化学習</b> ※やなせ宿合同企画として実施 (やなせ宿内の蔵ギャラリーで活動の写真展を並行して実施: 展示期間=8/4~9/1)
-----	---

実施日	名張川水生生物調査と食文化・環境学習 平成24年8月26日(日) 12:00~16:00 写真展 平成24年8月4日(土)~平成24年9月1日(土)
-----	---

実施場所	名張市やなせ宿及び、名張川
------	---------------

活動目的	夏休みの活動として、名張川の水生物調査を行い、名張川の状況と環境に関する学習を行う。 また川魚の試食から昔の人の食文化について学び、川の環境の事についても考える。
------	--

参加者	44名 (小学生・幼児24名、保護者20名) ※伊賀市、名張市、守口市から参加
-----	--

活動内容	<p>①活動展示 (※活動に先駆けて、展示)          やなせ宿内のギャラリーでの活動報告の写真展を実施 (8/4~9/1間)</p> <hr/> <p>②水生生物調査 12:00~14:30          新町橋下流でパックテストでの水質チェックを行ったうえで、河川に入り水生生物調査を実施した。</p> <hr/> <p>③食文化学習 15:00~16:00          やなせ宿で計画されている“あゆ祭り”と連携して、コイ・ナマズ料理の試食を行い、昔の人々の食生活に触れると共に、河川環境についての学習を行った。</p>
------	--

講師	城内 史郎
----	-------

感想考察	<p>◆活動全般について          名張川での水生生物調査では、きれいな水に住む生物が多かったが、少し汚い水に住む生物も中にはいて、生活排水などの影響も見られた。</p> <p>水生生物調査の中で、川の事や魚の事をもっと知りたいと思ってくれた子ども達もいて、夏休みの活動の中で、川に触れ、川を感じてもらった活動が出来たと思う。</p> <p>私の方で実施した3つの活動に全て参加してくれた子どもと家族もあった。</p> <p>参加者と話をしている中で、こういった活動が少なく、子ども達に色々な体験をさせてやりたいと思っている保護者が多くいる事を実態として知り、今後もこういった機会を作っていくことの必要性を改めて感じた。</p>
------	--

感想  
考察

◆活動目的の達成状況について(アンケート調査結果等より)

参加者の感想として、思ったよりもゴミが多くなって魚達が住みにくい環境になっていると言う意見もあり、川の現状を再確認してもらえたと思う。

しかし、まだまだきれいな川である事も知ってもらえたと思う。

川魚を食べて昔の生活を垣間見て、現在の川の状況も知ってもらい、川をきれいにする事の大切さを少しでも感じてもらえたのではないかと思われる。

これらの意見より、川に触れ・川を体験して・川を知り・川を学んで、何かを感じてくれもらう機会の提供としては、目的を達したと思われる。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

参加人数と準備の都合、また川の水量が思っていた以上に少なく、カヌー体験を行うには無理があると判断した為、カヌー体験は中止した。参加者からはカヌーに乗りたかったと言う声もあり、申し訳なかったが、時間配分などの全体と、参加者の安全管理に考慮するとカヌーの中止はいたしかたなかったと考える。

炎天下の中で水分補給なども行ったが、城内先生の話が少し長かった。時間的な規制など状況を見た判断がもう少し必要であったと判断する。

依那古体験隊メンバーの協力もあり、活動場所下流での補助も出来た。しかし、活動場所とやなせ宿と少し離れていた為連絡を密にとれなかった。携帯電話等を使用して状況把握を行ったが、連絡要員なども配置する事も必要ではなかったかと考える。

参加者  
意見

【活動全般に関する感想】

- ・木津川と名張川の事を色々教えてもらえて勉強になりました。
- ・説明がパソコンをつかって分かりやすく、中身が良かった。子どもには盛りだくさんな内容だったかもしれないが、実際に鯉こくやなまずの蒲焼き風つくだ煮を食べたり、川で生物を探したり、体験を通して子ども自身が川の環境をきれいにする必要性を考えられたと思う。
- ・子供たちが楽しみながら自然にふれて学べるのがよかったと思う。
- ・子どもが体をつかって体験する活動は、非常に有意義だと感じた。
- ・川虫など知らなかった事が多かった クイズが楽しかった。(2件)

【水生生物調査に関する感想】

- ・楽しかったです。魚がとれるしかけがあればよかったと思います(やなをつくるとか?)
- ・水生生物の観察がたのしかった。
- ・いろいろな虫のことを知れてよかった。

【食文化学習に関する感想】

- ・ナマズやコイ、フナ、モロコなど、どの魚もおいしかったです。小さい魚がいっぱいとれた
- ・ナマズのかばやきがおいしかったです。つくだにかおみそするがとてもおいしかったです。
- ・コイのおみそするがおいしかったです。
- ・鮎が食べてみたかった(3件)

【その他の意見】

- ・カヌーができなくてざんねんでした。話のあいだにクイズがあつてよかったです。



活動状況

活動開始前の説明の状況



新町橋下でのパックテストの状況



河川に入っの水生物調査の状況



水生生物観察の状況



採集した生物の同定と説明の状況



見つかった魚達の状況



川魚の試食の状況



食文化と環境に関する学習会の状況



## 夏休み 川とのふれあい大作戦!

### 川に触れ、川に遊ぼう

7月 28日(土)  
10:00~15:00

#### 『木津川 川下りとカヌー体験』

木津川を歩き、川の中の様子や川の流れを体で体験しましょう。そして川の怖さを知り、川の楽しさを感じましょう。

場所：伊賀市依那古地区 木津川河川敷  
定員：70名  
(小学3年生以下は保護者同伴)  
協力：依那古体験隊



自然豊かな伊賀の子どもたちへ

私達が住む伊賀にはきれいな川が流れています。夏休みの間に、そんな川とふれあってみませんか。家族・お友達みんなで川に遊び、川を知り、川とふれあう体験をしてみましょ。



### 源流を探し、渓流を体験しよう

8月 19日(日)  
8:30~16:30

#### 『木津川源流探検とシャワークライミング体験』

木津川の源流を訪ね、川の誕生を知り、源流近くの渓流を体験しましょう。

場所：伊賀市坂下、及び大山田馬野溪谷  
定員：25名  
(小学3年生以下は保護者同伴)  
協力：自然とゆかいな仲間たち

### 川を調べ、川を味わおう

8月 26日(日)  
11:00~16:00

#### 『名張川水生生物調査と食文化学習』

名張川の魚や水辺の生き物を探し、川魚の試食から昔の人の食文化について学びましょう。

場所：名張市やなせ宿周辺  
定員：30名  
(小学3年生以下は保護者同伴)  
協力：やなせ宿



※申し込み方法などくわしくは裏面をご覧ください

名張川水生生物調査と食文化学習		集合	名張市旧細川邸やなせ宿 12:00受付開始
日時	平成24年8月26日(日) 11:00~15:00		
場所	名張市旧細川邸やなせ宿及び新町橋周辺		
定員	30名(先着順)	参加費	無料
対象	小学生以上 ※3年生以下の方は、保護者もしくは引率者の方の同伴をお願いします。		
持物	動きやすい服装(長袖・長ズボン) 履きなれた靴 着替え、タオル、替えの靴 お茶などの飲料水も各自で準備してください。		
その他	雨天の場合は中止とします。		
内容	11:00~12:00	やなせ宿『鮎祭り』	
	12:00~14:00	※昼食は各自でお願いします 食文化学習と水生生物調査	
	14:00~15:30	カヌー体験	
		【会場までのアクセス】	
		車の場合:	リパーナ駐車場をご利用いただき西へ徒歩5分
		電車の場合:	近鉄名張駅下車西に徒歩15分



活動No	H24-⑧	実施河川レンジャー	西田河川レンジャー
活動名	水防技術講習会(伊賀市総合防災訓練)		
実施日	平成24年9月16日(日) 9:00~12:00		
実施場所	伊賀市阿山運動公園		
活動目的	近年多発してきているゲリラ豪雨による小川や水路から家屋への浸水や造成宅地法面での亀裂発生などの緊急時に応急対応することによって災害を最小限に食い止める技術を習得されることを目的として消防団幹部に受講いただき、住民や団員に広く技術を指導普及してもらうことを目的とする。		
参加者	265名		
活動内容	<p>①土のう積工法 9:00~11:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土のうの作り方説明・土のう積み工法</li> <li>・改良土のう積み工法の実習・月の輪工法の実習</li> </ul> <hr/> <p>②技術講習 11:10~12:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常良く使うロープワークの種類を訓練の中で実技指導</li> <li>・シート張り工法の説明と実習</li> </ul> <hr/> <p>③作業指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業方法及び指導方法についての注意点を学習</li> </ul>		
講師	社団法人 近畿建設協会 松永 正光 社団法人 近畿建設協会 福井 保		
感想考察	<p>◆活動全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講習時間には余裕があったが当初の65名の幹部のみの講習の予定が、訓練参加団員の60名も同じ時間で出動していたので講習会場に押しかけて幹部に混じり講習を見学していた。(予定外事態)</li> <li>・講師やレンジャーは訓練参加団員と幹部の区別が出来ず、狭い場所で125名の団員が入り乱れ混雑し、余裕を持った作業が出来ず講習進行に影響があった。</li> <li>・広い会場で同じ時間内に2ヶ所の訓練場に移動して掛け持ち指導するのは時間の無駄と効率の悪さでスムーズに進行できなかった。(参加者の多くは作業に率先して参加せず、講師が無理に指名して作業をさすことで時間通りに進行が出来なかったことも遅れの原因となった。)</li> <li>・計画タイムスケジュール通りに講習が進まず、遅れ気味となり最後のシート張り工法はカットすることになった。講師と事前打ち合わせの機会が持てず意志の疎通が図れなかったことも進行に大きく影響していた。</li> </ul>		

感想  
考察

◆活動目的の達成状況について(アンケート調査結果等より)

- ・訓練時間の不足のため作業を途中で中断して全体の閉会式に参加したためアンケート用紙の配布時間が無く後日、消防団事務局を通じて参加団員に配布を依頼した。
- ・幹部受講者と訓練参加団員とでは学習態度や取り組み方が大きく違っていたのが感じ取れた。
- ・当初予定の講習内容の80%の実施内容となったが、水防の基本的な部分は十分に指導及び学習ができ、新しい技法による土のう作りやその方法について学ぶ事ができた。団幹部からは感謝の言葉と次の機会を要望されたので「住民や団員に広く技術を指導普及してもらおう」目的は達成できた。今後も『水防技術講習会』を計画・実施していきたい。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

- ・完全な服装で参加され、作業中の講習運営は安全で事故無く進行出来た。
- ・機材や備品の配置は的確にされていて、作業する上で大変スムーズに進行出来た。
- ・参加要員は必要な訓練現場に張り付き講師の補助や進行管理の調整に協力してくれた。
- ・一人でこの講習全てを取り仕切るのは無理であった。机上でのタイムスケジュールではうまくいくはずが、実際は大きくずれ込み予定通り行かなかった。次回からは参加スタッフに指示を細かく割り振り個々に指示を出してもらうようにしたい。
- ・運営方法については反省点が多く残った講習であった。
- ・今回の講習を契機として要員間の連絡、役割を事前に指示して進行状況を把握してもらうよう配慮する。
- ・講習日の1週間前には関係部所の代表者との内容打合せ会議を開催して、各組織の役割分担と準備物の確認及び講師との講習の内容、タイムスケジュールについて確認確認を取ることにする。

参加者  
意見

- ・人数が多すぎて自分の作業する順番がなかなかこないので見ているだけであった。(団員)
- ・訓練場所がもう一ヶ所ぐらいほしい、人数が多すぎる。
- ・土のうは作ったが積むことが出来ず、見学組に廻った。
- ・周囲がやかましくマイクを使っても講習内容が全部聞き取れなかった。
- ・ロープワークはしたことがないのでやってみたかった。
- ・短い時間に色々な作業を行ったので少しこがらがあったが基本的な部分は講師の方から何度も指摘されたので理解することが出来た。

活動状況

土のう作り状況



住民自治協説明状況



活動状況

土のう作り状況



土のう作り状況



土のう作り状況



積み土のう状況



積み土のう状況



積み土のう状況



月の輪工法状況

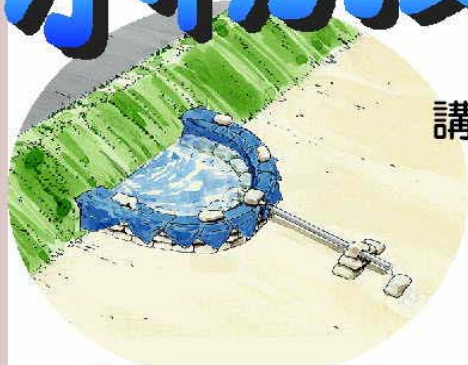


ロープワーク状況



出水期に備えて!!

# 水防技術講習



講師 (社)近畿建設協会  
松永 正光 先生  
福井 保 先生



雨天中止

- ・月 日 9月16日(日)
- ・時 間 午前 8:30集合
- ・場 所 阿山運動公園
- ・持ち物 タオル・軍手・長靴

## 【講習内容】

- ◇水防講習
- ◇土のう作り
- ◇月の輪工法
- ◇ロープワーク
- ◇シート張工法



主催 国土交通省木津川上流河川事務所・木津川上流管内河川レンジャー  
共催 伊賀市・伊賀市消防団・伊賀市消防本部

活動No	H24-⑨	実施河川レンジャー	西田河川レンジャー
活動名	<b>水防技術講習会</b> ※伊賀市市民ふくし大学講座と合同開催		
実施日	平成24年10月13日(土) 13:30～16:00		
実施場所	伊賀市大野木清水（長田遊水地）		
活動目的	近年多発してきているゲリラ豪雨による小川や水路から家屋への浸水や下水路からの逆流などの緊急時に応急対応することによって災害を最小限に食い止める簡易技術を地域防災リーダーの方に習得いただき、地域住民に広くその技術を指導普及してもらうことを目的とする。		
参加者	56名		
活動内容	<p>①土のう積工法 13:30～14:50</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土のうの作り方説明・土のう積み工法・改良土のう積み工法</li> <li>家庭でできる簡易浸水防止法（水のう作り）</li> </ul> <hr/> <p>②技術講習及び講話 13:35～13:50</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常良く使うロープワークの種類を訓練の中で実技指導</li> <li>風水害の知識と対応の講話</li> </ul> <hr/> <p>③作業指導 15:05～16:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土のう積み工法で水量に応じて土のう段数を変更する積み方</li> <li>誰にでも出来る簡単な水防工法の実技及び一般的なロープの結び方について学習</li> </ul>		
講師	伊賀市中消防署 松本 芳明・高田 智宏・井岡 清行		
感想考察	<p>◆活動全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前回の訓練を踏まえて万全の準備と打合せを行ったため進行が大変スムーズで、作業も効率よく進み予定時間内にすべての科目の講習が終了できた。</li> <li>今回の受講生は年配者と女性も多くいたが、とても熱心で進んで体験に参加されていた。</li> <li>各講習科目について内容が理解出来ないという人はいなかったので実施した意義があった。</li> <li>受講して大変役に立ち良い経験になったとの感想を多くいただいた。</li> <li>2回の実施で募集による自主的参加と半強制的参加との参加者の意欲及び作業態度の違いを感じ取ることができた。</li> <li>作業班を多くすると理解度が増し、作業効率も上がり、全員が体験出来る等のメリットがあった。</li> </ul>		

感想  
考察

◆活動目的の達成状況について(アンケート調査結果等より)

- ・町内向けの防災資料作成の参考にして配布したい。
- ・家庭で役立つロープの結び方を教わり役に立った。

との感想をいただいたので「緊急時に地域住民が応急対応することによって災害を最小限に食い止める簡易技術を地域防災リーダーの方に習得いただき、地域住民に広くその技術を指導普及してもらうことを目的とする。」内容を十分達成できたと考える。

- ・講習時間と内容が丁度良い講習で、女性の方の参加に対し体力的にも無理が無かった。
- ・参加者全体の感想として忘れない程度に講習してほしいとの意見が出ているため、少人数(50名位)で年1~2回の計画で定期的開催する必要があると感じた。
- ・講習の募集を市の広報やケーブルテレビ等の媒体を使って多くの市民に周知して募集していきたい。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

- ・秋晴れの下で和気あいあいの中、当初計画のタイムスケジュール内で全ての講習科目がトラブル無く進行出来た。
- ・完全な服装で参加され、作業中の講習運営は無理をしない、安全かつ事故無く進行出来た。
- ・機材や備品の配置は的確にされていて、作業する上で大変スムーズに進行出来た。
- ・応援スタッフは必要な訓練現場に張り付き講師の補助や進行管理の調整に的確に対応し協力してくれた。
- ・前回の経験を踏まえ、参加スタッフに細かく割り振った作業内容と時間単位の指示書を渡した結果、各スタッフが率先して持ち場役割を理解し活動されたので大変スムーズにトラブル無く進行出来た。
- ・安全面では各作業で講師の説明に従い、慌てず落ち着いて助け合いながら作業をしていたため無事故で終了できた。
- ・当日の準備の段階から社協職員がいろいろ手伝いをしていただき協力してくれたため会場設営も早く終了出来た。
- ・会場からのトイレ場所が離れていて一番の心配であったが、2回目の休憩時間が多めに取れたため問題なかった。
- ・最後まで全スタッフで後片付けをやっていただいたので安全に早く片付けが完了出来た。
- ・退出の車両も前列より順次誘導送り出しを行ったため停滞・事故無く全員早く退出することが出来た。

参加者  
意見

- ・講習時間も丁度良い時間数で、講習内容が理解できたと答えた人は大多数でした。
- ・基礎的な土のう積みやロープワークなので、自治会や子供会で指導してあげます。
- ・町内向けの防災資料作成の参考にして配布したい。
- ・今まで体験できなかった訓練であった、大変有意義で良い体験が出来た。
- ・年一度は実施して、多くの体験者を作り出してほしいという希望意見が数名いた。
- ・ロープワークは今までにしたことが無かったのでやってみたかった。
- ・家庭で役立つロープの結び方を教わり役に立った。帰って復習したい。
- ・和気あいあいのなか、親切丁寧な指導でとてもわかりやすかった。
- ・機会があれば、ウォーキング・水生生物調査・カヌー体験・防災学習・川下りに参加希望者が多い。
- ・全体評価として、参加して良かった、大変役に立ち良い体験が出来た、内容は理解できたという参加者が大半。



活動状況

風水害講話状況



水のう作り状況



土のう作り状況



土のう作り状況



ロープワーク状況



ロープワーク状況



積み土のう工法風景



改良積み土のう工法風景



## 出水期に備えて!

# 水防技術講習



**講師** 伊賀市消防署職員  
伊賀市消防団員  
木津川上流管内河川  
レンジャー

- ・月 日 平成24年**10月13日(土)**
- ・時 間 **13:30~16:00**
- ・会 場 **大野水清水、長田遊水地**
- ・雨天時 **岩倉キャンプ場**



雨天決行

**講習内容**

- ◇簡易水防工法
- ◇土のう作り
- ◇改良土のう積み
- ◇ロープワーク



主催 伊賀市社会福祉協議会  
国土交通省水津川上流工事事務所水津川上流管内河川レンジャー

市民ふくし  
大学講座

この講座は、市民ふくし大学講座 専門講座として認定されます。

基礎講座 + 専門講座

## 平成24年度 災害ボランティアコーディネーター養成講座

Disaster volunteer coordinator training course

日頃から市民の防災意識を高め、災害時に市民自身が自助・共助による減災活動や復旧、復興に取り組んでいける地域づくり、日頃から防災啓発や災害時のボランティア活動のコーディネートに力を合わせて取り組めるコーディネーターを養成します。

受講費用無料・受講定員 50 名程度

- 主催/伊賀市社会福祉協議会 ●会場/三重県・伊賀市
- 協力/水防技術市民協議会・水防防災コーディネーター・松尾町まちづくり協議会・朝ヶ丘市民自治協議会・水津川上流管内河川レンジャー・伊賀の伝丸・伊賀県民センター・伊賀市総合危機管理室・伊賀市市民活動支援センター

回数	日 時	場 所	講 義 内 容
第1回	7月7日(土) 13:30~16:00	伊賀県民センター7階大会議室	開講式、「三重県及び伊賀の災害と防災」 講師：三重県防災推進部 「災害ボランティアコーディネーターとは？」 講師：みえ防災市民会議
第2回	8月11日(土) 13:30~16:00	ゆめほりすセンター2階大会議室	「東日本大震災における災害ボランティアセンターの実例」 講師：災害ボランティア活動支援プロジェクト会議
第3回	9月8日(土) 13:30~16:00	ゆめほりすセンター2階大会議室	「安全確認マニュアルによる避難支援活動」 講師：松尾町まちづくり協議会・朝ヶ丘市民自治協議会
第4回	10月13日(土) 13:30~16:00	東高倉橋遊水池 (雨天時：岩倉キャンプ場)	「水防技術講習」 講師：水津川上流管内河川レンジャー
第5回	11月10日(土) 13:30~16:00	ゆめほりすセンター2階大会議室	「災害クロスロード 災害ボランティアクロスロード」 講師：伊賀市社会福祉協議会
第6回	12月8日(土) 13:30~16:00	ゆめほりすセンター2階大会議室	「災害ボランティアセンターの役割とセンター運営ワークショップ」 講師：みえ防災市民会議
第7回	1月19日(土) 13:30~16:00	ゆめほりすセンター2階大会議室	「避難者対応～外国人への対応」 講師：NPO法人伊賀の伝丸
第8回	2月16日(土) 13:30~16:00	ゆめほりすセンター2階大会議室	「避難所運営マニュアルづくりワークショップ【避難所HUG】」 講師：伊賀市社会福祉協議会
第9回	3月9日(土) 13:30~16:00	伊賀県民センター7階大会議室	「伊賀市における危機管理体制」 講師：伊賀市総合危機管理室 「特別公開講演会」 講師：未定 修了式

●受講資格 市民自治協議会防災担当、自主防災会、災害救援活動に興味のある方  
●期 了 前年以上講座を受講した場合は、伊賀市災害ボランティアコーディネーター修了証を授与します。受講できない講座があった場合は、別途オプション講座を受講することで受講済とみなします。市民ふくし大学講座専門講座として位置づけ、別途基礎講座を受講することにより、いがい持ち支援員として認定します。

●申込方法 受講申込書に必要事項（氏名、住所、電話番号、生年月日）を記入の上、6月29日（金）までに伊賀市社会福祉協議会事務局へお申し込みください。申込用紙は、伊賀市社会福祉協議会ホームページからダウンロードできます。▶<http://www.hanzou.or.jp/>

●申込・お問い合わせ先 伊賀市社会福祉協議会 上野市町 2976-1 上野3-1あいプラザ3階 0595-21-5866

活動No	H24-⑩	実施河川レンジャー	溝延河川レンジャー
活動名	<b>外来生物セイタカアワダチソウ削減策の調査</b> (個人活動)		
実施日	平成24年9月26日・27日、10月5日・26日 (計4回)		
実施場所	名張市夏見 糸川橋近辺		
活動目的	外来植物のセイタカアワダチソウが猛烈な勢いで、河岸・休耕田に繁茂し、旧来の自生植物を圧倒する状況が発生しており、環境に与える影響が大である。花が咲いた後に抜き取り、次年度の発生数を確認し、どの程度抜き取りによる削減効果があるか調査する。		
参加者	個人活動のため、参加者なし。		
活動内容	<p>削減策調査</p> <p>セイタカアワダチソウを根より抜き取り、次年度にどの程度生えるかを確認する。</p> <hr/> <p>※調査結果詳細については、別紙参照</p>		

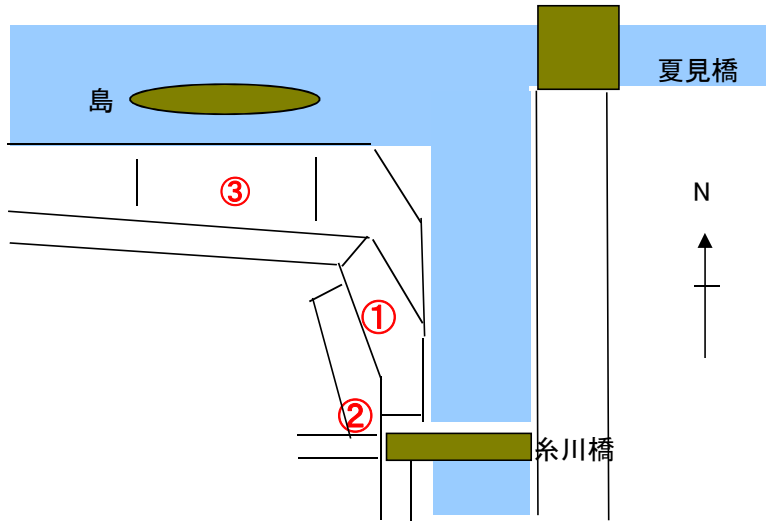
# セイトカアワダチソウ調査

2012年10月 河川レンジャー 溝延

外来植物のセイトカアワダチソウが 猛烈な勢いで、河岸 休耕田に繁茂し、旧来の自生植物を圧倒する状況が発生しており、環境に与える影響が大である。花が咲いた後に 抜き取り、次年度の発生数を確認し、どの程度抜き取りによる削減効果があるか調査する。

実施日 2012年 9月26日 10月5日  
 (抜取) 9月27日 10月26日

実施場所 名張市夏見 糸川橋近辺



場所	①	②	③	計
抜取数	153	776	406	1,335

注意: 抜取数のうち 約30%は 抜取時茎が切断

## 実施要領

抜取用の治具を用いて 根より抜き取り、次年度にどの程度生えるか確認する。



河岸に生えているセイトカアワダチソウ



休耕田に繁茂するセイトカアワダチソウ



セイタカアワダチソウの根



セイタカアワダチソウ抜き用治具



抜き取ったアワダチソウ

活動No	H24-⑪	実施河川レンジャー	西田河川レンジャー
活動名	久米川(木津川)クリーンウォーキング		
実施日	平成25年3月2日(土) 9:00～12:00		
実施場所	1班 天神橋～八幡樋門の間 2班 桑町橋～友生インター付近、七つ池排水路		
活動目的	久米川の河川クリーンウォーキングおよび久米川堤防の安全点検		
参加者	1班 久米部消防団員 15名 2班 伊賀白鳳高等学校(サッカー部員) 44名		
活動内容	<p>作業地点に移動、クリーンウォーキングおよび堤防の安全点検 9:00～11:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1班は天神橋から八幡樋門に向けて兩岸堤防を消防団員にて清掃し、堤防の安全点検を行った。</li> <li>・2班は八反田橋より兩岸堤防を上下流方向及び七つ池排水路を3班に分かれ生徒により清掃。</li> </ul> <hr/> <p>ゴミ集積場所へ移送 11:00～12:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ集積場に分別ゴミごとに置き、集合場所へ掃除用具を返却、参加者にアンケートの記入を依頼、解散</li> </ul>		
講師	なし		
感想考察	<p>◆活動全般について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.清掃前と清掃後では雲泥の差があり、随分きれいになった。</li> <li>2.今回の参加者は全員熱心に作業しており特に生徒・団員の皆さんは隅々まで丁寧に収集していたのが印象的</li> <li>3.レンジャーの目的の一つである堤防法面の安全点検の項目は雑草の多い時期のため、堤防の草刈り完了直後が理想である。</li> <li>4.本年より参加の伊賀白鳳高校生によるゴミ拾いは、先生の指導で範囲を広め分岐水路まで清掃していただいた。</li> </ol>		

感想  
考察

◆活動目的の達成状況について(アンケート調査結果等より)

- 1.消防団員という特別団体の参加で与えられた任務に対し、忠実熱心に完璧に近い状態で活動された。
- 2.ゴミが多く川が汚いので小学校の清掃活動として保護者も含め定期的に定点観測をして広報などに載せる。
- 3.ゴミのないきれいな川にして子供たちの遊べる川、つりができ、泳げるきれいな川にしてほしい。
- 4.地域の会報や伊賀市広報に載せて川の汚れの現状を知ってもらう。

●参加者は平素何気なく通学して見ている久米川の汚れの状態をゴミの量の多さとヘドロの堆積で感じることができた。

あらためて河川環境の大切さを考える良い機会となり、また、学生や地域の方々に「河川レンジャー」の活動を認識していただく機会となった。今後も継続して、生徒や自治会に活動の協力依頼を行い、地域連携を進め河川レンジャーの活動を浸透・認識していただけるようにしたい。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

- 1.2つの班の清掃範囲と人数が異なるため、終了時間が一緒にならず一方のレンジャーさんには撤収までのタイムラグが発生し、少しの時間待っていただいた。
- 2.要員間の連絡体制については何ら支障なく行え、消防団は軽車両にて作業に同行しサポートしてくれた。
- 3.作業行程中の下水口のヘドロが滑り、水辺は泥で足を取られ危険、堤防の草・いばら・ススキが一面に生え歩行に困難があったが事故無く完了できた。
- 4.本年、高校生の参加はサッカー部顧問の先生による生徒への積極的な参加要請をしていただき、高校生を交えて広範囲のクリーン活動が実施できた。
- 5.雨の後で生徒には長靴がなく、運動靴で沼地に入り作業したので靴の汚れが目立った。

参加者  
意見

- 1.今年も河川のゴミは人家の無い橋の近くに多く集中しており、特に空き缶、空き瓶、ペットボトル類が多い
- 2.堤防の安全点検は枯れ草の背丈が高く繁茂しているため、小さな欠陥箇所は見えにくかった。
- 3.昨年堤防のコンクリート堰堤を割って木が生えていた部分はコンクリートで補修されている箇所があった。
- 4.昨年に比べてゴミの量が随分少なくなったように思うが大型ゴミの投げ捨てが目立ち、川底には土砂が堆積してススキ、竹、木が生えゴミが巻き付いていて川の景観を害している。
- 5.昔の親水公園整備の姿が見られず整備がされず荒れ果てたままになっているのは残念。(住民意見)

活動状況

団員集合状況



主催者挨拶状況



活動状況

収集作業状況



竹生育状況



高校生集合状況



生徒の班分け



収集状況



収集状況



収集状況



分別状況





# 久米川クリーン ウォーキング

参加者募集



日時：3月2日(土)  
9時～

集合：伊賀県民セン  
ター玄関



雨天順延

※金バサミをご持参下さい

河川を  
きれいに  
しよう



主催 久米川流域生活排水対策推進協議会  
共催 木津川上流管内河川レンジャー

連絡先 23-8990

活動No	H24-⑫	実施河川レンジャー	池田河川レンジャー
活動名	クルミサーチングと木津川上流探検		
実施日	平成24年9月23日(日) 10:00～15:30 ※当日雨天のため活動を中止		
実施場所	大山田地区 馬野溪谷周辺		
活動目的	木津川上流を探検することによって、伊賀地域を学習する。 「植物」、「地名」、「忍者」をキーワードに、各々専門家に協力を依頼する。木津川上流の植物、地名の由来を知り、同時に伊賀忍者のことも学習し、自分たちが住んでいる伊賀地域が秘蔵しているものを考えてもらう。参加者には、伊賀産のオニグルミを持って帰ってもらう。		
参加者	-		
活動内容	伊賀の自然(植物)と地名の学習、伊賀忍者についての学習(雨天のため活動を中止) 馬野溪で「枚方いきものの会」と「伊賀の國地名研究会」にも協力を依頼して、木津川上流の植物と地名を学習する。伊賀忍者については、河川レンジャー池田が語る。 <hr/> クルミサーチング(雨天のため活動を中止) 中馬野に移動し、クルミサーチングと環境学習。		
講師	なし		
感想考察	◆活動全般について 今回、雨で中止になったが、募集枠30人に対して、10人しか応募がなかった。 理由としては、参加者募集が遅かったという点と広報の弱さであると思う。また、予備日を設けたとしても、参加者が変動もするし、正直、雨が強ければ断念せざるを得ない。危機管理の観点から考えても安全第一である。  実施日を早く決定し、夏休み前の学校への参加者募集チラシに掲載して、多くの人に参加してもらえよう計画を見直し、来年度もう一度チャレンジしたい。 いかに子どもから大人まで集まるかという点が、次回の課題だと考える。		

広報チラシ

# クルミサーチング

## —木津川上流探検—

植物、地名、忍者の専門家が木津川上流を語る!

実施日	平成24年9月23日(日)	午前10時～午後3時30分
場所	大山田地区 奥馬野	集合場所 大山田支所
定員	30名(先着順)	申込期間 9月14日(金)～9月21日(金)
対象者	小学生以上(小学生は保護者同伴でご参加下さい。)	
持参品	弁当・水筒	参加費 無料

※林道を歩いていただきますので、動きやすい服・はきなれた運動靴でおこし下さい。  
※集合場所から奥馬野までは、各自の車に乗り合わせて移動(約10分)となります。



読売新聞掲載  
(平成24年9月20日)

**参加申込書**

年齢 \_\_\_\_\_ (保護者氏名) \_\_\_\_\_

連絡先アドレス \_\_\_\_\_

川上流管内河川レンジャー事務局 TEL 0595-62-0476

1日(金)より受付を開始します。「参加申込書」に必要事項をご記入の上、  
(FAX 0595-62-0477)までFAXでお申し込み下さい。  
間内でも、定員になり次第受付を終了させていただきます。

管内河川レンジャー 池田 裕 / 支援：国土交通省木津川上流河川事務所

## 忍者などテーマ 木津川上流探検

忍者などをテーマに木津川上流を探検する「クルミサーチング」が23日、伊賀市大山田地区で開かれる。木津川上流管内河川レンジャーの主催。小学生以上(小学生は保護者同伴)が対象で、参加無料。午前10時に伊賀市役所大山田支所に集合。木津川上流沿いに奥馬野周辺を歩き、忍者が保存食などとして用いたクルミをはじめ、薬草やゆかり

### 伊賀で23日、参加募る

の地名を探して回る。同レンジャーのメンバーで伊賀忍者研究会代表の池田裕さん(54)がガイドを務める。解散は午後3時30分。当日は弁当と水筒持参。定員30人(先着順)。専用の申込書に必要事項を記入し、21日午後5時までに同レンジャー事務局(62・0476)にファクス(62・0477)で申し込む。

活動No	H24-⑬	実施河川レンジャー	池田河川レンジャー
活動名	<b>木津川源流探検-三峰山で源流をつきとめ薬草観察をしよう！- 薬剤師と忍者研究家が木津川源流を語る</b>		
実施日	平成24年11月18日(日) 8:30～15:00		
実施場所	三峰山（奈良県御杖村）		
活動目的	<p>初心者にも登りやすく日本三百名山の一つに数えられる三峰山。木津川上流の一つで名張川の源流を辿り探る。薬剤師の方に協力を依頼して、古来より人はどのように薬草植物を活用してきたのか、また、忍者と山の関係は深いと言われていたが実際はどうであったのか、薬草観察をしながら木津川源流を探索する。「薬草植物」と「忍者」をキーワードに"木津川上流"に興味を持ち、地理的特徴や気候などを知ってもらう事を目的とする。</p>		
参加者	10名		
活動内容	<p>木津川源流の探索・薬用植物の学習・伊賀忍者の学習 8:30～15:00 三峰山で「伊賀薬剤師会」と「伊賀忍者研究会」に協力を依頼して、木津川源流の薬用植物を学習。また伊賀忍者についてはレンジャーで伊賀忍者研究会の池田が語る。</p> <hr/> <p>木津川上流および名張川についての学習 8:30～15:00 木津川源流と河川についての環境学習。また、木津川上流についての話と河川レンジャーの説明を行う。</p>		
講師	伊賀薬剤師会 堀内 諭・村上 博之		
感想考察	<p>◆活動全般について 当日、雨は降らなかったものの、風がきつく正直、登山には、天気がよくなかった。しかしながら、参加者は山頂に着くと、景色は悪いながらも、とこどころパノラマの景色を満喫してくれたようだ。また、頂上に生息する毒性植物などを実際に見たり、参加者の交流もできた。そして、目的の木津川上流、名張川の源流を見たとき、すごく感動してくれた。 今回の源流探索登山は、多くの面で参加者に感動を与えたと思われる。 整理すれば、登山、景色、植物の知識、運動、美味しい昼食、交流、山の説明、忍者の説明、源流の確認等である。来年度も色々な角度で、源流探索登山を通して、木津川上流域に住む、私たちの木津川との理解、また、素晴らしさを伝えていきたい。来年度は、もう少し花が楽しめ、気持ちのいい季節にこの三峰山源流探索登山を行いたい。頂上の特定の花の美しさを見れば、間違いなく感動するからだ。こどもがより参加しやすい条件を提供するために、夏休み中に実施したいと考える。</p>		

感想  
考察

◆活動目的の達成状況について(アンケート調査結果等より)

植物や山の説明をじっくり聞きたかったという意見があった。これは、少し講師の方が、もう少し待って話すべきであった。狭い山道を歩くと一人ずつしか歩けない、薬草の説明が聞こえにくかった。という感想もあり、説明方法などをもう少し改善する必要があると思われる。また、事前の資料をもう少しわかりやすく準備すれば、例えば、植物名が入ったリストを用意するなどすると良かったと考える。

参加者の意見より「"木津川上流"に興味を持ち、地理的特徴や気候などを知ってもらふ事を目的とする。」活動の目的は達成されたと考える。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

スタッフ(河川レンジャーと講師)3人で、トータル15人が登山という観点から言えば、ギリギリの人数だろうと思われる。登山は、たとえ標高が高くなくても、天候不順等で遭難するというリスクはあり得る。常にリスクマネジメントは考えるべきである。だから、万全の備えはいくらし過ぎてもし過ぎることはない。しかしながら、準備万端であれば、木津川上流の源流探索登をできるだけ多くの人に味わって欲しいし、子どもたちにも参加して欲しいと思う。登山の順番、つまり、スタッフ3人を先頭、真ん中、最後尾と決める。そして、この中に女性を前の方に入れて、さらには、余裕があっても、先頭を絶対に抜かさないように、強く指示すべきだった。一人の男性が先頭を抜かしたケースがあった。

この反省をふまえて、要員間の連絡体制や安全管理体制など、一層、配慮する必要がある。

参加者  
意見

- ・始めて三峰山に登ったが、とても感動した。
- ・来年度もこうい木津川源流探索登山があれば参加したいと思う。
- ・久しぶりに山登り、落葉の上を歩く楽しさを思い出した。
- ・事前にふれてとても気持ちよかった。
- ・いろんな植物を知れてよかった。

活動状況

オリエンテーション



薬草観察の状況



活動状況

樹木観察の状況



薬草観察の状況



三峰山について説明状況



参加者と河川レンジャー



自然観察の状況



源流発見の状況



源流発見の状況



源流より下山の状況



広報チラシ

## 木津川源流探検登山

——三峰山で源流をつきとめ薬草観察をしよう！——

薬剤師と忍者研究家が木津川源流を語る (先着30名募集)

**実施日** 平成24年11月18日(日) 午前8時30分集合 午後3時解散予定  
**場所** 奈良県御杖村三峰山 **参加費** 無料 **集合場所** 御杖村道の駅  
**持参品** 弁当・水筒・雨具・ハイキングの格好・手袋・しっかりした靴 \*温泉あります。(自由参加)  
**注意** 5時間登山に耐えられる小学校高学年以上。集合場所から登山口までは各自の車で移動(10分)



エキサイティング! 木津川の源流を探る山! (特別企画)  
 あなたは、木津川の支流である名張川源流を知っているか!  
 薬草、忍者のスペシャリストがガイドするツアー。  
 源流がある山は薬草の宝庫! 忍者にとっても薬草は重要!  
 紅葉がまぶしい三峰山に登り源流を探る!

### 参加申込書

参加者氏名 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ (小学生のみ記入) \_\_\_\_\_ (保護者氏名)

参加者住所 〒 \_\_\_\_\_

連絡先電話 \_\_\_\_\_ 連絡先アドレス \_\_\_\_\_

問合せ: 木津川上流管内河川レンジャー事務局 TEL0595-62-0476 担当レンジャー 池田 090-7699-2117  
 申込先: FAX でお申込みいただく場合は、必要事項をご記入の上、事務局(FAX 0595-62-0477)まで送付下さい。  
 定員になりしだい切り切ります。

主催: 木津川上流管内河川レンジャー事務局 / 支援: 国土交通省木津川上流河川事務所

伊賀タウン情報ユー  
 YOUNETup  
 (2012年11月 8日 09:57)



伊賀・名張の最新ニュース、地域のお店やイベント情報満載のポータルサイト「伊賀タウン情報YOU」 [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#)

伊賀タウン情報ユー  
**YOU**

パート・アルバイト・正社員  
**WEB制作スタッフ募集**  
 Illustrator / Photoshop / Flash / DreamWeaver / Fireworks.....  
 クライアント及び自社サイトのデザイン・コーディングから企画・運用・立案までチャレンジ精神旺盛な方歓迎いたします! 経験者優遇。まずはお電話ください。  
 TEL 0595-62-1551 **YOU**

ピンクリボン > ノー応援サイト > YOU四日市    
 WWW を検索  YOUNET を検索

<b>メニュー</b> ニュース 動画・YOUNET TV 街頭犯罪情報 イベントカレンダー YOUぶろぐ 伊賀忍者 グルメ 求人 生活のアンテナ ブライダル 健康	<b>木津川源流を探検登山しませんか 参加者募集</b> 編集部 (2012年11月 8日 09:57) 木津川上流管内河川レンジャーは11月18日に御杖村の三峰山に登る「木津川源流探検登山」の参加者を募っている。 当日は午前8時30分に御杖村道の駅に集合、午後3時解散予定。薬剤師と忍者研究家がガイドで同行し、薬草などを紹介する。 弁当や水筒、雨具などは持参。参加は無料だが、事前申し込みが必要で、先着30人。 小学生の参加は5時間登山に耐えられる高学年が望ましいという。また、集合場所から登山口までは各自の車で移動となる。 問い合わせ、申し込みは同河川レンジャー事務局(0595・62・0476)、または担当の池田さん(090・7699・2117)へ。 <b>カテゴリ:</b> 総合 関連記事 powered by weblio	<b>カテゴリ</b> カテゴリを追加 事件・事故 (23) 総合 (521) 議会・行政 (233) <b>最近のブログ記事</b> 「元気に育って」児童がキジを放鳥 伊賀市 木津川源流を探検登山しませんか 参加者募集 飲酒運転で40歳の女を逮捕 名張署 378回忌営まれる 伊賀越丸討ち 伊賀市小田町で 伊賀市立小田町の歴史
---	--	--

インターネット

活動No	H24-⑭	実施河川レンジャー	西田河川レンジャー
活動名	<b>新居小学校防災学習会</b> <b>～身近な防災施設と川の水質について学習しよう～</b>		
実施日	平成24年12月13日(木) 8:45～12:00 ※活動時間は、現地調査・環境整備等の事前活動以外の準備・後片付けを含む時間を記載すること。		
実施場所	上野遊水地集中管理センター、小田陸閘および上野遊水地		
活動目的	新居小学校における教育プログラム組み込み。 5年生の環境学習として地理的特性を活かした上野遊水地や防災施設が自分たちの生活とどのように関わっているのか、環境に配慮した河川構造物とはどのようなものか、映像や写真を使用した説明と実際に施設を見学することにより学習する。		
参加者	27名 (小学5年生26名、教諭1名)		
活動内容	<p>①身近な防災施設(上野遊水地・樋門など)について学習 8:45～9:40          木津川上流管内(特に新居小学校付近)の防災施設(上野遊水地・樋門・集中管理システム)について勉強し、水害や地震に備えて自分たちに何ができるか、についてみんなで考える学習とした。</p> <hr/> <p>②身近な川の水質調査 9:40～10:25          河川レンジャーが昨年より毎月実施している久米川と往古川の水質について発表し、班ごとに東高倉川、服部川、新居小学校の水道水、りんごジュースについて、パックテスト(pHとCOD)を使って実験し、調査結果を記録した。</p> <hr/> <p>③身近な河川構造物、小田陸閘と上野遊水地の見学 10:25～12:00          バスで小田遊水地を移動し、実際に小田陸閘・排水門・越流堤についての説明を行った。実際に見ることにより、理解を深める学習とした。</p>		
講師	木津川上流河川事務所 管理課 森下係長 木津川上流管内河川レンジャー事務局 伊藤 繁之		
感想考察	<p>◆活動全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校所在地にある防災施設でありながら、目の前にある大きな施設が何の役目をする建物か知らないまま今まで見過ごしてきていたが、この学習会を機会にそれらの役目や働きについて学ぶことができ、また防災に対する意識の発掘と水害に対して関心を持ってもらう良い機会を提供できた。</li> <li>・防災学習の水害による被害や堤防の役目、遊水地の役目について十分理解出来たと感じた。</li> <li>・映像だけでなく実際に樋門内部に登り機器の説明や遊水地の広さ、堤防や越流堤を一望する体感できたので記憶に残る学習ができたと思う。</li> <li>・水質測定の数値や記号は小学生には理解するのが難しいので、簡単にできる観察方法や測定法が良いのではないかなと思う。</li> </ul>		



感想  
考察

・実験や測定は項目（種類）を少なくして、全員が同じ項目について測定や実験をするようにして、結果をみんなで発表して原因は何かまで検証し、活動目的の理解を得られるように、次回に備えて進め方を検討する必要があると感じた。

◆活動目的の達成状況について（アンケート調査結果等より）

- ・防災学習は映像や写真を使って質問形式を取り入れ進行され、生徒からは活発な回答や質問があり、学習に興味を示し内容に対する理解が出来ていたように感じられた。
- ・洪水を防ぐために遊水地に水をためて、樋門の操作で遊水地の水を川に放水するという原理は理解していた。
- ・初めての言葉や学習の体験と見たことのない設備を目にして多くの生徒は大変興味を示していた。
- ・pH、CODの単語はまだ習っていないとのことで、単語の説明の無いまま3種類の水質測定を実施し、測定値を記入したので、全員で測定値を共有する時間が取れず、測定数値の大小の意味の説明も十分出来なかった。
- ・家庭での廃食材に含まれるCODの量について、魚（フナ）を例にとって説明したことは理解できたと思う。
- ・川を汚さないようにするには家庭からの生活排水が大きく影響しているので、直接流しに捨てないでといった説明は理解を得られ家に帰って親に話しているとのことであった。
- ・子どもにとって室内で連続座っての講義は長く退屈に感じたと思える。
- ・遊水地など学校で学ばない言葉や設備の見学などの課外活動は興味があるように感じた。
- ・川に大変興味があるように感じる、魚つかみ、魚釣り、川遊びなど川に入る体験を望んでいる。
- ・子ども達は川が汚れていてゴミが多く、危険な場所と思い込んでいるのが感じ取られた。
- ・水質検査は少し難しかったのか、理解出来なかったのか子ども達の感想に現れていなかった。
- ・アンケート等の意見より、地理的特性を活かした上野遊水地や防災施設が自分たちの生活とどのように関わっているのか、環境に配慮した河川構造物とはどのようなものか、を映像による説明と施設見学により理解してもらう目的については達成できたと感じる。今後も継続的に学校教育プログラムに組み込んでいただけるように、説明方法の改善をし、他の学習内容も取り入れて学校にPRしていきたい。

◆活動運営状況について（要員間の連絡体制や安全管理体制の評価）

- ・安全管理面では多くのスタッフを要所要所に配置して、安全管理に対する気配りが十分できたと思う。
- ・全ての活動に共通して言えることで、特に初めての企画の場合は何度も協力スタッフ間の意志統一が必要。
- ・多くの参加者を対象にした実習活動は一斉に同じ作業をさせることの難しさを感じた。
- ・綿密な打合せを行ったつもりでも、実技において実習内容や時間が計画通りに進まず班別のズレが発生した。今後もっとスタッフ間の打合せやシュミレーションを充実させる必要があると感じた。

参加者  
意見

- ・ゆう水地などの、まだ習っていないことをいろいろ知れてよかった。
- ・日本に10こしかないゆう水地がこのいかにありそのことをくわしく教えてくれて良かったです。
- ・今日の活動は思い出になるしべんきょうにもなったのですごく良かったです。
- ・知らないことをいっぱいあって遊水地のことがいっぱいしれて良かったです。
- ・小田陸間、昔からみていたが、一度入ってみたいと思っていたのでたのしかった。
- ・川や水にきょうみがもてた。
- ・ゆう水地などのいままでしらなかったことをしれてよかった。
- ・ゆう水地という言葉が始めて知れたので良かったです。あまり、川の事は知らなかったので、知れて良かったです。
- ・説明がわかりやすかったから、これからももっとしりたい。

活動状況

班編成状況



防災学習状況



水質調査状況



水温測定状況



樋門集中管理室状況



遊水地の説明状況



駆動装置の説明状況



記念撮影の状況



活動No	H24-外① ※年間活動計画外	実施河川レンジャー	西・廣岡・溝延河川レンジャー
------	--------------------	-----------	----------------

**活動名**

**やなせ祭り**  
(やなせ宿主催・河川レンジャー協力活動)

**実施日**

平成24年6月9日(土) 9:30~16:00  
※活動時間は、現地調査・環境整備等の事前活動以外の準備・後片付けを含む時間を記載すること。

**実施場所**

名張市旧細川邸やなせ宿  
名張川河川敷

**活動目的**

やなせ宿主催の「やなせ祭り」に協力参加し、「名張川に生息する生き物にふれましょう!!」をテーマに開催される「名張川ウォッチング(水生生物調査)」の運営スタッフとして、親子で川に親しんでもらい、名張川的环境や水質を知ってもらうとともに、これからの名張川をどのようにしたらいいかを考えていく機会とする。また、河川レンジャー活動のPRも行う。

**参加者**

やなせ宿より募集

**活動内容**

**名張川ウォッチング!!**

主催 まちなか運営協議会  
名張市旧細川邸やなせ宿  
共催 キッズスクウェア

当協議会では

「名張川に生息する生物に触れましょう!!」をテーマに、川辺の生物学習及び親子川遊び 第一回「やなせおやこ塾」「やなせ宿名張川ウォッチング」を計画致しました。みなさんお誘いあわせのうえどしどしご参加ください!!

日時: 平成24年 6月9日(土)  
午前 9:30 集合 受付  
午前 10:00 中庭水槽前での魚の観察  
午前 10:30 名張川中州でのふれ合い観察会

集合場所: 新町 「旧細川邸やなせ宿」  
内容: 川辺での生物観察  
講師: 竹中 淑博さん 河川レンジャーの皆さん  
参加費: 100円(保険料 等)  
スーパーボールすくい無料券進呈(子供さん限定)

募集人員: 親子15組程度 小雨決行(晴天でも水流量により判断致します)  
持ち物: タオル、着替え等、濡れても良い靴又はビーチサンダル、帽子  
動きやすい服装でご参加下さい。(観察用具はご用意します。)  
保護者同伴をお願いします。

最終〆切: 平成24年 6月8日(金曜日)  
川に入りますので、濡れても良い服装でお越し下さい。

お車で越しのお方は、  
当日やなせ祭りイベントの為、やなせ宿駐車場はご利用いただけません。  
イオン名張店・愛宕神社(新町橋付近)をご利用下さい。

加申し込み・お問い合わせの方は  
なせ宿【電話 62-7760】までお願いします。  
きりとりせん

第一回やなせおやこ塾「名張川ウォッチング」 参加申込書 保護者同伴でご参加下さい。

保護者  
お名前 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 才 \_\_\_\_\_ お電話番号 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

子供お名前 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 才 \_\_\_\_\_ 子供お名前 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 才 \_\_\_\_\_

活動No	H24-外② ※年間活動計画外	実施河川レンジャー	西河川レンジャー
------	--------------------	-----------	----------

**活動名** **木津川展**  
(淀川管内河川レンジャー活動への協力参加)

**実施日** 平成25年2月17日(日)~2月23日(土) 7日間

**実施場所** 淀川河川事務所 木津川出張所 木津川流域センター

**活動目的** 木津川流域で活動する様々な取組みを伝え、交流する目的で、第4回目の木津川展が開催され、上流管内河川レンジャーとして上流での活動や上流の自然を伝える展示を行う。

**参加者** 淀川管内河川レンジャーより募集

**活動内容**

**川の自然観察会「冬の野鳥観察会」**  
木津川・難波上流の河川敷は、草はらや小石の河原・川原など様々な自然条件を  
さんの野鳥が観察できます。しかし最近では河川敷の地形が大きく変化し、見られ  
ません。野鳥を定点で観察するこの活動から、川の環境変化や問題点が見えてきま  
す。冬の野鳥たちに出会えるといひですね。寒さ対策をしっかりとっていただき  
ます。

- ・2月17日(日) 9:00~12:00
- ・木津川流域センター 集合 8:30 受付開始
- ・開催上流右岸 木津川堤防から河川敷一帯
- ・定員 30名 (雨天時はセンター内で活動者)
- ・小学生以下の方は保護者と一緒にご参加ください
- ・参加費 無料
- ・持ち物 帽子 手袋 長靴 暖かい服装 雨具 筆記具
- ・双眼鏡(スコープ)と野鳥図鑑は持っている方の方
- ・指導 自然体験活動推進協議会インストラクター 植田光弘 氏

**木津川歴史ウォーク案内**

- ・2月22日(金) 10:00~12:00
- ・木津川流域センター 集合 9:30 受付
- ・木津川流域センター ~ 山城町 泉橋寺
- ・定員 30名 (雨天中止)

木津川(堤防を南下しながら、木津川周辺の歴史の遺物・景  
観を「山城町ふるさと案内人の会」の案内の元に木津川の  
過去・現在の姿をたどりたいと思います。歴史豊かな場所  
です。ふるさと発見・木津川再発見を一緒に楽しみなが  
ら木津川のあるべき姿を考えたいと思います。

**見学場所 開きの残念石 → 大川橋門下流崩壊現場  
大和街道 → (大塚山古墳・眺める) → 旧泉橋跡  
→ 泉橋寺**

- ・泉橋寺にて解散ですが、木津川流域センターまで一緒に  
かえります。循環バスを利用して帰る方はご案内します。  
小雨の場合は開きの残念石のみ見学します。
- ・余裕がある場合 当日参加も可能です。

申込 淀川河川事務所 木津川出張所  
FAX 番号 0774-62-0078



**木津川展**  
平成25年2月17日(日)~2月23日(土)  
10:00~15:00 (17日・22日は9:00~)  
会場 木津川市山城町 木津川流域センター

**木津川の魅力をとどけます!!**

**展示**

- カヌーから見た木津川は?  
城隈の生き物と調査活動  
木津川に舞う遠だこ  
木津川は植物の宝庫、貴重植物一挙公開!!  
バードカービングの魅力  
木津川上流の自然と活動
- (フジタカヌー)  
(城隈生き物調査隊)  
(遠だこ愛好家 島中 豊氏)  
(やましろ里山の会)  
(バードカービングの会)  
(木津川上流城河川レンジャー)

野鳥の生態が生きて!! (あらす野鳥を守る会 野鳥写真家 小川 正明氏・藤本 きりあ氏)  
里山の自然と保全活動 (森林ボランティア サン・フォレスト 加茂の森林守り隊 )  
木津川はどんな川・どんな鳥や生きものがいるの? (木津川河川レンジャー 伏見の淡水魚を守る会)  
鳥の体の仕組みの不思議、鳥ってすごい!! (自然体験活動推進協議会インストラクター 植田 光弘 氏)  
木津川とその支流の水ってきれいな?  
(木津川河川レンジャー 京都生協環境委員会 精華町環境ネットワーク会議)  
美しい川をとりもどす活動  
(木津川を美しくする会 上柏川を美しくする会 木津川水質ネットワーク会議  
古川を美しくする会 だいち場サザミフェスト実行委員会 加茂の森と緑を守る会)

**作って遊ぼう 木津川の自然工作! 遠だこをあげよう!!**  
ストーンペイント・鳥のぬりえ・ペンダント・遠だこ作り  
みんなで遠だこを上げよう!! 17日午後 23日

※以上事前申し込みは不要です。

**野外活動** (裏にご案内 野外活動は申し込みください)

- 17日(日) 9:00~12:00 野鳥観察会 (木津川流域センター周辺)
- 22日(金) 10:00~12:00 木津川歴史ウォーク (木津川流域センター~泉橋寺)

問い合わせは 国土交通省木津川出張所 ☎ 0774-62-0075

**主催** 木津川展実行委員会(事務局 木津川管内河川レンジャー) **参加費無料**  
**支援** 国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所  
**協力** NPO法人 やましろ里山の会  
**後援** 八幡市 京田辺市 木津川市 城陽市 久御山町 精華町 空堀町 和束町 南山城村 木津川漁業協同組合  
京都府山城広域振興局 琵琶湖・淀川水質保全機構 琵琶湖・淀川流域連携交流会 河川環境管理財団

## 2012年度(2/17~23) 木津川展展示参加報告

2013・3  
西

1. 日時 2013年 2月17日(日)~23日(土)
2. 場所 淀川河川事務所 木津川出張所 木津川流域センター
3. 目的 木津川流域で活動する様々な取組みを伝え、交流する目的で第4回目の木津川展が開催され、上流管内河川レンジャーとして上流での活動や上流の自然を伝える展示を行った。  
(主催) 木津川展実行委員会 (事務局;木津川河川レンジャー)  
(支援) 国交省近畿地方整備局淀川河川事務所  
(協力) NPO法人 やましろ里山の会  
(後援) 関係市町村他
4. 参加団体 展示参加団体 参加者  
あらす野鳥を守る会 (澤内 孝夫)  
加茂水と緑を守る会 (浦辻 長次)  
加茂の森林守り隊 (宮本 良一)  
上粕川を美しくする会 (中 健蔵)  
カワセミ写真家 (小川正明)  
木津川水質ネットワーク会議 (葛巻 忠典、吉田 ミサオ)  
木津川を美しくする会 (森本 喜代美)  
京都生協 相楽行政区 環境委員会 (木戸 明美、立花 志保)  
サン・フォレスター (高田 明)  
自然体験活動推進協議会インストラクター (植田 光弘)  
城陽生き物調査隊 (田中 昭夫)  
精華町環境ネットワーク会議 (前田 眞千代)  
たいこ橋サザナミフェスト実行委員会 (鷹野 雅生)  
日本カヌー協会 フジタカヌー (藤田 亮)  
バードカービングの会 (荒堀 清美)  
伏見の淡水魚を守る会 (久乗 正光)  
古川を美しくする会 (長岡 幸夫)  
やましろ里山の会 (深田 三郎)  
野鳥写真家 (藤本 きりゑ)  
連凧を楽しむ会 (畠中 豊)  
  
木津川上流管内河川レンジャー (西 祐治)  
(事務局) 木津川管内河川レンジャー (山村 武正、福井 波恵、山田 信人)  
(田中 実知世、柴垣 治男)
5. 実施内容  
(1)木津川上流管内河川レンジャーとしての活動展示  
ア、活動展示内容  
上流管内の説明と、2011年度2012年度の木津川レンジャーとの交流活動の紹介を含め、上流域の自然と河川の様子を紹介  
(パネル3枚と、河川の石・水の比較展示)



※展示した3枚のパネル



イ、来訪者の反応（初日及び最終日に会場に詰め、来訪者への説明やコミュニケーション実施）

- ・普段見る木津川の様子とは違い、自然豊かな上流の様子が解かった。
- ・砂の川というイメージがあったが、上流の様子が良く解かった。
- ・下流と上流のつながりや、昔からのつながりを知る事が出来た。
- ・昔の人の生活や鮎の話など、垣間見ることが出来た。
- ・上流にも河川レンジャーがいて、色んな活動をされていることを知る事が出来た。
- ・川に近寄る事を恐れずに、どういう川との付き合い方をすれば良いのか参考になった。
- ・上流の活動にも是非、参加してみたい。（※特に、川下り・シャワークライミング）

(2)他団体の活動展示

木津川河川レンジャーの展示他、展示物の写真を抜粋

(木津川河川レンジャー)



(木津川河川レンジャー・子どもの水辺活動)



(その他)



- (3)木津川展関連 木津川レンジャー活動  
ア、川の自然観察会「冬の野草観察会」  
・2月17日(日) 9:00～12:00  
・流域センター周辺  
開橋上流右岸河川敷一帯  
・ジュウビタキ、カワセミなどを観察。  
今年のカモ類は確認されず、  
川の様子の変化と共に  
飛来する冬鳥の種類も変わって  
きている様にも思われた。



- イ、連凧作りと凧揚げ他  
・2月17日(日) 午後  
・流域センター内  
開橋上流右岸堤防  
・毎年継続されている内容



- ウ、木津川歴史ウォーク  
・2月22日(金) 10:00～12:00  
・木津川流域センター  
～ 山城町 泉橋寺  
※平日実施の為、不参加

## 6. 所感

今年で4回目と言う事であるが、様々な活動団体や趣味の展示があり、木津川市や城陽市などの子ども達や市民の方が訪れられていた。正式集計中であるが、関連した歴史ウォークも合わせ延べ200名程の来訪者があった。(守口市の松口家族も最終日来訪)

下流の方と話をする中で、上流という意識があまり持っていなかった方や、上流に関心のある方もいて、木津川上流の様子を少しでも伝えられたと思う。やはり下流の自然や環境を考える上で、上流の自然環境を大切にしなければならない事をあらためて感じた。

これからも木津川は一本という考えのもとに、下流との交流は継続していきたい。

以上

[次第に戻る](#)



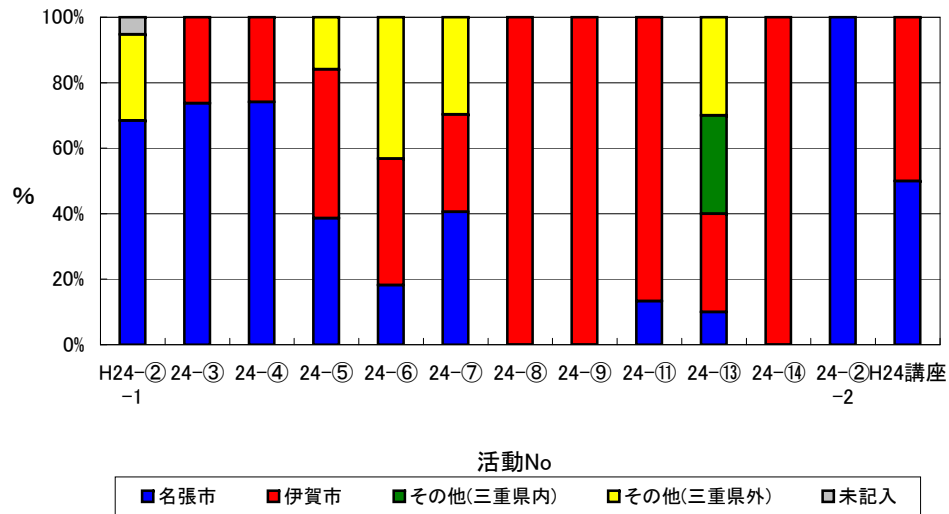
平成24年度 木津川上流管内河川レンジャー活動・講座等 アンケート集計結果

調査項目	回答	活動												発見講座			合計
		H24-② -1	24-③	24-④	24-⑤	24-⑥	24-⑦	24-⑧	24-⑨	24-⑩	24-⑬	24-⑭	24-② -2	H24講座			
		名張川 ホタル再生に 向けて(ほた る鑑賞会)	名張川 自然観 察ウォー キング	遊んで 学ぼう!水 のはた らき	川下り・ カヌー体 験	木津川 源流体験 とシャ ワーライ フニング 体験	名張川 水生生物 調査と食 文化学習	水防技 術講習 会①	水防技 術講習 会②	久米川 (木津 川)ク ラウン グウォ ーキン グ	木津川 源探検 登山	新居小 学校防 災学習 会	名張川 ホタル 再生に 向けて(ほ たると 幼虫流 体験)	①	②	③	
参加者数		35	34	43	51	57	44	265	56	59	10	27	11	11			703
回答者数		19	19	27	44	44	37	82	50	45	10	26	6	10			419
回答率(%)		54.2	55.8	62.7	86.2	77.1	84.0	30.9	89.2	76.2	100.0	96.2	54.5	90.9			59.6
住まい	名張市	13	14	20	17	8	15	0	0	6	1	0	6	5			105
	伊賀市	0	5	7	20	17	11	82	50	39	3	26	0	5			265
	その他(三重県内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0			3
	その他(三重県外)	5	0	0	7	19	11	0	0	0	3	0	0	0			45
	未記入	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1
	小計	19	19	27	44	44	37	82	50	45	10	26	6	10			419
性別	男性	14	11	19	28	20	25	/	/	57	6	16	5	8			209
	女性	5	8	8	16	24	12	/	/	3	4	10	1	2			93
	未記入	0	0	0	0	0	0	/	/	0	0	0	0	0			0
	小計	19	19	27	44	44	37	/	/	60	10	26	6	10			302
年齢	～9	3	10	12	19	16	18	/	/	5	0	0	2	0			85
	10～19	1	3	5	8	10	4	/	/	33	0	26	0	0			90
	20～29	1	0	0	0	0	2	/	/	1	1	0	0	0			5
	30～39	7	2	3	7	6	3	/	/	11	0	0	0	0			39
	40～49	2	3	5	6	11	9	/	/	6	3	0	1	0			46
	50～59	1	0	0	4	0	0	/	/	1	6	0	0	0			12
	60～69	1	0	0	0	1	1	/	/	0	0	0	0	5			8
	70～	2	0	1	0	0	0	/	/	2	0	0	2	4			11
未記入	1	1	1	0	0	0	/	/	1	0	0	1	1			6	
	小計	19	19	27	44	44	37	/	/	60	10	26	6	10			302
活動をどこで知ったか	チラシで知った	5	4	8	1	3	6	0	0	2	0	0	0	4			33
	HPで知った	2	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0			7
	知人に聞いた	6	0	0	6	12	9	0	0	0	10	0	0	1			44
	やなせ宿で知った	0	0	0	0	0	4	0	0	6	0	0	5	0			15
	広報誌	2	3	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5			16
	学校の案内で知った	4	12	17	31	20	12	0	0	4	0	0	1	0			101
	その他	0	0	0	0	7	4	82	50	48	0	26	0	0			217
未記入	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0			1	
	小計	19	19	27	44	44	37	82	50	60	10	26	6	10			434
活動は楽しかったか	すごく楽しかった	8	9	17	37	37	22	/	/	22	7	9	1	/			169
	楽しかった	11	10	10	7	7	15	/	/	36	3	17	5	/			121
	つまらなかった	0	0	0	0	0	0	/	/	2	0	0	0	/			2
	未記入	0	0	0	0	0	0	/	/	0	0	0	0	/			0
	小計	19	19	27	44	44	37	/	/	60	10	26	6	/			292
活動時間	ちょうど良かった	11	13	23	35	32	22	/	/	47	9	11	6	/			209
	長かった	2	5	1	4	7	14	/	/	8	0	5	0	/			46
	短かった	6	1	3	5	5	1	/	/	5	1	10	0	/			37
	未記入	0	0	0	0	0	0	/	/	0	0	0	0	/			0
	小計	19	19	27	44	44	37	/	/	60	10	26	6	/			292
「川」に興味や関心を持ったか	はい	16	18	26	42	44	35	/	/	31	10	23	5	9			259
	いいえ	3	1	1	2	0	0	/	/	14	0	3	1	0			25
	未記入	0	0	0	0	0	2	/	/	0	0	0	0	1			3
	小計	19	19	27	44	44	37	/	/	45	10	26	6	10			287
「川」についてもっと知りたいと思ったか	すごく知りたいと思った	7	7	16	23	28	16	/	/	11	4	6	3	6			127
	少し知りたいと思った	11	10	10	20	13	19	/	/	20	6	19	2	3			133
	思わなかった	1	2	1	1	3	0	/	/	14	0	1	1	0			24
	未記入	0	0	0	0	0	2	/	/	0	0	0	0	1			3
	小計	19	19	27	44	44	37	/	/	45	10	26	6	10			287
「川」に関する活動や学習会に参加したことがあるか	はい	10	8	19	14	28	19	/	/	8	2	5	5	1			119
	いいえ	6	10	7	23	16	15	/	/	37	7	21	1	8			151
	未記入	3	1	1	7	0	3	/	/	0	1	0	0	1			17
	小計	19	19	27	44	44	37	/	/	45	10	26	6	10			287
河川レンジャー活動に参加したことがあるか	はい	4	2	13	10	28	17	3	1	8	0	0	4	1			91
	いいえ	12	16	14	28	16	16	78	49	37	9	26	2	8			311
	未記入	3	1	0	6	0	4	1	0	0	1	0	0	1			17
	小計	19	19	27	44	44	37	82	50	45	10	26	6	10			419
参加してみたい活動や学習会	水生生物調査	6	6	7	17	22	17	4	12	4	2	7	2	4			110
	川下り	11	10	14	22	34	27	11	16	7	2	16	3	2			175
	カヌー体験	10	12	16	15	31	23	14	14	4	2	21	2	2			166
	野鳥観察会	3	66	5	11	17	11	3	10	2	3	2	1	4			138
	ウォーキング	4	0	2	7	5	8	4	19	7	4	1	0	7			68
	防災学習	3	2	3	1	3	3	21	18	6	0	2	1	3			66
	歴史・文化学習	2	2	6	3	4	5	4	11	3	3	1	0	4			48
	自然学習	4	8	9	13	15	7	7	13	2	4	4	2	5			93
	未記入	3	1	1	8	0	0	2	1	1	1	0	0	1			19
その他	2	0	0	1	4	18	1	1	20	1	3	1	0			52	
	小計	48	107	63	98	135	119	71	115	56	22	57	12	32			935

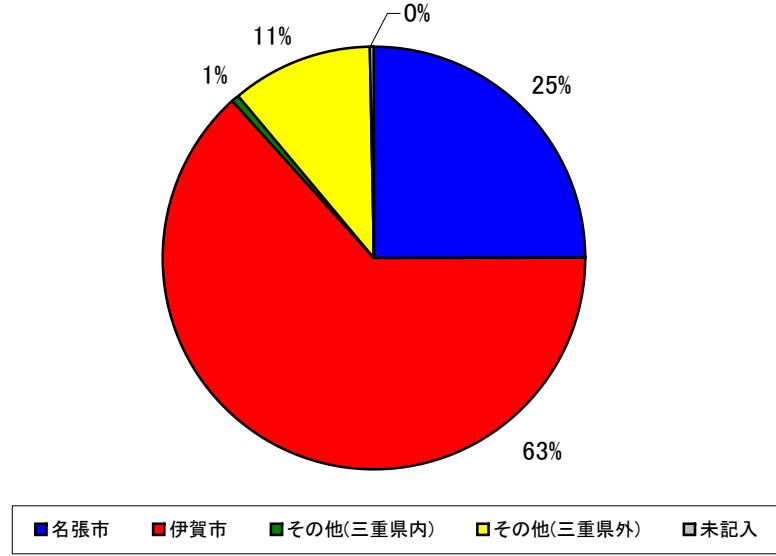
平成24年度 木津川上流管内河川レンジャー活動・講座等 アンケート集計結果

調査項目	回答	活動												発見講座			合計			
		H24-② -1	24-③	24-④	24-⑤	24-⑥	24-⑦	24-⑧	24-⑨	24-⑩	24-⑬	24-⑭	24-② -2	H24講座						
		名張川 ホタル再 生に向 けて(ほ たる鑑 賞会)	名張川 自然観 察ワー キング	遊んで 学ぼう !水の はたら き	川下り ・カヌ ー体 験	木津川 源流体 験とシャ ワーライ フ体 験	名張川 水生生 物調査 と食文 化学習	水防技 術講習 会①	水防技 術講習 会②	久米川 (木津 川)ク ラウン グワー キング	木津川 源探検 登山	新居小 学校防 災学習 会	名張川 ホタル 再生に 向けて (ほた る幼虫 放流体 験)	① 木津川 上流の 自然環 境	② 木津川 上流の 防災対 策	③ 木津川 上流の 防災施 設見学				
「遊水地」に興味や関心を持 ったか	はい														22				22	
	いいえ														4				4	
	未記入														0				0	
	小計														26				26	
「遊水地」についてもっと知り たいと思ったか	すごく知りたいと思った														4				4	
	少し知りたいと思った														19				19	
	思わなかった														3				3	
	未記入														0				0	
小計														26				26		
「防災」に興味や関心を持 ったか	はい														20				20	
	いいえ														6				6	
	未記入														0				0	
	小計														26				26	
「防災」についてもっと知り たいと思ったか	すごく知りたいと思った														5				5	
	少し知りたいと思った														18				18	
	思わなかった														3				3	
	未記入														0				0	
小計														26				26		
講義時間	長かった																0	0	0	42
	ちょうど良かった																9	9	10	107
	短かった																1	1	0	12
	未記入																0	0	0	1
小計																10	10	10	162	
講義内容	よく理解できた																4	2	5	90
	少し理解できた																6	8	5	67
	理解できなかった																0	0	0	3
	未記入																0	0	0	2
小計																10	10	10	162	
「川」について感じていること や思っていること	きれい	1	6	5	3	4	5					2	3	0	1	0			30	
	きれいにしたい	0	1	1	0	0	2					1	0	1	0	0			6	
	楽しい	1	0	0	4	3	0					0	0	1	0	0			9	
	危険・恐い	1	4	3	15	8	4					6	0	11	0	0			52	
	遊びたい・親しみたい	1	6	2	7	10	3					0	0	5	0	0			34	
	ゴミが多い・汚い	1	5	2	3	8	4					20	0	17	1	3			64	
	その他	8	4	6	4	7	9					3	5	2	1	2			51	
	要望	1	0	4	3	2	0					0	0	3	0	3			16	
小計	14	26	23	39	42	27					32	8	40	3	8			262		
どんな「川」になったらいいと 思うか	きれいな川	5	12	8	15	20	14					23	3	15	0	0			115	
	泳げる川	5	0	4	10	9	1					2	1	5	2	2			41	
	遊べる川・楽しめる川	3	6	5	5	10	7					0	0	4	1	0			41	
	安全・安心な川	3	8	7	7	9	3					2	0	13	0	0			52	
	ゴミのない川	1	6	1	5	4	2					8	0	14	0	2			43	
	生き物がたくさんいる川	3	0	0	5	4	9					3	1	2	1	1			29	
	その他	1	1	2	4	5	1					4	4	0	0	4			26	
要望	0	0	1	1	0	0					0	0	0	0	0			2		
小計	21	33	28	52	61	37					42	9	53	4	9			349		
きれいな「川」にするためにみ んなができること	ゴミを捨てない	1	2	4	8	8						10	1	7	0	3			44	
	ゴミ拾い	9	5	9	22	20						17	1	14	2	1			100	
	生き物を大切にす	1	3	3	4	6						1	0	3	1	2			24	
	汚い水を流さない	6	4	2	8	2						5	3	7	2	2			41	
	注意喚起	0	0	0	2	0						0	0	2	0	0			4	
	その他	2	0	2	5	9						4	2	2	0	1			27	
要望	0	0	1	1	1						1	0	0	0	0			4		
小計	19	14	21	50	46						38	7	35	5	9			244		
どのような広報を希望する か	他の催しでチラシ配布	0	0	0	1	1	0	2	3	0	0	2	1						10	
	ロコミ	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0					2	
	学校にチラシ配布	2	6	8	10	11	7	1	0	5	0	1	0						51	
	ポスターの掲示	0	1	0	1	3	0	1	1	2	1	3	0						13	
	テレビCMラジオ	1	0	0	2	1	0	6	3	0	2	1	0						16	
	広報誌への掲載	2	0	1	0	1	0	2	10	2	0	0	0						18	
	チラシ配布	0	1	2	2	2	1	1	1	8	1	9	0						28	
	新聞	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0						6	
	回覧板	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0						5	
	ホームページ	1	0	2	0	2	3	4	0	0	1	0	0						13	
メール郵便DM	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0						5		
その他	1	0	1	1	7	2	7	1	1	1	9	1						32		
小計	9	9	14	21	29	14	27	20	20	7	27	2						199		

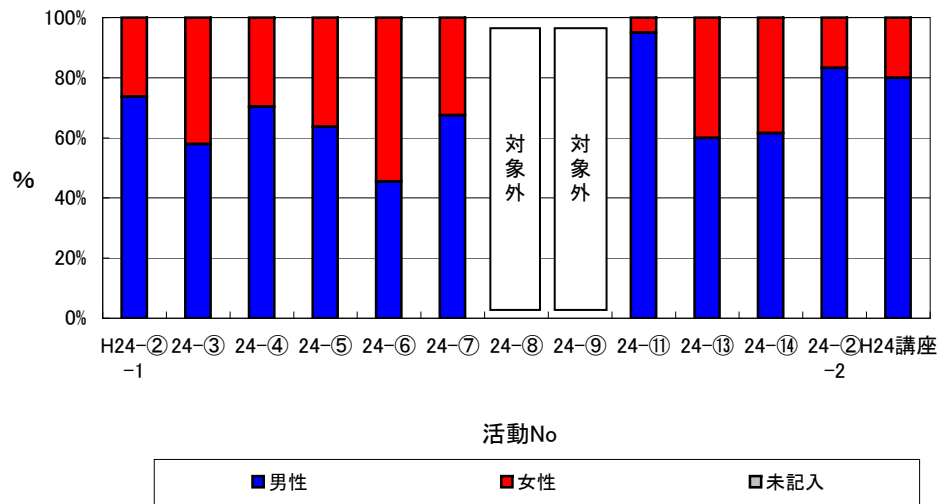
住まい



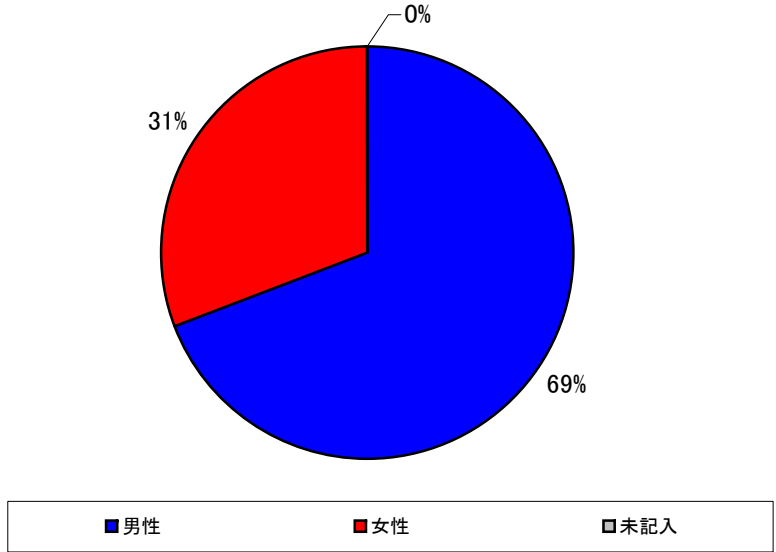
住まい【全体】

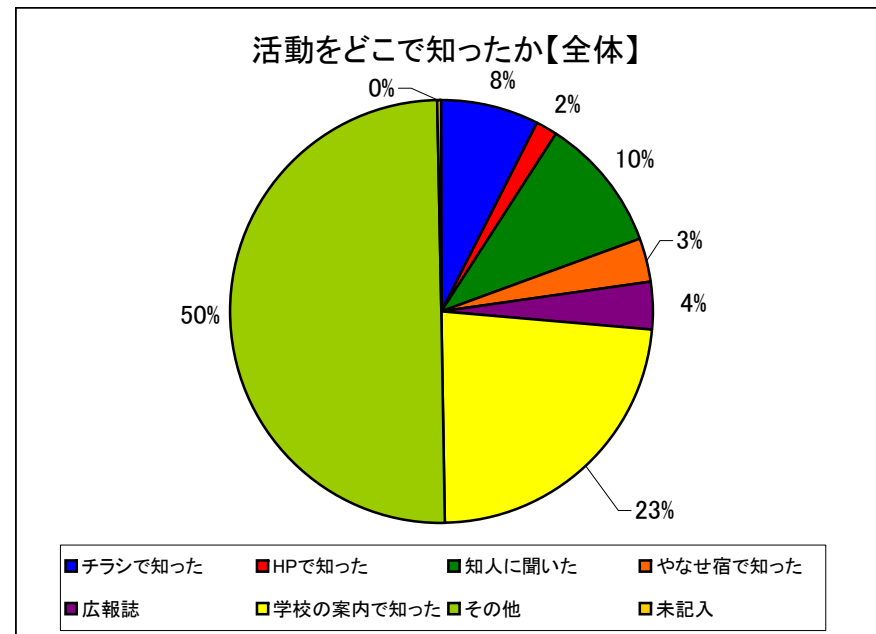
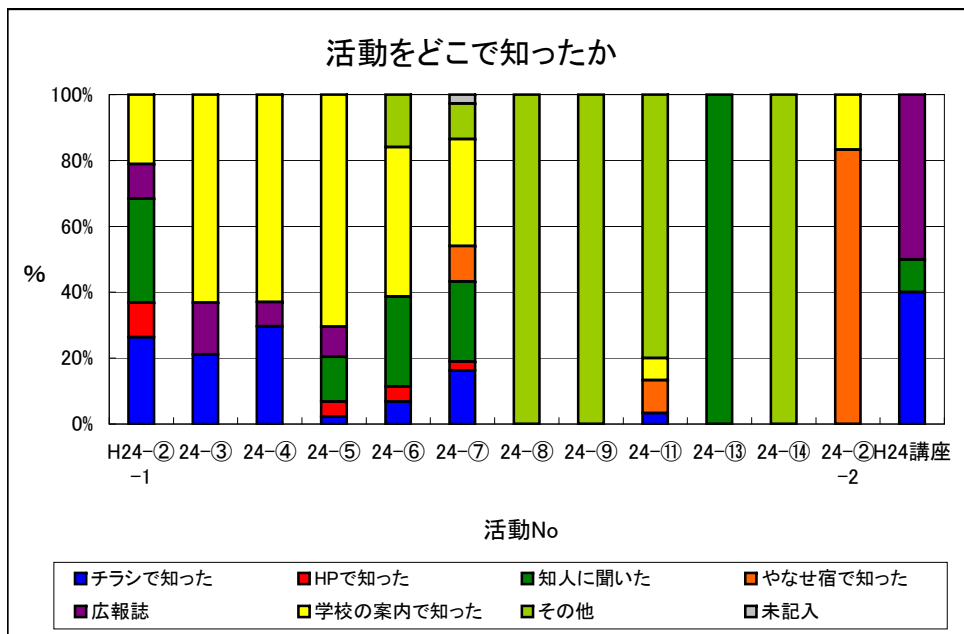
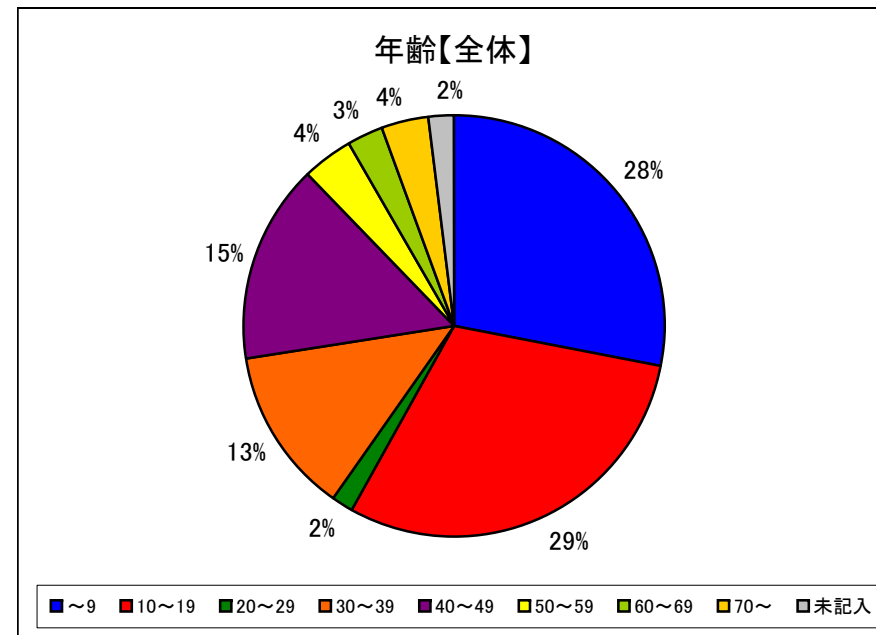
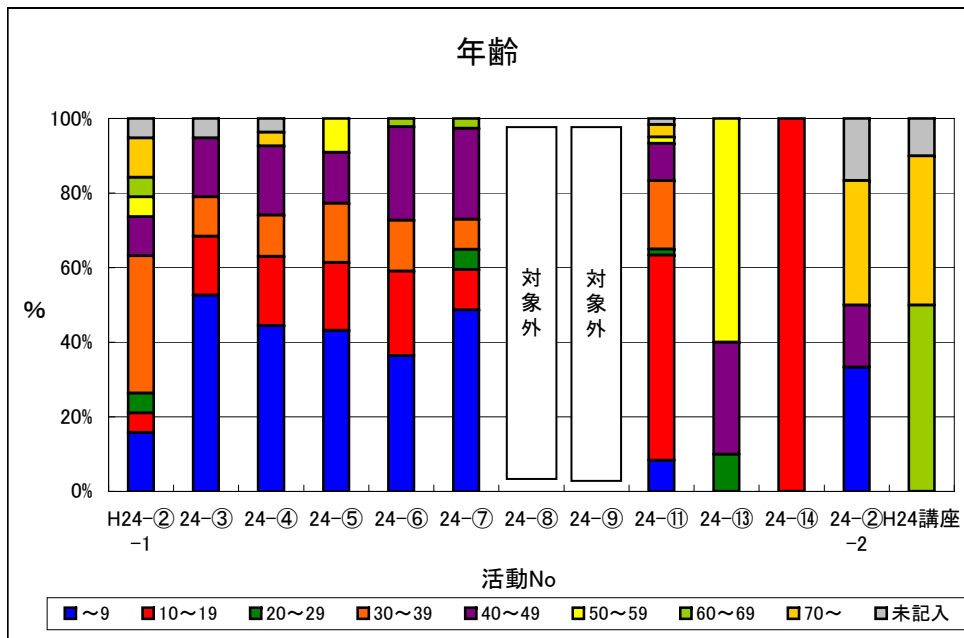


性別

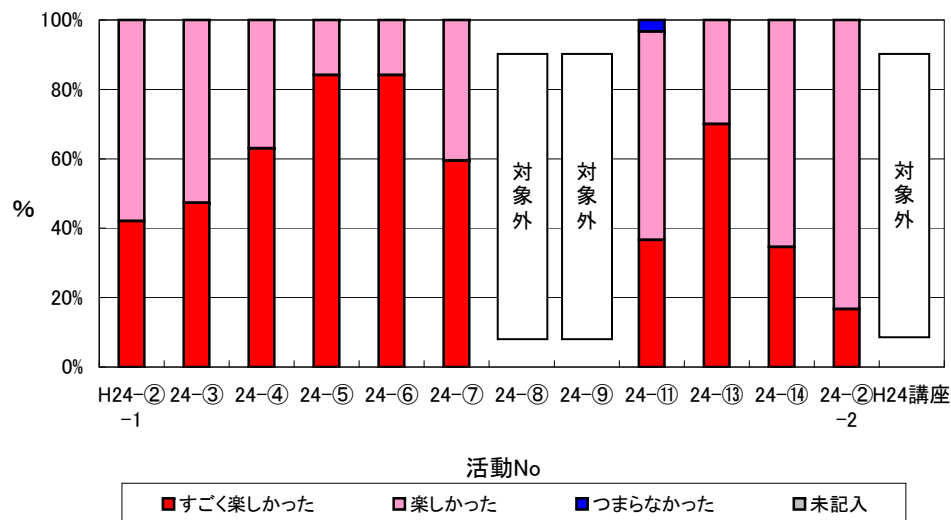


性別【全体】

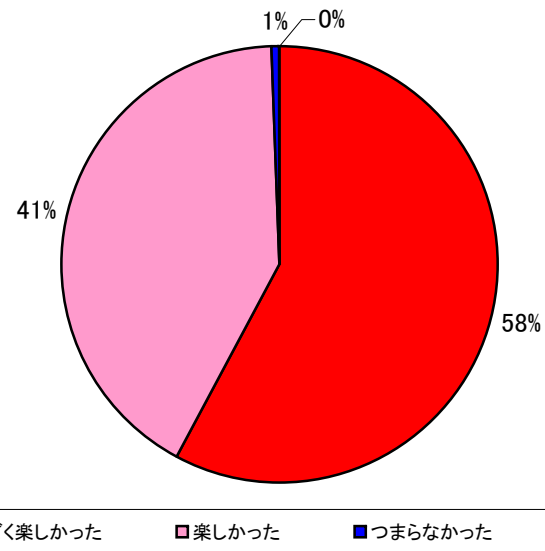




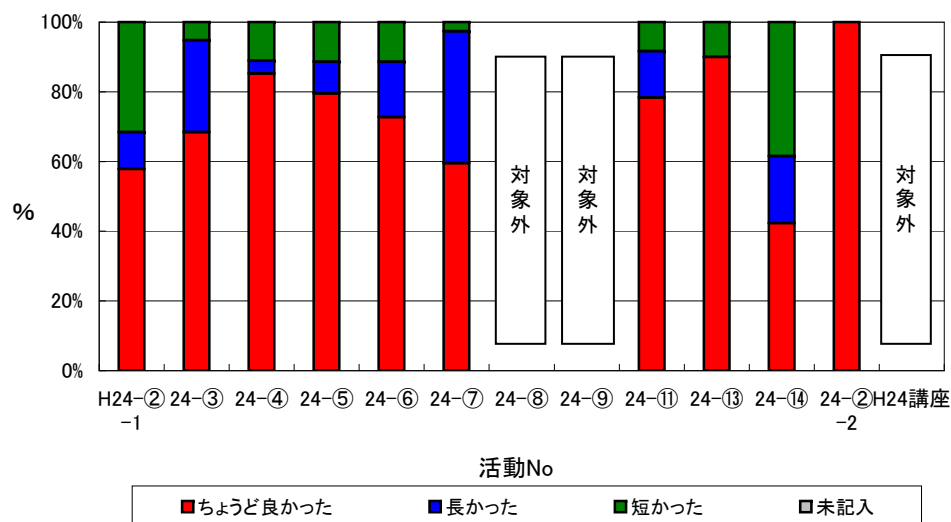
活動は楽しかったか



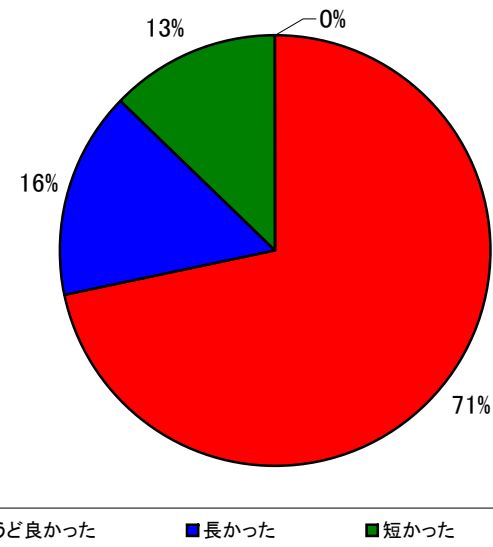
活動は楽しかったか【全体】

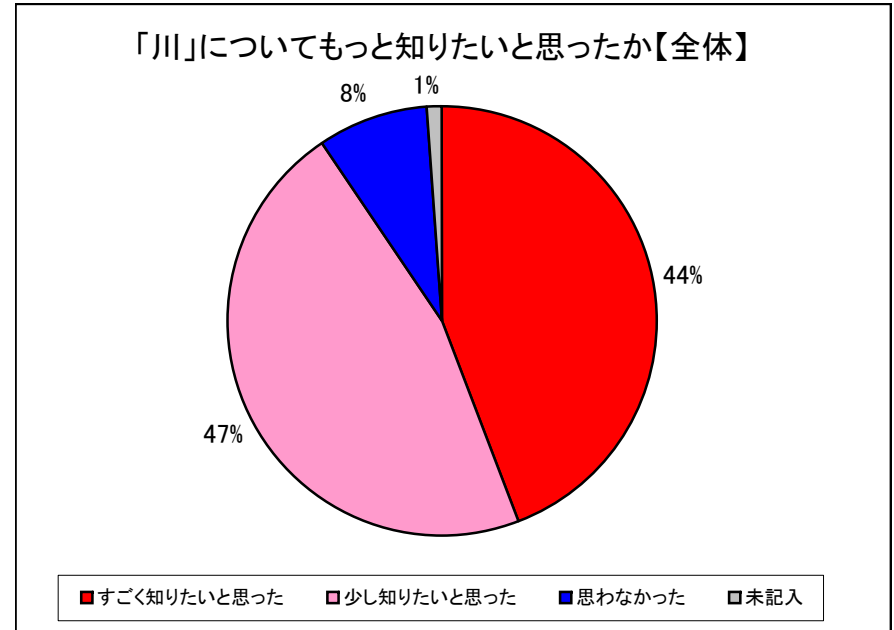
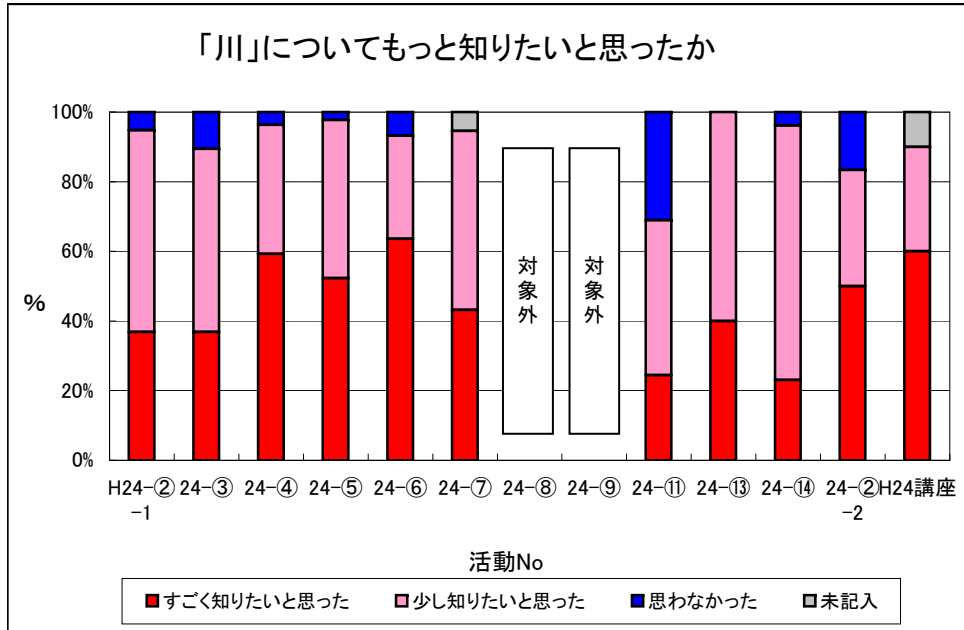
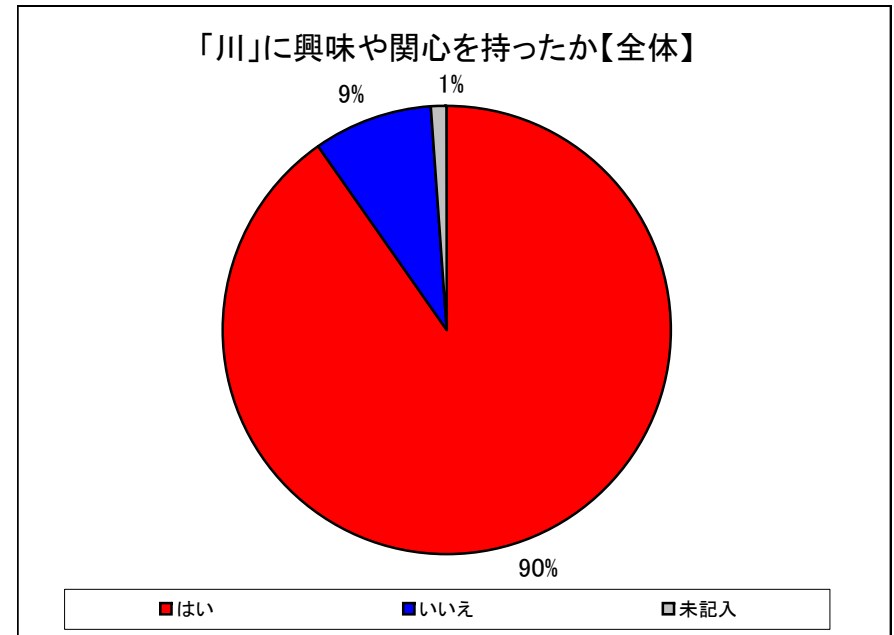
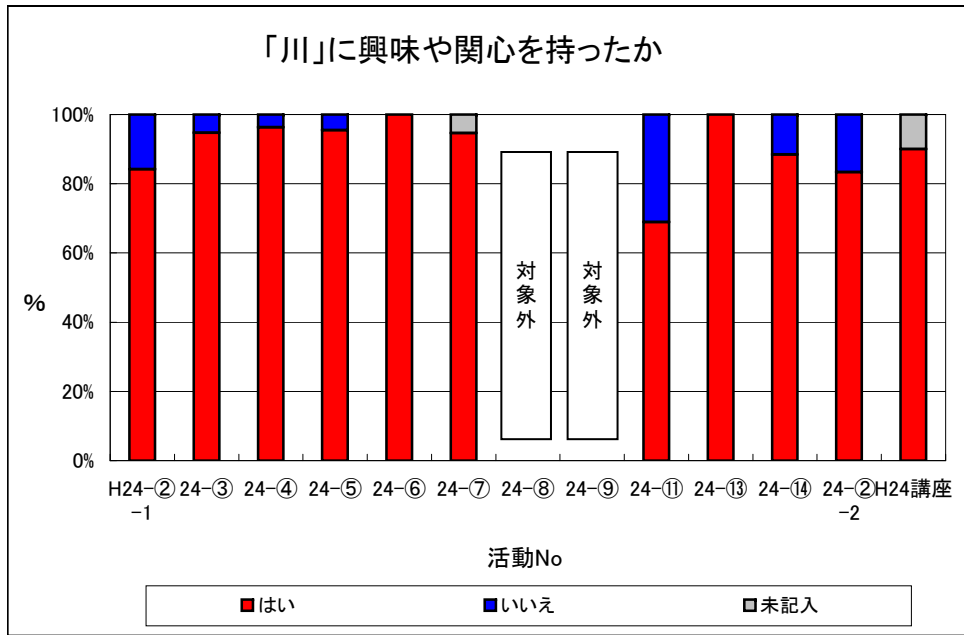


活動時間はどうか

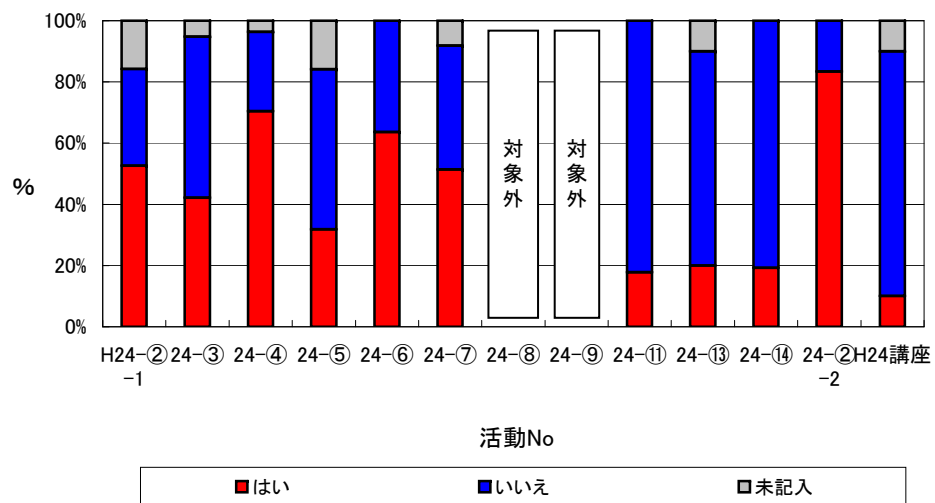


活動時間はどうか【全体】

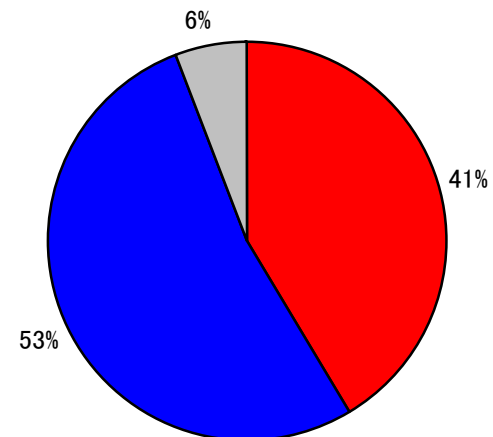




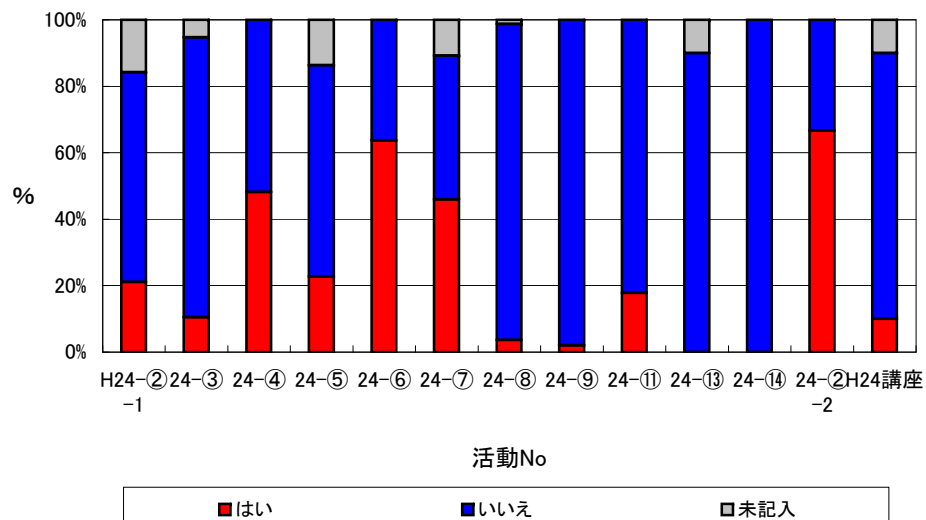
「川」に関する活動や学習会に参加したことがあるか



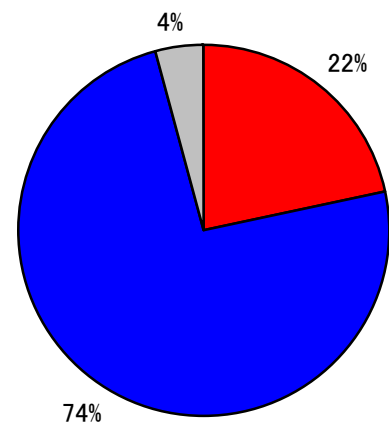
「川」に関する活動や学習会に参加したことがあるか【全体】



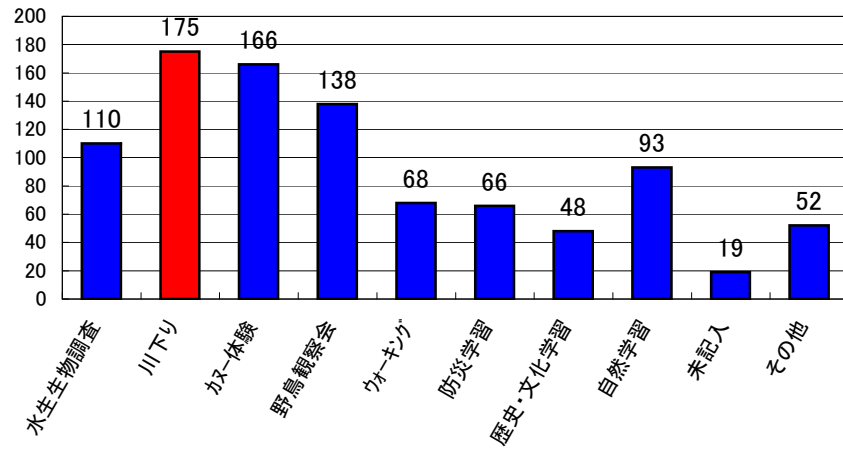
河川レンジャー活動に参加したことがあるか



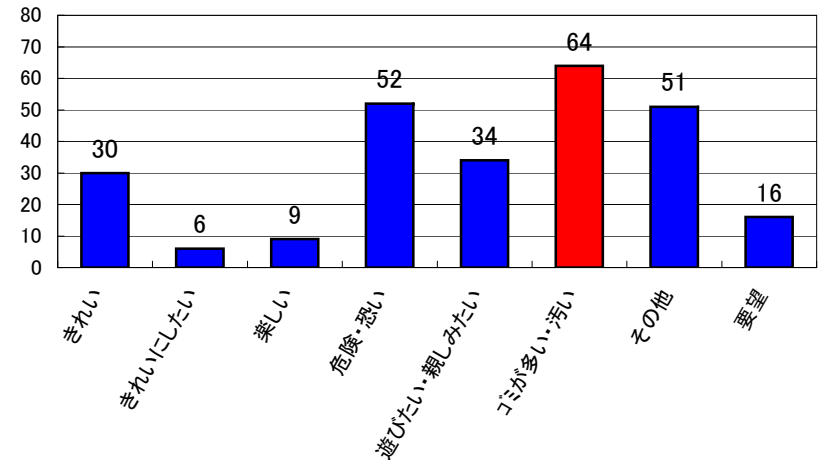
河川レンジャー活動に参加したことがあるか【全体】



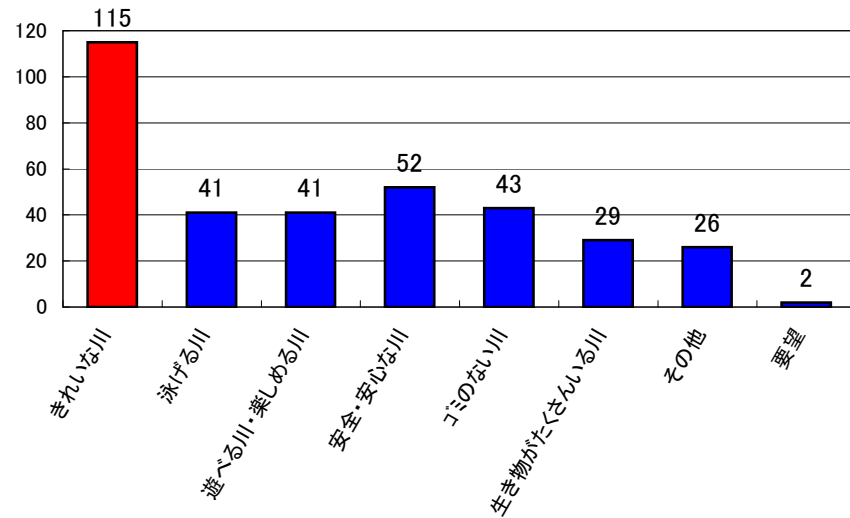
参加してみたい活動や学習会【全体】



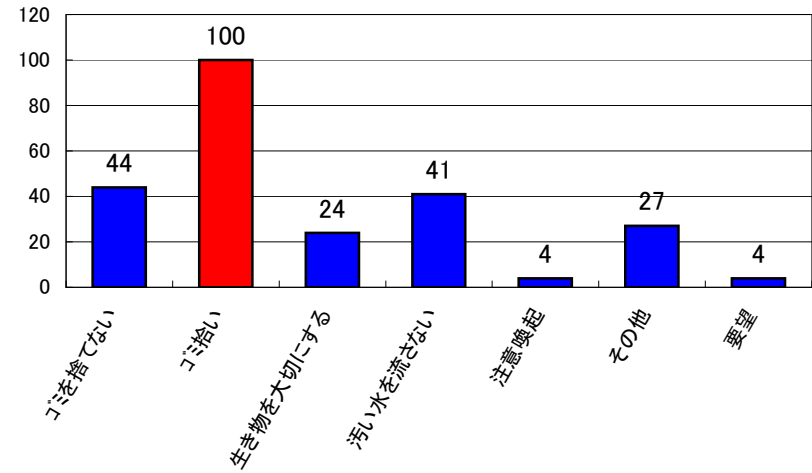
「川」について感じていることや思っていること【全体】



どんな「川」になったらいいと思うか【全体】

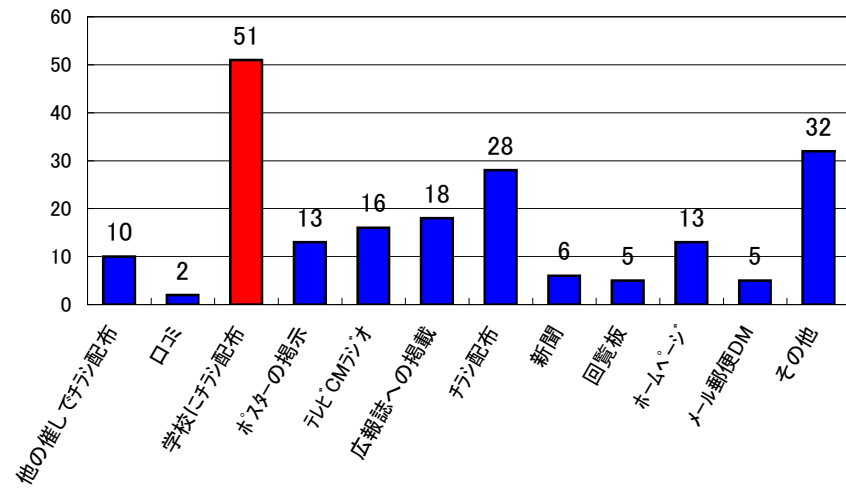


きれいな「川」するためにみんなができること【全体】



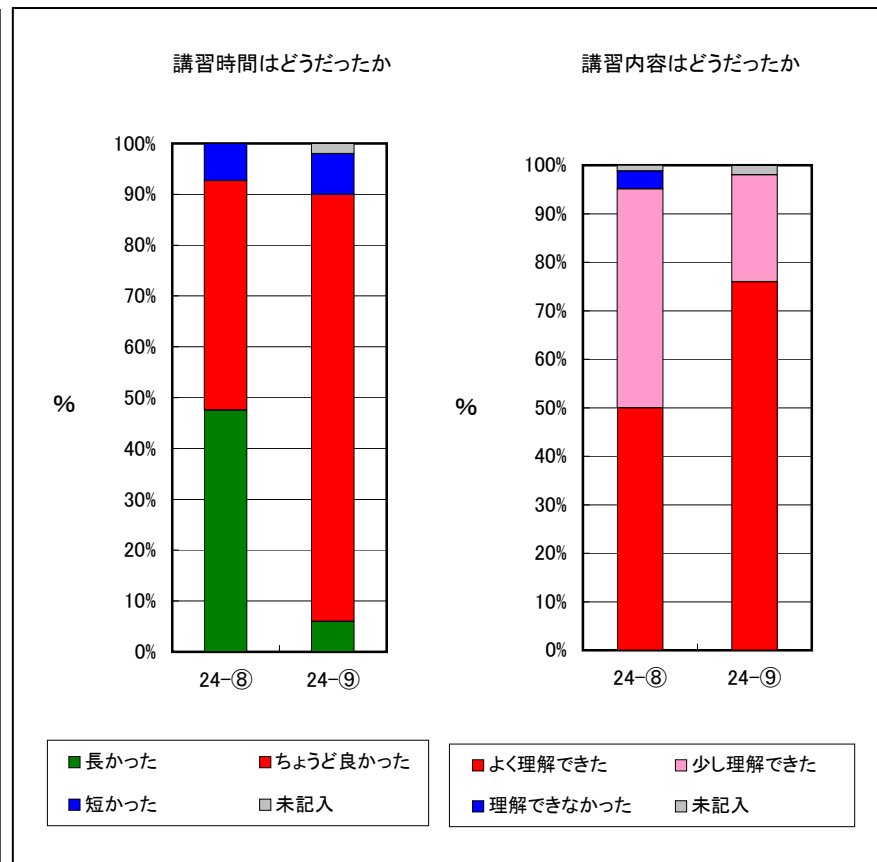
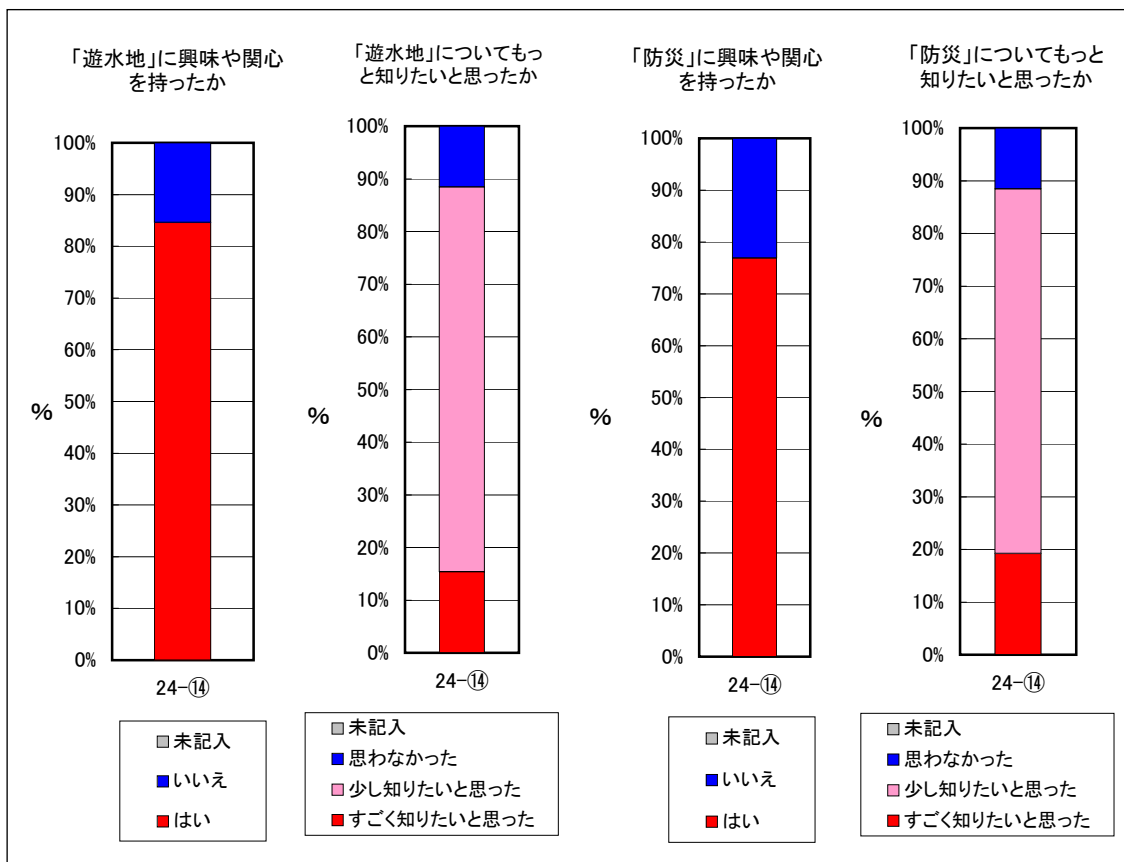


どのような広報を希望するか【全体】

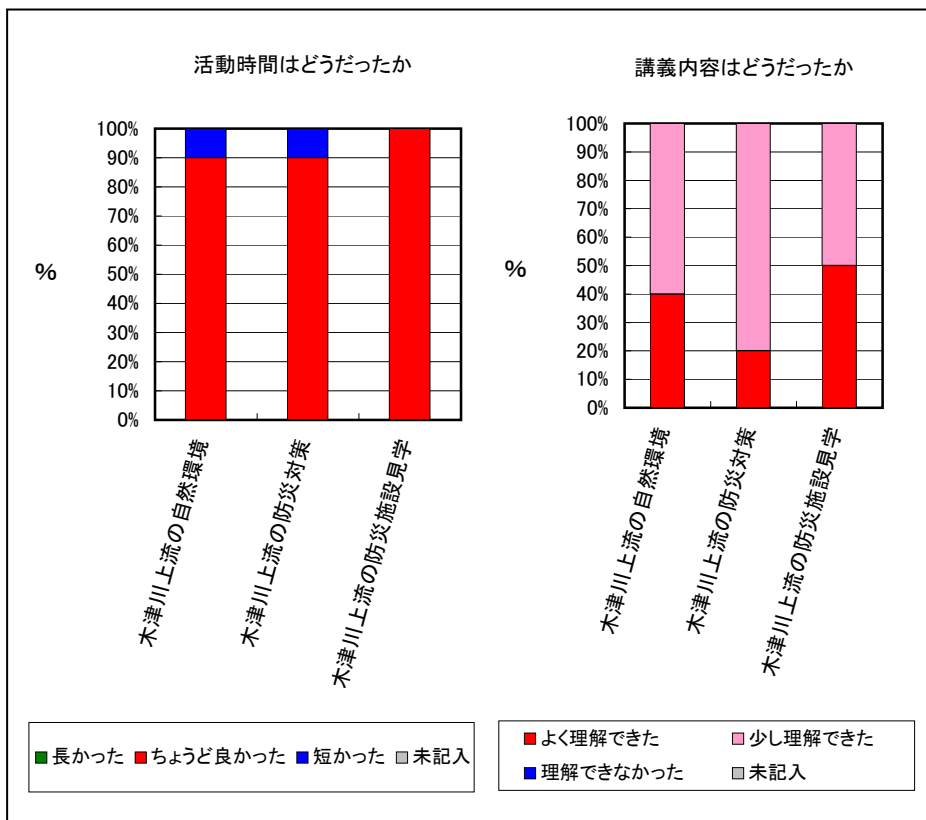


その他の集計結果①  
(H24-⑭)「新居小学校防災学習会」

その他の集計結果②  
(H24-⑧・⑨)「水防技術講習会」



その他の集計結果③  
 (H24講座)「木津川上流発見講座」



活動No	回答No	活動に参加しての感想や意見
H24-②	2-1	長く続けていただき、年々グレードアップして行って欲しい。(ホタルの数も含めて)
H24-②	2-2	久しぶりにホタルが光っているのがみれて、とてもうれしかった。
H24-②	2-3	私も赤目、箕曲、竜口、山添で個人ボランティアを7年やっています。
H24-②	2-5	ホタルの命みじかいですね
H24-②	2-10	今まで比較的無関心であった。今回の参加を機会にもっと川、水に興味と関心を持ちたいと思いました。
H24-②	2-12	あめでさんねでした。
H24-②	2-14	梅雨時なので仕方無いですが、去年も雨で観察に行けず残念でした。
H24-②	2-15	天気が残念でした
H24-②	2-16	天気が悪かったので、川に観察に行けず残念。次回も開催してほしい。
H24-②	2-17	ホタルをまじかで見れて楽しかったです。
H24-②	2-18	雨が降ってきたので、ホタルを見に行きませんでした。雰囲気もよかったです。おそうめんもおいしかったです。
H24-②	2-19	川の環境を良くして自然と共生する事考えたい。
H24-③	3-1	あつかった。
H24-③	3-2	前半、天気がよかったので、あつくて大木の下で鳥の話を聞くのが良かった。(もう少し早く、そこへ行きたかったです。)川遊びは、子どもたちだけでなく、大人も楽しめた。どちらも最後の総括的な話で、鳥について、ムシ、魚について、詳しい話がおもしろかったです。
H24-③	3-3	川にいるいきものはがんばっていきるとおもいました。
H24-③	3-4	いろいろな魚の名前が知ってたのしかった。
H24-③	3-9	名ばり川はこんなにいきものがいてびっくりしました。
H24-③	3-10	いろいろな生き物が川に入ることをして、もっとしりたいと思った。
H24-③	3-13	今回以外の鳥や魚を見たい。
H24-③	3-16	子どもがたのしそうでまた参加をしたいと思います。
H24-③	3-18	暑かった。鳥が少なく残念。春や秋の気候の良い時期に開催してほしい。
H24-④	4-2	家庭では、なかなかできない貴重な体験でした。とても勉強になった。
H24-④	4-3	おもしろかった
H24-④	4-4	ゴムぞうりだったので、草で切ったりしたので今後はくつも必要だと思いました。
H24-④	4-5	ペットボトルカヌーがたのしかったです。ぐるぐるまわる水車もおもしろかったです。
H24-④	4-15	少し楽しかった。
H24-④	4-17	暑い中ありがとうございました。
H24-④	4-19	何かをまた作りたい
H24-④	4-20	手づくりのこんな体験ができて良かったです。ありがとうございました。
H24-④	4-22	楽しかったです。ペットボトルにのったことがおもしろかった。
H24-④	4-23	子供もたのしく参加することができました。
H24-④	4-25	初めての体験ばかりでとても興味深く楽しかったです。
H24-④	4-26	たのしかった
H24-④	4-27	1つ1つが楽しそうに子どもが遊んでいたのが良かったです。
H24-⑤	5-1	また参加します
H24-⑤	5-2	かれーがあつかった。
H24-⑤	5-4	カヌーのそうじゅうが難しかった。
H24-⑤	5-6	またやりたいです。
H24-⑤	5-9	おもしろかった
H24-⑤	5-11	僕が特に面白かったのは、川の中で泳ぐ事です。激流は超楽しかった。
H24-⑤	5-12	もっと川をしりたくなった。
H24-⑤	5-13	暑い中本当にありがとうございました。大変楽しかったようです。
H24-⑤	5-15	楽しかった
H24-⑤	5-16	カヌーが楽しかった
H24-⑤	5-19	さかながとれなかったけどたのしかった！
H24-⑤	5-20	たのしかった
H24-⑤	5-21	もう少し時間がほしかった。
H24-⑤	5-22	カヌーはこぐのがとてもむずかしかったけどまた来年もきたいです。
H24-⑤	5-23	もっとやりたかった。おもしろかった。
H24-⑤	5-24	おもしろかったです！
H24-⑤	5-25	ない
H24-⑤	5-26	前回より砂がたくさんあって、浅くなっていました。おなじ班の子と仲良くなれて良かった。
H24-⑤	5-27	川流れとても楽しかったです！！
H24-⑤	5-28	また参加したいです
H24-⑤	5-29	とても楽しかったです。来年もよろしく願います。
H24-⑤	5-30	子供の教育にすごくいいと思いました。
H24-⑤	5-31	子どもと一緒に体験出来た事が良かった
H24-⑤	5-32	カレーがおいしかった
H24-⑤	5-33	友人がたくさん出来て楽しかった。

活動No	回答No	活動に参加しての感想や意見
H24-⑤	5-34	なかなか思い切って今日のような活動は出来ないで、子供たちの教育にも凄くためになった。
H24-⑤	5-35	久しぶりに川に入って楽しかった。
H24-⑤	5-36	普段は河川には無縁ですが、少しは興味を持った。
H24-⑤	5-37	思っていたより楽しめました。
H24-⑤	5-38	多くのスタッフの皆様ありがとうございます
H24-⑤	5-40	無料で昼食まで準備してもらい、普段できない遊びができたのでとても良かった。いい夏休みの経験になったと思う。
H24-⑤	5-42	今日は女の子同志、1つの班で打ちとけて女子会状態の子供たちでした。
H24-⑤	5-43	川下りがすごく楽しかった。思ったより深くておどろいた。
H24-⑤	5-44	川下りにすこし抵抗があったのですが、思い切ったら楽しかったです。きれいな水でシャワーがあげられたらいいことなですね。
H24-⑥	6-1	とびこみが楽しかった。
H24-⑥	6-4	かかったらさぶかった。
H24-⑥	6-5	こんどは家族みんなで来たい
H24-⑥	6-6	たのしかった。川の源流の事をはじめてしりました。
H24-⑥	6-7	たのしかった。
H24-⑥	6-8	たのしかったけどさむかったです
H24-⑥	6-9	おもしろかった
H24-⑥	6-10	足がいたかった。
H24-⑥	6-11	みずにかかったらさむかった。
H24-⑥	6-12	たのしかった。
H24-⑥	6-13	すごく楽しかった
H24-⑥	6-15	たのしかった
H24-⑥	6-16	流れの速い所はむずかしかった
H24-⑥	6-17	すごく楽しかったので、また行きたいです。
H24-⑥	6-18	小さい学年に移動がよかった。段取りが悪い。
H24-⑥	6-19	源流を知れて良かったです。
H24-⑥	6-21	すごく楽しかったです。
H24-⑥	6-22	自然の中で、このような遊びが出来ることを知る事が出来る機会を与えて下さって感謝しています。
H24-⑥	6-23	サポートしていただき安心して参加できました
H24-⑥	6-24	こんなにタップリシャワークライミングをできるなんて最高でした
H24-⑥	6-25	川の源流を探すということをするのが初めてで、山奥を歩くのは大変だが楽しかった。シャワークライミングは楽しいだけでなく、水の威力を感じた。子どもの真剣な顔を見られてよかった。さいごの飛びこみは学校などでできないことなので、いい経験になったと思います。
H24-⑥	6-26	一日良い経験をさせていただきありがとうございました。自然でもっと子供とあそびたいですが、知識がないため、こわく自分たちだけではできませんでした。
H24-⑥	6-27	たのしかった。
H24-⑥	6-29	シャワークライミングや、後の飛び込みが気持ちよくて楽しかったです。
H24-⑥	6-32	たのしかった。魚とりの時間もほしかった。
H24-⑥	6-33	生まれて初めて飛びこんだ。とてもこわかったです。
H24-⑥	6-34	飛び込み初めてで楽しかった！
H24-⑥	6-36	源流探検で思いのほか飲み物の空き缶等ゴミが多いのにおどろいた。子供にも川の安全な遊び方を知るきっかけになるのでとても良いと思いました。
H24-⑥	6-37	源流探検とシャワークライミングは別の日にした方がゆっくり自然観察等が出来るかも？
H24-⑥	6-38	とびこみなどがあってたのしかった。
H24-⑥	6-39	シャワークライミングで小さい子のつきそいとはいえ、他の保護者との協力なしにはわが子さえものぼらせきれない事を痛感しました。
H24-⑥	6-41	すっごくすっごく楽しくてスリリングでした。子どもにもよい体験をさせることができました。ありがとうございました。又やってみたいです。
H24-⑥	6-42	川のいろんな“顔”“姿”を見れた様で楽しくございました。上流探検はハードでした。
H24-⑥	6-44	木津川では体験できないことばかりでした。実現するための上流域レンジャー、河川事務所、探検隊さんなどなど多くの方の力で楽しくございました。木津川の中流・下流とは全く違う川と自然。活動するたびに上流の川を思いながら「冷たくてきれいだったなあ」と思うことでしょう。シャワークライミングをする子ども達のうれしそうなお顔。川の魅力にさらに川が好きになったと思います。渓谷にもあきかんがころがっていました。自然を楽しむとともに汚さないことも大切なことに。ありがとうございました。
H24-⑦	7-1	楽しかったです。魚がとれるしかけがあればよかったと思います(やなをつくるとか?)
H24-⑦	7-2	子供たちが楽しみながら自然にふれて学べるのがよかったと思う。
H24-⑦	7-3	楽しかったです。
H24-⑦	7-4	木津川と名張川の事を色々教えてもらって勉強になりました。
H24-⑦	7-5	子どもが体をつかって体験する活動は、非常に有意義だと感じた。
H24-⑦	7-7	川虫など知らなかった事が多かった クイズが楽しかった。
H24-⑦	7-8	川虫など知らなかった事が多かった クイズが楽しかった。
H24-⑦	7-9	説明がパソコンをつかって分かりやすく、中身が良かった。子どもには盛りだくさん内容だったかもしれないが、実際に鯉こくやなまずの蒲焼き風つくだ煮を食べたり、川で生物を探したり、体験を通して子ども自身が川の環境をきれいにする必要性を考えられたと思う。
H24-⑦	7-10	鮎が食べてみたかった
H24-⑦	7-11	鮎が食べてみたかった

活動No	回答No	活動に参加しての感想や意見
H24-⑦	7-12	鮎が食べてみたかった
H24-⑦	7-13	むしとさかなをとったのがたのしかった
H24-⑦	7-16	この時期は暑いですね
H24-⑦	7-17	たのしかった
H24-⑦	7-18	水生生物の観察がたのしかった。
H24-⑦	7-19	おもしろかった
H24-⑦	7-21	コイのおみそしるがおいしかったです。
H24-⑦	7-22	すごくあつかったけど、子ども達に良い経験させる事ができてよかった。
H24-⑦	7-24	いろいろな虫のことを知れてよかった。
H24-⑦	7-25	たのしい
H24-⑦	7-26	カヌーたいけんができなくてざんねんでした。
H24-⑦	7-27	アユをたべたい！！
H24-⑦	7-28	カヌーができなくてざんねんでした。話のあいだにクイズがあってよかったです。
H24-⑦	7-29	川の生物とりがおもしろかった。
H24-⑦	7-30	とても良かった。
H24-⑦	7-31	さかなをつかまえてたのしかった
H24-⑦	7-32	ナマズなどが調理されている所も見えたかった。
H24-⑦	7-33	ナマズのかばやきがおいしかった。つくだにとかおみそしるがとてもおいしかった。
H24-⑦	7-34	ナマズやコイ、フナ、モロコなど、どの魚もおいしかったです。小さい魚がいっぱいとれた
H24-⑦	7-35	ナマズのからあげおいしかった！いろいろな魚が取れて良かった。カジカを見ることができてよかった。
H24-⑦	7-37	楽しかったです カヌーの会があれば是非参加したい
H24-⑧	8-1	土のう積みだけの講習会を広い場所で行ったら良いと思う。講師に対し、団員が多すぎるので、今後行う時は少人数制で行ったらよいと思います。
H24-⑧	8-2	土のうの結び方をもう少し詳しく教えてほしいかったです。
H24-⑧	8-3	参加人数が多いために、他の活動より講習時間が長くなったと思いますが、90分はさすがに長いので、もう少し参加人数を減らせば、講習時間も必然的に短くなるので、来年の防災訓練の実施要綱を作るうえので参考にしてください。また、土のう袋の数が参加人数の数より少なかったため、袋の数と参加人数が同じになるようご検討下さい。
H24-⑧	8-4	土のう積みを経験したいへんさがわかった。
H24-⑧	8-5	土のうをつみたいへんでした。
H24-⑧	8-8	土のうの積み方、手順を学ぶ事ができてよかったです。
H24-⑧	8-9	土のう作りに参加して、袋に入れる砂の量やひものしぼり方が自分が思っていたのとちがったので、ためになりました。
H24-⑧	8-13	団員への説明は、端的に！今回は説明がダラダラでそれだけで時間が経ってしまっていて、実訓練時間が少なかった。
H24-⑧	8-21	後半ドタバタしていたのでもう少し計画した方が良くと思う。
H24-⑧	8-22	進行が悪すぎた。(訓練)
H24-⑧	8-23	ただ積むのではなく、しっかりと手順をふむ事で強固なものになると多くの人にってもらい地域の方にも広く知っていただけたらと思います。
H24-⑧	8-29	へりの訓練は別の日がいいと思います。音がうるさくて講習の声が聞きとりにくい
H24-⑧	8-33	講師に対し、人が多すぎた気がします。しっかり参加していた人が少ないように感じた。
H24-⑧	8-35	貴重な経験をさせてもらい、機会があればまたやりたい。
H24-⑧	8-36	講習は大変だったがタメになったので今後も講習をしてほしい。
H24-⑧	8-39	講習はつかれたが身に付いた事がたくさんありとても良かった
H24-⑧	8-46	水防の勉強ができてよかった。
H24-⑧	8-51	講習としては人員が多過ぎて全ての面でもとまりがなくなる。小チームで10人くらいがベスト。講師のキャラが万人受けしないタイプだったので残念。
H24-⑧	8-52	理解できました。ありがとうございました。
H24-⑧	8-53	人が多くて全員に伝わっていませんでした。
H24-⑧	8-55	土のう作りという普段体験出来ないことをすることができてよかった。実際災害が起こった時、教わったこと実行出来るよう頑張りたいと感じた。
H24-⑧	8-57	定期的な講習がなければ、一度では忘れてしまう。一人が知っているだけでは、有事の際の役には立たないので、できるだけ多くの者が講習を受ける事が必要だと思う。
H24-⑧	8-58	伊賀市夏期訓練を同じ日に行い(旧伊賀町と旧上野市の訓練)開催場所も以前のように別々に行いつつ、各場所にて土のうの防災訓練を体験させる。
H24-⑧	8-59	協力し合うのは、大切だと思いました。
H24-⑧	8-68	暑かった。
H24-⑧	8-69	どのう重たい
H24-⑧	8-70	すごく為になった。今後の活動に活かせると思った。ただ、講師の方の声が聞きとりにくかったのと、講習内容が見にくかったのが残念です。ありがとうございました。
H24-⑧	8-71	具体的に水防技術について説明いただき、改めて理解することができた。定期的に継続して受講したいと思った。
H24-⑧	8-72	今回の様な体験を地域住民の方々みんなにも体験出来ればよいなと思います。自分自身は地域に川はありませんがいざという時の為にいい勉強になりました。
H24-⑧	8-73	定期的に参加して水防技術を忘れないようにしたい。また、それを広めていけるよう努力したい。
H24-⑧	8-74	ほとんど準備に時間を取られ、実際の実技講習時間が短かった。他に実施されていた訓練を見学できる様にしてほしい。せっかくいろいろな訓練を実施しているのだから、もっと進行のやり方を考えた方が良かったとおもう。

活動No	回答No	活動に参加しての感想や意見
H24-⑧	8-75	自分が覚えている土のうのくり方は2回まいて下へ通す方法でしたが本日教えてもらった上記からさらにもう1回くる方法は新しい発見でした。
H24-⑧	8-79	今回初めて土のう作りを体験して、初めは、ただ単に袋に砂を入れて積んでいったらいいだけと思ってたが、袋の結び方や積み方など色々な方法があるのを習得できた。
H24-⑧	8-80	教えて頂いた事を、今後の活動に活かしていきたい。
H24-⑧	8-81	土のうの作り方、積み方が大変勉強になりました。
H24-⑨	9-2	1年に一度位講習会の実施を願います
H24-⑨	9-3	今まで経験のない事を覚えてよかったです。
H24-⑨	9-6	ロープのむすび方、復習しようと思います。
H24-⑨	9-7	災害はいつ発生するかわかりません。多の講習済に人を作り出してほしいと思います。
H24-⑨	9-8	土のうの積み方は、これまでやっていた方法がまちがいに気づいて勉強になり、今後に活かします。(積む向き)
H24-⑨	9-10	参考になった。
H24-⑨	9-11	楽しく和気あいあいの内に実習が出来ました。
H24-⑨	9-12	良かった
H24-⑨	9-14	土のう積みが大変良かった
H24-⑨	9-16	土のうを作ろうと思った。ロープの結び方がたくさんあり、びっくりしました。とても楽しかったです。
H24-⑨	9-18	ロープむすびが非常に役に立った。
H24-⑨	9-20	ふだんの生活でも取り入れられる結び方を教えて頂いてよかったです。
H24-⑨	9-23	野外の講習で実地にいろんな訓練がよかったと思います。
H24-⑨	9-24	実体験は大切だと思います。今後も勉強して参りたいと思います。
H24-⑨	9-25	ロープの結び方は今後の生活に役立てるかなと思います。(但し覚えてられたら話ですが)
H24-⑨	9-26	アウトドアで実施体験が出来て、災害時に身体が動けると自信ができました。ありがとうございました。
H24-⑨	9-27	勉強させていただきました。
H24-⑨	9-30	利用出来るように心がけます。
H24-⑨	9-31	初体験がおもしろいと思い参加しました。秋晴れのもととてもよかったです。
H24-⑨	9-32	初めての体験でしたが、とても良かったです。解りやすく、良かったです。
H24-⑨	9-33	大変参考になりました。(土のう、ロープワーク)
H24-⑨	9-34	今までやっていないひもむすび等に大変役に立つと思う。又子供会等に教えてあげたい。
H24-⑨	9-36	ロープむすびは良かった。参加型実習楽しい。
H24-⑨	9-37	土のう作り参考になった。ロープむすびは楽しく参加できた。
H24-⑨	9-38	体験をする講習会は良かった。
H24-⑨	9-39	ロープの結び方理解出来なかった。
H24-⑨	9-40	この種訓練は各自治会で積極的に定期的に実施すべきだと思います。
H24-⑨	9-41	防災訓練に土のう作り体験を取入れたい。また、土のうを事前に作っておいて(倉庫保管)、非常時に直ぐつかえることを自主防災協議会に提案する。
H24-⑨	9-42	最後まで講習するまで
H24-⑨	9-43	実生活で役立つ良い講習でした。
H24-⑨	9-44	ロープむすびが何々出来なかった。
H24-⑨	9-46	こんな体験講習ならもう一度あっても良い。
H24-⑨	9-49	親切なご指導でありました。
H24-⑪	11-1	寒かった。ゴミが多い。
H24-⑪	11-7	また参加したいと思った。
H24-⑪	11-8	久米川がきれいになってよかった。
H24-⑪	11-11	ゴミの量が多い、古くからのゴミも放置されているのか？
H24-⑪	11-12	川がきれいになってきた。
H24-⑪	11-16	自分たちの地区の川がきれいになってよかった。
H24-⑪	11-20	きれいになった。
H24-⑪	11-22	川がとてもきれいになったと思う。
H24-⑪	11-23	楽しかった。
H24-⑪	11-24	川がきれくなってよかった。
H24-⑪	11-25	たのしかった。
H24-⑪	11-26	少しずつ川がきれいになっていくにつれて楽しくなってきた。
H24-⑪	11-28	時間がたつのが早かった。
H24-⑪	11-32	たのしかった。
H24-⑪	11-35	とてもよかった。
H24-⑪	11-44	またやりたい。
H24-⑬	13-1	狭い山道を歩くと一人ずつしか歩けないのですが、これで薬草などの説明は聞こえ難くなってしまふところが残念ですが、ここは仕方ないでしょう。それ以外はすごく楽しかったです。
H24-⑬	13-2	大変楽しかったです。こんな機会をありがとうございます。久しぶりに山登り・落葉の上を歩く楽しさを思い出しました。
H24-⑬	13-3	自然にふれてとても気持ちよかった。
H24-⑬	13-4	日頃、自然と接する機会の少ないことを痛感しました。

活動No	回答No	活動に参加しての感想や意見
H24-⑬	13-5	色々な植物のことが知れて良かったです。
H24-⑬	13-7	いろいろ知らないことを知りました。
H24-⑬	13-8	知らない人との交流も出来てよかった。
H24-⑬	13-9	ありがとうございました。
H24-⑬	13-10	楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。
H24-⑭	14-1	おんだんかななどで大雨になるのがわかってよかった。
H24-⑭	14-2	ゆう水地などの、まだ習ってないことをいろいろ知れてよかった。
H24-⑭	14-3	日本に10こしかないゆう水ちがこのいかにありそのことをくわしく教えてくれて良かったです。
H24-⑭	14-4	ほんとにたのしかった
H24-⑭	14-5	学習体けんが、したかった。
H24-⑭	14-6	今日の活動は思い出になるしべんきょうにもなったのですごく良かった。
H24-⑭	14-8	しらないことをいっぱいあって遊水地のことがいっぱいしれてよかったです。
H24-⑭	14-9	いろんなむずかしい言葉とかを知ってよかった。
H24-⑭	14-10	ゲームやクイズなどをして子どもをたのしませたらいい。
H24-⑭	14-11	ちょうど良かった。
H24-⑭	14-12	小田陸間は、昔から見ていたが、一度入ってみたいと思っていたので、たのしかった。
H24-⑭	14-13	川や水にきょうみがもてた。
H24-⑭	14-14	ゆう水地などのいままでしらなかったことをしれてよかった。
H24-⑭	14-15	すこしみじかかった。
H24-⑭	14-16	いろいろしれてよくわかった。
H24-⑭	14-17	説明が分かりやすかった。
H24-⑭	14-18	ゆう水地という言葉が始めて知れたので、良かった。あまり、川の事は知らなかったもので、知れて良かった。
H24-⑭	14-19	説明がわかりやすかったから、これからも、もっとしりたい。
H24-⑭	14-20	川で遊びたかった。
H24-⑭	14-21	川についていわれをすることができました。
H24-⑭	14-22	川について知らなかったけどいろんなことを聞けたから、いろんなことが分かった。
H24-⑭	14-23	もっといろんなことを知りたかった。
H24-⑭	14-24	楽しかった。もう少し活動時間を長くしてほしい。
H24-⑭	14-25	ていぼうにのぼれてたのしかった。
H24-⑭	14-26	すいものうえにのぼれて楽しかった。
H24-②-2	15-1	蛍が飛ぶ川になってほしいです。
H24-②-2	15-2	目に見えない人達の努力に感動した。
H24-②-2	15-5	もっと子供の参加があればいいなと思った。



活動No	回答No	「木津川上流の自然環境」についての感想や意見
H24講座	16-2	大変勉強になりました。内容が深くてももしろかったです。
H24講座	16-9	自然環境の大切さがよく分かりました。
H24講座	16-10	具体的な内容が入っていて、興味高かった。

活動No	回答No	「木津川上流の防災対策」についての感想や意見
H24講座	16-2	大変勉強になりました。内容が深くてももしろかったです。国土交通省の働きがよく分かりました。
H24講座	16-9	東北の大大災害の救助に向かわれたこと、よく知らなかったが、ご苦労がよく解った。
H24講座	16-10	遊水地内での耕作地(田・畑)がだめになった。増水時の作物影響、補償？

活動No	回答No	「木津川上流の防災施設見学」についての感想や意見
H24講座	16-2	具体的に教えていただき、見学もでき分かりやすかったです。
H24講座	16-9	日頃見学できない所を案内いただき、ダム管理が行きとどいているのを知れてよかった。
H24講座	16-10	印象良かった。(知らないことも見、聞きする事は精神的にも良い)

活動No	回答No	「川」について感じていることや思っていること
H24-②	2-1	子どもを遊ばせたい。
H24-②	2-2	みじかに自然にふれあえて、とても楽しい場所。
H24-②	2-3	一時出水時は気になるが、ある程度整備出来てると思います。
H24-②	2-4	きれいな川で遊びたい。
H24-②	2-5	なごみます。
H24-②	2-7	ゴミ
H24-②	2-8	少しずつきれいになってきたと感じる。
H24-②	2-12	犬のふんが多い。
H24-②	2-14	水あそびがあんぜんにできる場所。
H24-②	2-15	もっと人が入って行けたらいい。
H24-②	2-16	遊べる川が少なくなった。
H24-②	2-17	水が少なくなっているなど。
H24-②	2-18	危険なイメージがある。
H24-③	3-1	少しきけんでときどきやくだつ
H24-③	3-2	危険。きれいな水なら泳ぎたい。
H24-③	3-3	きれい。安全。遊びたい。
H24-③	3-4	ゴミが多い
H24-③	3-5	遊びたい
H24-③	3-8	危険。遊びたい。
H24-③	3-9	遊びたい。
H24-③	3-10	きれい。危険。遊びたい。
H24-③	3-11	ゴミが多い。
H24-③	3-13	川がきれい。
H24-③	3-14	きれい。安全。遊びたい。
H24-③	3-16	きれいになって来たが、まだまだゴミが多いので環境学習が必要。
H24-③	3-17	きれいな川にしたい。
H24-③	3-18	少しゴミが多い。
H24-③	3-19	きれい
H24-④	4-2	子供も遊ばせたい気持は大いにあるが、川での事故(死亡等)が多いので怖い。
H24-④	4-3	きれい
H24-④	4-4	水がきれいなのでゴミが目立ちました。最後ゴミひろい等しては？
H24-④	4-6	昔のような美しい川で思いきり遊ばせてやりたい
H24-④	4-7	めだかもいてきれいだった
H24-④	4-8	危険
H24-④	4-9	危険
H24-④	4-12	およいでみたい
H24-④	4-15	遊びたい
H24-④	4-16	にごっている
H24-④	4-17	名張川は昔よりきれいになりましたが、まだまだきたないので、もっと意識を持ってきれいになりたいと思います。
H24-④	4-19	少しきれい
H24-④	4-21	川の知識を知り、約束を守れば楽しく遊べる場所
H24-④	4-22	遊びたい
H24-④	4-23	ゴミが多くなり昔より汚れてきたと思う。
H24-④	4-24	ゴミがなくてよかった
H24-④	4-25	子どもが自然にふれるいい場所だけど、安全面が心配。ついていく親の経験不足なので、このような行事がありがたいです。
H24-④	4-26	ゴミが少なくて安全な所
H24-④	4-27	きれいな川を守りたい
H24-⑤	5-2	危険
H24-⑤	5-3	川は危険だと思った
H24-⑤	5-4	すこし川の水が黒くて、くさかった。
H24-⑤	5-6	きけんだからあそんだらあぶない
H24-⑤	5-8	ゴミが多い
H24-⑤	5-9	たのしい
H24-⑤	5-10	ちょっときけん
H24-⑤	5-11	遊びたい。けどダメ。(危険だからダメ)
H24-⑤	5-12	ちょっとゴミが多い
H24-⑤	5-13	川ではあさい所や深い所があって危険だが、決まりを守れば楽しいことがいっぱいあると思います。
H24-⑤	5-15	おもしろかった
H24-⑤	5-18	もっといろいろあそびたい
H24-⑤	5-19	危険

活動No	回答No	「川」について感じていることや思っていること
H24-⑤	5-20	きれい、危険、遊びたい
H24-⑤	5-21	いっぱいあそびたい
H24-⑤	5-23	あそびたい
H24-⑤	5-25	きれい
H24-⑤	5-26	もっとみんなが楽しく遊べる川になってほしい。
H24-⑤	5-27	楽しい
H24-⑤	5-29	危険
H24-⑤	5-30	危険、遊びたい
H24-⑤	5-31	川が有るから生活が出来ている
H24-⑤	5-32	石が多く、すべりやすい
H24-⑤	5-33	楽しい
H24-⑤	5-34	楽しい反面、子供たちだけで遊ぶには危険が多い
H24-⑤	5-35	以外にきれいだった。
H24-⑤	5-36	増水した時は、危険だ。
H24-⑤	5-38	入ってはいけない。危ない。
H24-⑤	5-39	ゴミが多い
H24-⑤	5-41	安全に遊べるようなところが知りたい。子供は川で遊びたいので。
H24-⑤	5-42	なかなかみんなに興味を持ってもらにくい。ふだん時から親しんでもらう事が大切。
H24-⑤	5-44	遊びたいがキケン。
H24-⑥	6-1	きれいなどころもあればきたない川もある。きたない川はもっときれいな川になってほしい。
H24-⑥	6-2	川が深いので、子供だけの遊びは危険。
H24-⑥	6-3	遊びたい
H24-⑥	6-4	川の中をあるいてたらペットボトルがおっていました。
H24-⑥	6-5	こどももあそびたい。
H24-⑥	6-6	遊びたい。
H24-⑥	6-7	ながれが早い。
H24-⑥	6-8	きけん 楽しい
H24-⑥	6-9	おもしろい
H24-⑥	6-11	今日の川がきれいでした。
H24-⑥	6-12	ちょっとゴミがあった。
H24-⑥	6-13	遊びたい
H24-⑥	6-14	危険
H24-⑥	6-15	ゴミ多い
H24-⑥	6-16	きけん
H24-⑥	6-17	今日行った川はとてもきれいでした。
H24-⑥	6-18	遊びたい
H24-⑥	6-19	ゴミが多い
H24-⑥	6-20	つねに、きれいに！！
H24-⑥	6-21	遊びたい
H24-⑥	6-22	きれいで遊べる川
H24-⑥	6-23	家族で遊べる川であってほしい
H24-⑥	6-25	ゴミが多い。水が汚れているところはどうやってきれいにするんだろう
H24-⑥	6-26	怖い
H24-⑥	6-27	みんなであそびたい
H24-⑥	6-29	木津川はきれいなので、もっと川で遊びたいし、川のいきもの達ともっと会いたいです。いきもの数が多いと思います。
H24-⑥	6-30	おもしろい
H24-⑥	6-31	こわい
H24-⑥	6-32	あんなきれいな山奥でもあきかんがおちていてさんねんだと思った。
H24-⑥	6-33	きれいな所やきたないところの差がはっきりしている。ゴミが多い。
H24-⑥	6-34	楽しい
H24-⑥	6-36	普段の川と大水の時の川等、その美しい半面の恐さ等、子供に体験を通して学ぶ機会を増やしたい。
H24-⑥	6-37	とてもキレイですばらしい川。
H24-⑥	6-38	水がきもちいいので、およぎたくなる。
H24-⑥	6-39	色々な人に川の事を知ってもらう必要があるなあ。
H24-⑥	6-40	水事故のニュースを聞くと怖いと感じていた。
H24-⑥	6-41	川は楽しい！！
H24-⑥	6-42	とても汚れた。ゴミが多い。きれいな所もあり、安全に遊べるといいなと感じた。
H24-⑥	6-43	子どもの頃のように川遊びができれば・・・
H24-⑦	7-1	昔の漁たいけん！！
H24-⑦	7-2	ホタルなどがすみつけるきれいな川になればいいなと思った。
H24-⑦	7-3	なし

活動No	回答No	「川」について感じていることや思っていること
H24-⑦	7-4	色々と川が変われば、特徴に大きな違いがある事がわかりました。
H24-⑦	7-5	昔はもっと川(河原)で遊んでいたように記憶しているが、最近あまりそのような姿を見ないのは危険だからなのか行きづらく(護岸工事など)なったのか・・・?
H24-⑦	7-9	きれいにしたい。生活の中でどんなことができるかな?
H24-⑦	7-10	名張川が思っていたよりキレイだった
H24-⑦	7-11	名張川が思っていたよりキレイだった
H24-⑦	7-12	名張川が思っていたよりキレイだった
H24-⑦	7-13	もっとかわであそびたい
H24-⑦	7-16	ゴミが多いのもっときれいにしたい。
H24-⑦	7-17	きれいなかわであそびたい
H24-⑦	7-18	子供が遊べる川を残したい
H24-⑦	7-19	つりしたい
H24-⑦	7-22	ある程度安全に遊べたら良いと思う。
H24-⑦	7-24	きれい
H24-⑦	7-25	うれしい
H24-⑦	7-27	いきものがいる
H24-⑦	7-28	川がこんなにきたないとは思わなかった。
H24-⑦	7-29	だんだんゴミがおおくなって魚がすみにくいところになっている
H24-⑦	7-30	洪水のない川
H24-⑦	7-32	かなり川底がヌルヌルしていてすべりやすい
H24-⑦	7-33	みんなでたのしくあそびたい
H24-⑦	7-34	ゴミが多くてどんなに透明な川でもきたなく思われる。
H24-⑦	7-35	きれいだと思う。
H24-⑦	7-37	流れが早いところは危ないのでこういう場に参加したい。
H24-⑪	11-1	きたない、ゴミが多い。
H24-⑪	11-4	危険、子供が遊べない。
H24-⑪	11-7	生活になくはならない場所
H24-⑪	11-8	ゴミが多い。
H24-⑪	11-9	ゴミが多い。
H24-⑪	11-10	危険。
H24-⑪	11-11	こどもたちが魚とりや川遊びなどができる環境を取り戻したい。ゴミが多い。
H24-⑪	11-12	ゴミが多い。怖い。
H24-⑪	11-13	ゴミが多い。
H24-⑪	11-14	ゴミが多い。
H24-⑪	11-15	ゴミが多い。
H24-⑪	11-16	いろんな物がおちている。
H24-⑪	11-17	汚い
H24-⑪	11-18	きたない
H24-⑪	11-19	汚い
H24-⑪	11-20	ゴミが多い
H24-⑪	11-21	ゴミが多い
H24-⑪	11-22	ゴミが多い
H24-⑪	11-23	ゴミが多い
H24-⑪	11-24	ゴミが多い
H24-⑪	11-26	きれいな川
H24-⑪	11-28	もっときれいにしたい
H24-⑪	11-32	ゴミが多い
H24-⑪	11-34	怖い
H24-⑪	11-35	こわい
H24-⑪	11-36	きれい
H24-⑪	11-39	危険
H24-⑪	11-40	ゴミが多い
H24-⑪	11-43	ゴミが多い
H24-⑪	11-40	ゴミが多い
H24-⑬	13-2	メダカ、蛍のすむ雑木林の多い川に戻したい。子、孫を川に連れてゆきたい。
H24-⑬	13-4	以前に比べて淀川がきれいになっていると聞き、うれしいです。一人一人がもっと意識していきたいし、いかなければならないと思う。
H24-⑬	13-5	護岸工事で景観が悪いしよけいに水害のもととなる気がする。
H24-⑬	13-6	きれいでした。源泉が見られて良かった。
H24-⑬	13-7	鮎、山魚、イワナ、鮎、鯉、鰻、その他を育む場
H24-⑬	13-8	山の川はきれいだが、町の川はよごれているのが残念
H24-⑬	13-9	水は全ての源流だと思います。大切にしたい。

活動No	回答No	「川」について感じていることや思っていること
H24-⑬	13-10	きれいな川
H24-⑭	14-1	安全できれいで遊びや釣りなどができたらいいと思っている。
H24-⑭	14-2	ポイすてなどが多いと思った。あまり安全な場所ではないと思った。ゴミが多いし、枝などが多いからあそぶ気にはなれないと思った。
H24-⑭	14-3	つりをしたいけど学校では川は、あぶない所に入っているから、もっと川で遊びたい。
H24-⑭	14-4	きたない
H24-⑭	14-5	川は、きれいにしないとと思った。
H24-⑭	14-6	安全安心。
H24-⑭	14-7	つりをしたいけど水がにごっているからつれない。
H24-⑭	14-8	お父さんが昔は川はきたなくて危険といっていたけどぼくは、ぜんぜんそんなおもわなくて魚をつかまえたいと思いました。遊びたい。
H24-⑭	14-9	はっぱなどがいっぱいあった。
H24-⑭	14-10	きけんでゴミが多いしこわい。
H24-⑭	14-11	ゴミが多いからへらす方法を考えてほしい。かんばんなどをたてる。
H24-⑭	14-12	遊びたい。
H24-⑭	14-13	ゴミが多い。危険。
H24-⑭	14-14	ゴミがいっぱいあった。
H24-⑭	14-15	ゴミが多いからゴミをへらす方法を考えてください。
H24-⑭	14-16	ゴミが多くて危険でこわいところ
H24-⑭	14-17	ゴミが多い。危険。
H24-⑭	14-18	ぼくは、川で遊びたいけどき陰だから、あまり遊ばない。
H24-⑭	14-19	きけん。ゴミが多い。
H24-⑭	14-20	ゴミが多いから、川の水がきたないからいやや。遊びたい。
H24-⑭	14-21	ゴミが多い。きけん。
H24-⑭	14-22	ゴミが多い。
H24-⑭	14-23	ゴミがたくさんあってきけん。
H24-⑭	14-24	楽しい。面白い。
H24-⑭	14-25	ゴミが多いから、川がきたなくなっていると思う。
H24-⑭	14-26	少しゴミがあるからちょっとあぶないと思っている。
H24-②-2	15-1	名張地区をめぐる川がいつもきれいであってほしい
H24-②-2	15-2	皆さんの努力で少しずつきれいになってきているように思います。
H24-②-2	15-3	河川敷に犬のフンが多い。
H24講座	16-1	生きる源
H24講座	16-3	雑草が多い→ゴミが多い。
H24講座	16-4	愛護モニター
H24講座	16-5	水量が少なくゴミが多い。
H24講座	16-6	ゴミ・ビニール袋などが目立つ。
H24講座	16-7	きれいな川であって欲しいです。
H24講座	16-8	皆が安全を考えてもっと人が親しめる様
H24講座	16-9	きれいなおよげる川がほしい

活動No	回答No	どんな「川」になったらいいと思うか
H24-②	2-1	泳げる川
H24-②	2-2	きれいで、いろいろな生き物がたくさんいる川。
H24-②	2-3	子供が遊べる川。
H24-②	2-4	泳げる川。河川の水浴場が減ってしまったので。
H24-②	2-5	生きものがたくさんいる川。
H24-②	2-7	きれいな川。
H24-②	2-8	安全で魚のいっぱい川が好き。
H24-②	2-9	きれいな川
H24-②	2-12	きれいな川
H24-②	2-14	ゴミのない川、安全な川、およげる川
H24-②	2-15	安全できれいな川。洪水がきても災害の無い川。
H24-②	2-16	遊べる川、およげる川
H24-②	2-17	泳げる川
H24-②	2-18	子どもたちがのびのびと遊べる川。
H24-③	3-1	きれいでゴミのない川
H24-③	3-2	水質がきれいで、ゴミのない川。子どもたちが遊べるところ。
H24-③	3-3	ゴミのない川。安全な川。
H24-③	3-4	きれいで安全な川。
H24-③	3-5	きれいな川。ゴミのない川。遊べる川。安全な川。
H24-③	3-8	きれいな川。ゴミのない川。遊べる川。安全な川。
H24-③	3-9	きれいなあんぜんな川。
H24-③	3-10	きれいな川。遊べる川。安全な川。
H24-③	3-11	きれいな川。
H24-③	3-13	ゴミがない川。
H24-③	3-14	きれいな川。安全な川。
H24-③	3-16	皆が遊べるきれいな川になってほしい。
H24-③	3-17	きれいな川
H24-③	3-18	きれいな川。子供が安心してあそべる川。
H24-③	3-19	きれいな川。
H24-④	4-3	安全な川
H24-④	4-4	泳げる川
H24-④	4-5	子どもが安全に遊べる川になればいいと思います。
H24-④	4-6	小魚とたわむれたら楽しい
H24-④	4-7	きれいな川
H24-④	4-8	安全な川
H24-④	4-9	泳げる川
H24-④	4-11	子どもが安心して遊べる川
H24-④	4-15	泳げてきれいで安全な川。
H24-④	4-16	きれいな川
H24-④	4-17	きれいな川、子どもが遊べる川になってほしい
H24-④	4-19	泳げる川
H24-④	4-21	子どもが安心して遊べるきれいで安全な川
H24-④	4-22	きれいな川
H24-④	4-23	きれいな川
H24-④	4-24	ゴミのない川
H24-④	4-25	きれいな川。子どもが遊べる安全な川。
H24-④	4-26	しぜんの川
H24-④	4-27	ダム等を使った発電を増設
H24-⑤	5-2	きれいな川
H24-⑤	5-3	ゴミのないきれいな川、魚の多い泳げる川
H24-⑤	5-4	きれいな川
H24-⑤	5-6	きれいな川
H24-⑤	5-8	きれいな川
H24-⑤	5-9	のめる川
H24-⑤	5-10	あん全な川
H24-⑤	5-11	安全で皆が楽しめるような川
H24-⑤	5-12	きれいな川
H24-⑤	5-14	あしがちょうどついて岩がなくておよげる川。
H24-⑤	5-15	泳げる川
H24-⑤	5-18	だれでもは入れる川
H24-⑤	5-19	きれいな川

活動No	回答No	どんな「川」になったらいいと思うか
H24-⑤	5-20	ゴミのない川、泳げる川。
H24-⑤	5-21	きれいな川
H24-⑤	5-23	きれいで、つめたい川
H24-⑤	5-25	ごみのない、きれいな川
H24-⑤	5-26	いろんな生き物のすめる川
H24-⑤	5-27	泳げる川
H24-⑤	5-29	泳げる川になるように、きれいな川にして、安全なスペース(区かく)をせいびしてほしい。
H24-⑤	5-30	泳げる川
H24-⑤	5-31	ダムのない治水があれば良い。
H24-⑤	5-32	安全に遊べる川
H24-⑤	5-33	泳げる川
H24-⑤	5-34	安心して遊べるきれいで泳げる川
H24-⑤	5-35	ごみのない安全できれいな川
H24-⑤	5-36	きれいで魚がたくさんいる川。
H24-⑤	5-38	家族で楽しく水あそび出来る川
H24-⑤	5-39	きれいな川
H24-⑤	5-40	ゴミがあったのが目立ちました。
H24-⑤	5-41	きれいな川、生き物がたくさんくらす川。泳げる川、安全に遊べる川。
H24-⑤	5-42	魚がいっぱいの川
H24-⑤	5-44	安心して泳げる川
H24-⑥	6-1	きれいな川。ゴミのない川
H24-⑥	6-2	マナーを守ってみんなで作る安全安心な川遊びが出来たらいいなと思った。
H24-⑥	6-3	ゴミのない川
H24-⑥	6-4	きれいな川になってほしい。
H24-⑥	6-5	きれいな川
H24-⑥	6-6	きれいな川
H24-⑥	6-7	水がきれいな川
H24-⑥	6-8	きれいな川。泳げる川。安全な川。
H24-⑥	6-9	きれいな川
H24-⑥	6-11	安全で泳げる川になったらいいな。
H24-⑥	6-12	みんながたのしめるかわ
H24-⑥	6-13	泳げる川
H24-⑥	6-14	泳げる川。安全な川。
H24-⑥	6-15	きれい
H24-⑥	6-16	きれいで、あそべる川
H24-⑥	6-17	もときれいな川
H24-⑥	6-18	泳げる川
H24-⑥	6-19	きれいな川
H24-⑥	6-20	魚がいっぱいいる川に！！
H24-⑥	6-21	きれいな川
H24-⑥	6-22	きれいで楽しくて遊べる川
H24-⑥	6-23	泳げて遊べる川
H24-⑥	6-24	きれいな川
H24-⑥	6-25	きれいな所にすむ生物が多い川。ゴミのない川。
H24-⑥	6-26	きれいで泳げる川
H24-⑥	6-27	たのしい
H24-⑥	6-29	ゴミがなく、楽しく遊べる川になってほしいです。
H24-⑥	6-30	とうめいな川
H24-⑥	6-31	安全な川
H24-⑥	6-32	魚が多い川
H24-⑥	6-33	親子みんなであそべる川
H24-⑥	6-34	泳げる川ときれいな川
H24-⑥	6-36	きれいで安全に遊べる川
H24-⑥	6-37	このままで残して欲しい
H24-⑥	6-38	きれいで安全で楽しくあそべる川
H24-⑥	6-39	泳げる川はもちろんですが、水質が変わらずに飲み水として塩素をそんなに入れなくてもいい川。
H24-⑥	6-40	気軽に入って泳げる川。憩いの場。
H24-⑥	6-41	きれいな魚や生物がいっぱいの川
H24-⑥	6-42	安全に遊べる、きれいな川が増えたら嬉しい。
H24-⑥	6-43	きれいな安全な川
H24-⑦	7-1	きれいな川、あそべるかわ

活動No	回答No	どんな「川」になったらいいと思うか
H24-⑦	7-2	自然があふれるきれいな川
H24-⑦	7-3	ごみをかわにすてない
H24-⑦	7-4	中に入れる川
H24-⑦	7-7	生物がずっと残っている川
H24-⑦	7-8	生物がずっと残っている川
H24-⑦	7-9	きれいな川
H24-⑦	7-10	もっとキレイになればいいな
H24-⑦	7-11	もっとキレイになればいいな
H24-⑦	7-12	もっとキレイになればいいな
H24-⑦	7-13	きれいでおよげるかわ
H24-⑦	7-16	もときれいな川
H24-⑦	7-17	みんながたのしめるかわ
H24-⑦	7-18	子供が遊べる川を残したい
H24-⑦	7-19	魚がうじゃうじゃいる川
H24-⑦	7-22	メダカのたくさんいる川に。はだして入れる川に。
H24-⑦	7-24	生きものがすごしやすい川
H24-⑦	7-25	きれいな川ができればいい
H24-⑦	7-27	いきもの大りょうの川
H24-⑦	7-28	きれいな川 魚がたくさんいる川
H24-⑦	7-29	きれいでいろいろな生物がいる川
H24-⑦	7-30	子どもにとって安全安心な川
H24-⑦	7-32	釣った魚をその場で食べられる川
H24-⑦	7-33	みんなであんぜんにあそべる川
H24-⑦	7-34	ゴミのないきれいな川
H24-⑦	7-35	生き物がたくさんいるきれいな川
H24-⑦	7-37	安全な川になって欲しい きれいな川になって欲しい 遊べる川になって欲しい
H24-⑪	11-1	魚の取れる川
H24-⑪	11-3	釣りのできる川
H24-⑪	11-4	堤防を整備し、景観をよくしてほしい
H24-⑪	11-5	きれいな川、ゴミのない川
H24-⑪	11-7	安心して利用できる川になったらいいと思う。
H24-⑪	11-8	きれいな川、ゴミのない川、泳げる川
H24-⑪	11-9	ゴミのない川、きれいな川
H24-⑪	11-10	安全な川
H24-⑪	11-11	きれいな川、泳げる川
H24-⑪	11-12	魚が住めるきれいな川
H24-⑪	11-13	きれいな川
H24-⑪	11-14	きれい
H24-⑪	11-15	きれいな川
H24-⑪	11-16	水がのめる川
H24-⑪	11-17	きれいな川
H24-⑪	11-18	きれいな川
H24-⑪	11-19	きれいな川
H24-⑪	11-20	きれいな川
H24-⑪	11-21	きれいな川
H24-⑪	11-22	ゴミのない川
H24-⑪	11-23	きれいな川
H24-⑪	11-24	きれいな川になったらいいと思う。
H24-⑪	11-25	きれいな川
H24-⑪	11-26	生き物が心地よく住めるきれいな川
H24-⑪	11-27	ゴミのない川
H24-⑪	11-28	きれいな所にいる魚がいる川
H24-⑪	11-32	ゴミのない川
H24-⑪	11-34	きれいな川
H24-⑪	11-36	きれいな川
H24-⑪	11-37	きれいな川
H24-⑪	11-39	ゴミのない川
H24-⑪	11-41	きれいな川
H24-⑪	11-43	きれいな川
H24-⑪	11-44	ゴミのない川
H24-⑬	13-2	魚の住める川が良い。



活動No	回答No	どんな「川」になったらいいと思うか
H24-⑬	13-3	きれいな川
H24-⑬	13-4	魚がもどってくることのできる川
H24-⑬	13-5	人工の川でなく自然の多い川になればいい
H24-⑬	13-6	水生生物が生まれる川
H24-⑬	13-7	鮎がのぼる川
H24-⑬	13-8	泳げる川
H24-⑬	13-9	いつまでもきれいであってほしい
H24-⑬	13-10	きれいな川、泳げる川
H24-⑭	14-1	ゴミやあぶないものをないきれいで魚がたくさんいる川になったらいいと思う。
H24-⑭	14-2	キレイでゴミのない川で安全な川がいいと思った。
H24-⑭	14-3	夏でプールじゃなくても、川で一回およいで、どんな気もちか知りたい。
H24-⑭	14-4	きれいな川
H24-⑭	14-5	きれいな川で、あそべるあんぜんな川。
H24-⑭	14-6	およげでキレイな川。
H24-⑭	14-7	川をもっともときれいでした。
H24-⑭	14-8	なるべくぜん部が入っている川がいいと思うけど、それはできないからきれいでゴミのない川がいいと思います。
H24-⑭	14-9	ゴミやはっぱがないとうめいな川になったらいいと思う。
H24-⑭	14-10	安全でおよげる川。
H24-⑭	14-11	ゴミをみんなすてるからゴミのない川にしたい。
H24-⑭	14-12	きれいでいろんな魚がいっぱい泳いでいる川。
H24-⑭	14-13	きれいな川、ゴミのない川
H24-⑭	14-14	ゴミのないあんぜんでキレイな川になったらいいと思う。
H24-⑭	14-15	安全できれいな川になったらいい
H24-⑭	14-16	きれいなかわ
H24-⑭	14-17	ゴミをなくす。安全な川にする。
H24-⑭	14-18	ぼくは、ゴミのない川と安全な川になってほしい。遊べる川になってほしい。
H24-⑭	14-19	きれいな川。ゴミのない川。泳げる川。安全な川。
H24-⑭	14-20	きれいな川で、安全で遊べる川になったらいい。
H24-⑭	14-21	安全な川でゴミがない川がいい。
H24-⑭	14-22	きれいな川、ゴミのない川。
H24-⑭	14-23	ゴミのない安全な川。
H24-⑭	14-24	楽しく遊べて安心な川になったらいい。
H24-⑭	14-25	安全できれいでゴミのない川。
H24-⑭	14-26	泳げる川になってほしい。
H24-②-2	15-1	昔、川で泳いでいたので孫が同じ様に泳げる川であってほしい。
H24-②-2	15-2	自然と調和する川
H24-②-2	15-5	子供が遊べる浅せや流れがゆるやかな川、泳げる川
H24-講座	16-1	泳げる川
H24-講座	16-3	公園のような川
H24-講座	16-4	ゴミのない川
H24-講座	16-5	魚のすめる美しい川
H24-講座	16-6	水の美しい魚や虫が沢山すめる川
H24-講座	16-7	ゴミのない川
H24-講座	16-8	釣りの出来る、遊泳の出来る、皆で親しめる川にしたい
H24-講座	16-10	生物が定着的に生活出来る状況にしたい

活動No	回答No	きれいな「川」にするためにみんなができること
H24-②	2-1	ゴミ拾い
H24-②	2-2	川に汚い水を流さない。
H24-②	2-3	ごみ、川に汚い水を流さない。
H24-②	2-4	河川環境問題の啓発。
H24-②	2-5	ゴミ拾い。生活はいい水に気がつかいたい。
H24-②	2-7	ゴミひろい
H24-②	2-8	生き物を大切にする。
H24-②	2-9	ゴミ拾い、川に汚い水を流さない
H24-②	2-12	ごみひろい
H24-②	2-14	ゴミひろい
H24-②	2-15	意識
H24-②	2-16	川にゴミをすてない。台所などの生活排水をなるべく流さない。
H24-②	2-17	ゴミ拾い！
H24-②	2-18	ごみ拾い。汚い水を流さない。
H24-③	3-1	ゴミをすてない
H24-③	3-2	毎日生活で、生活排水に気をつける
H24-③	3-3	生き物を大切にする。
H24-③	3-4	ゴミをひろい、川にきたない水をながさないようにする。
H24-③	3-8	川に汚い水を流さない
H24-③	3-9	生き物を大切にする。
H24-③	3-10	ゴミ拾い。生き物を大切にする。
H24-③	3-13	ゴミ拾い
H24-③	3-14	ゴミを川にすてない
H24-③	3-16	川に汚い水を流さない。
H24-③	3-18	ゴミ拾い。
H24-③	3-19	ゴミ拾い。
H24-④	4-3	ゴミひろい
H24-④	4-4	ゴミ拾い
H24-④	4-5	ごみを出さない
H24-④	4-6	汚水を流さない
H24-④	4-7	ゴミひろい
H24-④	4-8	ゴミ拾い
H24-④	4-9	生き物を大切にする
H24-④	4-12	ごみをすてない
H24-④	4-13	ゴミ拾い
H24-④	4-14	ゴミをすてない
H24-④	4-15	生き物を大切にする。
H24-④	4-16	水をよごさない
H24-④	4-17	下水道の整備
H24-④	4-19	ゴミ拾い
H24-④	4-21	ゴミ拾い
H24-④	4-22	川に汚い水を流さない
H24-④	4-23	ゴミを捨てない
H24-④	4-24	ゴミひろい
H24-④	4-25	ゴミ拾いをする
H24-④	4-26	魚をたいせつにする
H24-④	4-27	川遊びの後は片付けをする
H24-⑤	5-2	ゴミ拾い
H24-⑤	5-3	みんな大切
H24-⑤	5-4	川に空カン等、ゴミをほかさない。
H24-⑤	5-6	ごみひろい
H24-⑤	5-8	川に汚い水を流さない
H24-⑤	5-9	ゴミ拾い
H24-⑤	5-10	ゴミ拾い
H24-⑤	5-11	ゴミ拾い
H24-⑤	5-12	ゴミ拾い
H24-⑤	5-15	ゴミ拾い
H24-⑤	5-18	ゴミひろいをする。
H24-⑤	5-19	ゴミを川にほらない
H24-⑤	5-20	ゴミ拾い、川に汚い水を流さない、生き物を大切にする。
H24-⑤	5-21	ゴミひろい、きたない水を流さない

活動No	回答No	きれいな「川」にするためにみんなができること
H24-⑤	5-23	ゴミ拾い
H24-⑤	5-24	ゴミをすてない
H24-⑤	5-25	ゴミひろい
H24-⑤	5-26	ゴミを拾う。
H24-⑤	5-27	ゴミ拾い
H24-⑤	5-29	ゴミ拾い
H24-⑤	5-30	もっとこういう活動を広めるべき。そのためなら参加します。
H24-⑤	5-31	ゴミ拾い、ポイ捨てをしない
H24-⑤	5-32	ゴミ拾い
H24-⑤	5-33	魚を食べる。
H24-⑤	5-34	ゴミ拾い、汚い水を流さない
H24-⑤	5-35	川にごみを捨てない
H24-⑤	5-36	ゴミ拾い
H24-⑤	5-38	生活排水。皆でゴミひろいする。ゴミをすてない
H24-⑤	5-39	全部大切
H24-⑤	5-40	川に汚い水を流さない、生き物を大切にする。
H24-⑤	5-41	水を大切にする。全てつながっているため。
H24-⑤	5-42	みんなに川の意識を高く持ってもらう。
H24-⑤	5-43	川魚を飼ってみる。
H24-⑤	5-44	水を大事につかう。家の水道と川がつながっているというイメージをもたせること。
H24-⑥	6-1	ゴミ拾い。ゴミをすてない。
H24-⑥	6-2	水辺の生き物がたくさんいて、それたちも安心な場所として長くいられるような川をつくっていければ良いと思った。
H24-⑥	6-3	みんなでゴミ拾い
H24-⑥	6-4	ゴミをひろう。
H24-⑥	6-5	ゴミひろい
H24-⑥	6-6	ゴミひろい
H24-⑥	6-7	生きものをにがさない
H24-⑥	6-8	ゴミ拾い。生き物を大切にする。
H24-⑥	6-9	ごみひろい
H24-⑥	6-11	ごみひろい
H24-⑥	6-12	ごみひろい
H24-⑥	6-13	ゴミ拾い
H24-⑥	6-14	ゴミ拾い。生き物を大切にする。
H24-⑥	6-15	ゴミひろい
H24-⑥	6-16	ゴミ拾い
H24-⑥	6-17	ゴミ拾い。ゴミが落ちているのに気がいたら拾う。
H24-⑥	6-18	ゴミ拾い、親子で参加したい。
H24-⑥	6-19	ゴミをすてない
H24-⑥	6-20	ゴミをすてない
H24-⑥	6-21	生き物を大切にする
H24-⑥	6-22	ゴミを捨てない
H24-⑥	6-23	河川ジキの環境整備。
H24-⑥	6-24	ゴミ拾い
H24-⑥	6-25	ゴミ拾い。生活の中で汚い水、食べのこし、洗剤の使いすぎに注意する。
H24-⑥	6-26	自然とふれあえれば、意識を高められると思う。
H24-⑥	6-29	川にごみを捨てず、生き物を大切にするために、川や生き物のことをもっとアピールすること。
H24-⑥	6-30	ゴミをすてない
H24-⑥	6-31	ゴミひろい
H24-⑥	6-32	ゴミ拾い
H24-⑥	6-33	魚を食べる(ためにはまず、きれいにする)
H24-⑥	6-34	ゴミ拾い。ゴミをすてない！
H24-⑥	6-36	定期的な清掃活動
H24-⑥	6-37	みんなが魚を食べる。
H24-⑥	6-38	ゴミをすてない。できるだけきたなくしない。
H24-⑥	6-39	川の調査をし、みんなの前で発表する
H24-⑥	6-40	川に汚い水を流さない
H24-⑥	6-41	ゴミをしない。ダムをつくらない。
H24-⑥	6-42	常に川に直結している事を意識して水を扱う
H24-⑥	6-43	生き物を大切にする
H24-⑪	11-1	ゴミ拾い、川に汚い水を流さない
H24-⑪	11-3	てんぷら油は流さない

活動No	回答No	きれいな「川」にするためにみんなができること
H24-⑪	11-4	ゴミを捨てない、汚水を流さない、草刈をする。
H24-⑪	11-7	定期的なゴミ拾い。
H24-⑪	11-9	ゴミを捨てない。ゴミ拾い。
H24-⑪	11-10	ゴミをすてない。早く公共下水道整備を！
H24-⑪	11-11	ゴミ拾い、川に汚い水を流さない、身近なことから気にかけていけば、自然ときれいな川に戻るのでは？
H24-⑪	11-12	川に汚い水を流さない
H24-⑪	11-13	ゴミ拾い
H24-⑪	11-14	ゴミ拾い
H24-⑪	11-15	生き物を大切にしてほしい
H24-⑪	11-16	ゴミをすてない
H24-⑪	11-17	そうじをする
H24-⑪	11-18	そうじをするする
H24-⑪	11-19	ゴミを捨てない
H24-⑪	11-20	ゴミ拾い
H24-⑪	11-21	ゴミ拾い
H24-⑪	11-22	ゴミをすてない
H24-⑪	11-23	ゴミ拾い
H24-⑪	11-24	ゴミ拾いを続けていけばいい
H24-⑪	11-25	ゴミ拾い
H24-⑪	11-26	ゴミをすてない
H24-⑪	11-27	ゴミをすてない
H24-⑪	11-28	ゴミをすてない
H24-⑪	11-32	ゴミ拾い
H24-⑪	11-34	ゴミをすてない
H24-⑪	11-35	ゴミ拾い
H24-⑪	11-36	ゴミ拾い
H24-⑪	11-39	ゴミ拾い
H24-⑪	11-43	ゴミ拾い
H24-⑪	11-44	ゴミ拾い
H24-⑬	13-2	ゴミは流さない事を皆に考えてもらおう。
H24-⑬	13-3	川に汚物を流さない。洗剤を考える。ゴミひろい。
H24-⑬	13-4	洗剤にも気をつける
H24-⑬	13-7	川を知ること
H24-⑬	13-8	ボランティアによるゴミ拾い
H24-⑬	13-9	生活環境を気をつける
H24-⑬	13-10	水をよごさない
H24-⑭	14-1	ゴミをほかさない。
H24-⑭	14-2	川のゴミひろいをして、川にきたない水をながさない。
H24-⑭	14-3	ボランティアさんたちの人数をふやせばいいと思う。
H24-⑭	14-4	ごみをすてない。
H24-⑭	14-5	きたない水をながさないでゴミをすてない。
H24-⑭	14-6	みんなでゴミひろい。
H24-⑭	14-7	きたない川の水はいやと思う。
H24-⑭	14-8	ぼくはなるべくすべてやっていきたいと思います。ぼくは、家に金魚6びき・コイ1びき・めだか5びき・犬1びきを飼っています。からいきものたい切さ
H24-⑭	14-9	はっぱやゴミをとること。
H24-⑭	14-10	川にきたない水をながさずゴミを川にすてない。
H24-⑭	14-11	生き物を大切にしていってほしい。
H24-⑭	14-12	ゴミをひろう。
H24-⑭	14-13	ゴミ拾い。
H24-⑭	14-14	ゴミがあるからごみひろいなど川をキレイにするとりくみをしたらいいと思う。
H24-⑭	14-15	生き物を大切にしたい。
H24-⑭	14-16	川にきたない水をながさない。
H24-⑭	14-17	ゴミ拾いをする。
H24-⑭	14-18	かんぱんにごみはすてないや、川にきたない水を流さないとかんぱんをつけたらいいと思う。
H24-⑭	14-19	ゴミ拾い。川に汚い水を流さない。
H24-⑭	14-20	ゴミを拾う。
H24-⑭	14-21	ゴミ拾をしていのちを
H24-⑭	14-22	ゴミ拾い
H24-⑭	14-23	ゴミ拾い。
H24-⑭	14-24	ゴミを拾う。汚い水を流さないようにする。

活動No	回答No	きれいな「川」にするためにみんなができること
H24-⑭	14-25	川に物をなげない。
H24-⑭	14-26	川にゴミをすてないようにする。
H24-②-2	15-1	ゴミ拾い
H24-②-2	15-2	汚さないようにする
H24-②-2	15-5	ゴミ拾い、川に汚い水を流さない、生き物を大切にする
H24-講座	16-1	川に汚い水を流さない
H24-講座	16-3	ゴミを捨てない
H24-講座	16-4	ゴミのない川
H24-講座	16-5	汚い水を流さずゴミ等も協力して捨てないように
H24-講座	16-6	ゴミを川辺にすてない。生き物を大切にするための環境を整える。
H24-講座	16-7	昨秋の台風で川が随分よごれています。土砂が河床敷にどっと流れ込み、いまだにもとの川にはなっていません。一人の力では大変ですが、人数があればゴミ拾いもそう時間がかからないのではないのでしょうか。一人気をもんでいる状態です。
H24-講座	16-8	川の周辺をもっと、定期的にゴミを拾いきれいにする
H24-講座	16-10	生物が定着的に生活出来る状況にしたい

活動No	回答No	どのような広報を希望するか
H24-②	2-2	学校へチラシ配布。回覧板。
H24-②	2-4	回覧板。
H24-②	2-5	webの活用。
H24-②	2-12	学校にチラシを配布してほしい。
H24-②	2-14	YOU、広報なぱり
H24-②	2-15	もっとこのような活動をしていく。(PR不足?)
H24-②	2-16	ケーブルTVなどでCM、地域情報誌に掲載。
H24-③	3-1	学校にチラシを配布してほしい。
H24-③	3-2	学校にチラシを配布してほしい。
H24-③	3-4	ゆうびんでいっしょにわたくす(DM)
H24-③	3-9	学校にチラシを配布してほしい。
H24-③	3-10	ポスターをはってほしい。
H24-③	3-13	チラシを配布してほしい。
H24-③	3-14	学校にチラシを配布してほしい。
H24-③	3-16	学校で広報活動を拡大してほしい。
H24-③	3-18	学校にチラシを配布してほしい。
H24-④	4-3	チラシ
H24-④	4-4	学校にチラシ
H24-④	4-9	学校にチラシを配布してほしい。
H24-④	4-15	学校にチラシを配布してほしい。
H24-④	4-17	小学校に配布
H24-④	4-19	特になし
H24-④	4-21	学校にチラシを配布。HPなど。
H24-④	4-22	学校に配布してほしい。
H24-④	4-23	今回のように学校や広報にのせてほしい
H24-④	4-25	学校でチラシを配布してもらうとわかりやすいです
H24-④	4-26	ちらしをくばってほしい。
H24-④	4-27	インターネットでのPR
H24-⑤	5-10	学校にチラシをくばってほしい
H24-⑤	5-11	学校にチラシを配布してほしい
H24-⑤	5-13	偶然この活動を知った時には定員オーバーになっている企画もあり残念でした。子供も大変喜んでおり、なかなか出来ない貴重な体験をさせて頂き感謝しています。来年度もこのような活動をされるのであれば、是非早めの案内を自宅へ頂けないものかと思っております。よろしくお願い致します。(DM)
H24-⑤	5-15	学校にチラシを出す
H24-⑤	5-18	しんぶんのにせたり、学校にチラシをくばる
H24-⑤	5-19	いろんなぱしよににチラシを配布してほしい。
H24-⑤	5-20	学校にチラシを配布してほしい
H24-⑤	5-21	チラシがいっぱいほしい。
H24-⑤	5-23	川がきれいなところでやる。
H24-⑤	5-25	テレビでゆう
H24-⑤	5-27	ポスターをはる!
H24-⑤	5-30	学校にチラシを配布して欲しい
H24-⑤	5-31	学校とFMラジオ等でのPR。
H24-⑤	5-32	回覧板等で配布
H24-⑤	5-33	メール、DM
H24-⑤	5-34	学校の場で配布して欲しい
H24-⑤	5-35	学校からのチラシ
H24-⑤	5-42	学校用のチラシや子ども会のイベントとのコラボ
H24-⑥	6-1	みんなに広める
H24-⑥	6-3	大声で叫ぶ、マイクでしゃべる
H24-⑥	6-4	川あそびをいっぱいしたい。
H24-⑥	6-5	学校にチラシを早くはいふしてほしい。
H24-⑥	6-7	ぜん国にこのチラシをばらまいてほしい
H24-⑥	6-8	学校にチラシを配布してほしい
H24-⑥	6-11	市役所(駅)などの公共施設にもチラシをおいてみてはどうか
H24-⑥	6-12	またおしえてほしい
H24-⑥	6-14	学校にチラシを配布してほしい
H24-⑥	6-15	学校などにちらしをくばる
H24-⑥	6-16	学校にチラシを配布してほしい
H24-⑥	6-17	学校にチラシを配布してほしい
H24-⑥	6-18	地域の子供会福祉会等

活動No	回答No	どのような広報を希望するか
H24-⑥	6-21	学校にチラシを配布してほしい
H24-⑥	6-22	学校でのチラシ配布、HP
H24-⑥	6-23	参加できるイベントをおしえてほしい
H24-⑥	6-24	学校のチラシで知ったので、それを続けてほしいです
H24-⑥	6-25	学校のチラシは目にします。今後もよろしくおねがいします。
H24-⑥	6-26	がっこうにチラシ
H24-⑥	6-30	チラシをはいふしてほしい
H24-⑥	6-32	でんちゅうにはる。
H24-⑥	6-33	ポスター
H24-⑥	6-34	チラシ、ポスターなど
H24-⑥	6-36	タウン紙、ケーブルTV等
H24-⑥	6-37	メールお願いします。
H24-⑥	6-39	川の調査をし、みんなの前で発表する
H24-⑥	6-43	HPで分かりやすく
H24-⑦	7-2	学校でのチラシ配布広告など
H24-⑦	7-4	学校にチラシを配布してほしい
H24-⑦	7-9	学校チラシ配布
H24-⑦	7-13	ちらし
H24-⑦	7-19	パソコンサイト
H24-⑦	7-24	学校にチラシを配布してほしい
H24-⑦	7-25	学校にチラシがほしい
H24-⑦	7-27	風にのせてチラシをふっとばします。
H24-⑦	7-28	アユつかみ
H24-⑦	7-29	学校のしせつなどにチラシをくばる
H24-⑦	7-30	ネット
H24-⑦	7-32	メール
H24-⑦	7-33	学校にチラシをくばったりせんでんしたらいい
H24-⑦	7-37	HPで情報を知りたいと思います。
H24-⑧	8-1	テレビを使ったアピールが良いと思う。
H24-⑧	8-3	市のホームページのほか、自治会や市の行政チャンネルを使って参加を呼びかけること。
H24-⑧	8-4	小中学校をまきこんで、保護者参加がたのようなものはどうでしょうか。
H24-⑧	8-5	子供が参加できるものがあれば良いのでは？
H24-⑧	8-6	早くから広報募集したらいいと思う。
H24-⑧	8-31	短く
H24-⑧	8-32	ケーブルテレビで少し放送していましたが、防災特集号が何かをして周知したほうが良いと思う。
H24-⑧	8-36	伊賀市のHP等に告知してほしい。
H24-⑧	8-39	伊賀市のHP等に告知してほしい。
H24-⑧	8-51	行政の広報誌又は準じて各戸配布。公的施設へのポスター掲示。ケーブルTV。
H24-⑧	8-55	各自治体へのチラシなどを配るといった宣伝活動
H24-⑧	8-57	幅広い年齢層の方々が参加できるような行事での講習。地域ごとの講習会の実施。
H24-⑧	8-58	地区の自主防災にも広報(活動)を行う(チラシ等)
H24-⑧	8-65	チラシを作る。
H24-⑧	8-66	ケーブルTV
H24-⑧	8-71	自分たちでできる防災という面から、身近な水防技術であることのPR
H24-⑧	8-75	ケーブルTV等
H24-⑧	8-78	新聞広告、ロコミ
H24-⑧	8-79	学校でのチラシ配布。回覧板でのPR。
H24-⑧	8-81	広報以前にもっと多くの人の受講に対応できる体制を作してほしい。今回は人数が限定されていたが、もっと他の団員にも受けてもらいたかった。
H24-⑧	8-82	インターネットで
H24-⑨	9-10	市の広報。行政放送。
H24-⑨	9-12	市の広報で。
H24-⑨	9-13	市広報。ケーブルテレビ。新聞チラシ。
H24-⑨	9-16	伊賀だよりにのせる！！
H24-⑨	9-18	市広報紙の利用
H24-⑨	9-20	伊賀だより(広報)にも掲載して下さい。
H24-⑨	9-21	自治協を通じた広報
H24-⑨	9-26	市の広報で良いと思う。
H24-⑨	9-33	自治会、子供会等に広報を。
H24-⑨	9-35	市民館とか自治会の人参加
H24-⑨	9-40	各種手段で広報:市広報、有線放送、ポスター、ビラ配布等

活動No	回答No	どのような広報を希望するか
H24-⑨	9-41	町内でPR資料作成
H24-⑨	9-45	市の公報等
H24-⑨	9-49	ケーブルテレビ、公報
H24-⑪	11-1	地区の会報にのせる
H24-⑪	11-3	学校にチラシを配布してほしい
H24-⑪	11-7	広報いがに掲載
H24-⑪	11-8	学校にチラシを配布
H24-⑪	11-11	小学校での清掃活動(保護者も含めて)定期的に、定点観測のような経過を広報などで報告してほしい
H24-⑪	11-12	新聞などで記事として取り上げて広報する
H24-⑪	11-13	チラシ
H24-⑪	11-14	チラシ
H24-⑪	11-16	はりがみ
H24-⑪	11-19	チラシを配る
H24-⑪	11-20	チラシ
H24-⑪	11-22	チラシを配ってほしい
H24-⑪	11-23	チラシを配布してほしい
H24-⑪	11-24	いろんな学校にチラシを配布する。
H24-⑪	11-25	学校にチラシを配布してほしい
H24-⑪	11-26	参加した人がまたちがう人をさそう
H24-⑪	11-32	学校へ案内
H24-⑪	11-36	チラシ配布
H24-⑪	11-39	はり紙をする
H24-⑪	11-44	チラシ配布
H24-⑬	13-4	ポスター、チラシ
H24-⑬	13-7	天然鮎を食べる、食育等
H24-⑬	13-8	ホームページの開設
H24-⑬	13-9	テレビCMなど(AKB48などをつかって)
H24-⑬	13-10	新聞チラシ、TV
H24-⑭	14-1	いろいろな魚の種類などをいったり魚をとったりするチラシ。
H24-⑭	14-2	たいけんなどの写真のこうこくをくばるといいと思う。
H24-⑭	14-3	チラシをくばる。
H24-⑭	14-4	ほうもんにきてほしい。
H24-⑭	14-5	できるだけほいくしよの子でもできるものをふやす。
H24-⑭	14-6	もっといい体けんをふやしたらいい。
H24-⑭	14-7	さかなもきてほしい。
H24-⑭	14-9	いっぱい人がいる所チラシを配ったらいいと思う。
H24-⑭	14-10	なになにやってますよなどのポスターやチラシがほしい。
H24-⑭	14-11	魚のことを教えるチラシなどのせていただきたい。
H24-⑭	14-12	学の近くにポスターなどをはる。
H24-⑭	14-13	チラシやポスターなどをはる。
H24-⑭	14-14	CMをする。チラシをくばる。
H24-⑭	14-15	いろいろな人にチラシをくばる。
H24-⑭	14-16	新居のちかくでする。
H24-⑭	14-17	みんなが楽しめる物。
H24-⑭	14-18	歩いている人とかに、チラシをくばる。
H24-⑭	14-19	新聞のチラシをくばってほしい。
H24-⑭	14-20	大きなイベントとかで、チラシをくばったらいい。どんなことをするとかかいた方がいい。
H24-⑭	14-21	もっといいたいけんをしてほしい。
H24-⑭	14-22	チラシ配布して欲しい。
H24-⑭	14-23	きょうみをもってもらえるようなチラシをくばる。
H24-⑭	14-24	学校にいっぱい体けんのチラシをくばってほしい。
H24-⑭	14-25	いろいろな所で、チラシをくばればばいい。
H24-②-2	15-1	まち協(まちづくり推進協議会)にまわして住民に配布すれば良い
H24-②-2	15-2	自然を愛する気持ちを皆さんに持ってほしい



## 平成25年度 河川レンジャー年間活動計画について

[次第に戻る](#)

平成25年度河川レンジャー年間活動計画(変更)

活動No	担当レンジャー	活動名	実施予定日時	開催予定場所	活動目的 活動内容	参加予定人数 募集方法	必要な支援	概算費用	備考
		変更活動名	変更実施予定日時	変更開催予定場所					
H25-①	西田	消防団幹部技術講習	5月以降調整 (3時間程度)	伊賀市内小学校	【活動目的】 近年多発してきているゲリラ豪雨による小川や水路から家屋への浸水や造成宅地法面での亀裂発生などの緊急時に応急対応することによって災害を最小限に食い止める技術を習得されることを目的として消防団幹部に受講いただき、広く技術を地域に指導普及してもらうことを目的とする。  【活動内容】 ・消防団を対象に改良土のう工法 ・ロープワークの水防技術講習	50名程度 消防団幹部会に参加依頼	・土のうづくりの講師	6万円	・H25年度から団組織統廃合による新体制になるため、5月以降に実施日を調整。 ・H24年度から継続活動
	変更なし	伊賀市上野東分団及び地域住民水防技術講習 ◆実施済み	6月23日(日) 11:30～15:30	伊賀市立中瀬小学校(校庭)					
H25-②	西	こども水辺学習会①(春)	5月19日(日) もしくは 6月9日(日) (3時間程度)	やなせ宿 名張川河川敷	【活動目的】 名張市旧細川邸やなせ宿を拠点とした、『子どもの水辺調査隊』を募集し年間を通じて、川とふれあい、親しみ、川の事を考える機会を提供し水質調査ややなせ宿の歴史、木津川上流管内の河川の水質調査などを行いながら、川を大切に子ども達の育成を考える。  【活動内容】 ・水質調査を含めた春の水辺学習会 ・春の野草散策と水質調査 ・やなせ宿の歴史や昔の名張川に関する学習会	30名 (親子10組程度)  一般募集 (4月隊員募集)	・やなせ宿の協力要請 ・山野草に関する指導者の協力要請 ・バックテスト他の資材	5万円	・年間の固定的な参加者の募集を行い、春・夏・秋・冬にそれぞれ実施。
	変更なし	第1回やなせ子どもの水辺調査隊 ◆実施済み	6月8日(土) 8:30～17:00	変更なし					
H25-③	池田	柘植川源流探検	5月25日(土) もしくは 5月26日(日) 9:00頃～ (5時間程度)	伊賀市奥余野	【活動目的】 「植物」「地名」「忍者」をキーワードに伊賀地域を学習する。木津川上流の植物、地名の由来を知り、同時に伊賀忍者のことも学習し、自分たちが住んでいる伊賀地域が秘蔵しているものを考えてもらう。  【活動内容】 ・忍者岳の謎に迫り植物観察 ・柘植川源流探索	20名程度  一般募集	・配布資料コピー	1万円	
	変更なし	忍者岳登山(木津川源流探検) ◆実施済み	5月26日(日) 9:00～16:00	伊賀市奥余野(柘植川流域)					
H25-④	吉岡	平安時代の文化と蛭	6月5日～10日頃 (2時間)	宇陀川支流 (釜石川中・下流)	【活動目的】 滝川(丈六川)の源氏ホタルは江戸時代初期、江戸幕府内藤堂藩への献上品リストに記載があるほどのものであった。ホタルの生態や赤目の自然環境などについて学習をして、ナタネガラ、ススキなどを使い、昔ながらのホタルの取り方でホタル狩りを行う。自分たちでどのようにすればこの自然環境を守ることができるのかを考える機会とする。  【活動内容】 ・ホタルの生態の説明 ・昔ながらの方法でホタル狩り	30名  一般募集	・配布資料コピー	0万円	
	変更なし	平安時代の蛭と文化① ◆実施済み	6月9日(日) 19:00～21:00	変更なし					
	吉岡	平安時代の文化と蛭② ※追加したが、雨天により中止	6月15日(土) 19:00～21:00	宇陀川支流 (釜石川中・下流)		30名  箕曲小学校生徒及び保護者へ参加募集			
H25-⑤	西・吉岡【合同】	名張川ホタル再生に向けて(ほたる鑑賞会) ※やなせ宿と共催	6月15日(土) 予定 (3時間)	やなせ宿 名張川河川敷	【活動目的】 名張川・町なかホタルの再生に向け、平成22年度から引き続いて名張市まちづくり推進協議会・まちなか交流部会との連携による活動として、廣岡河川レンジャーが実施してきたものを引継ぎ、現在の状況(ホタル飛翔等)の観測、今後の課題及び進行中のカワニナ・ホタルの飼育状況を説明することにより、今後の活動への理解協力を求める。  【活動内容】 ・ホタルの生態・ホタル飼育状況の説明 ・ホタルの観察会	30名程度  一般募集 (やなせ宿より募集)	・配布資料コピー	0万円	
	西	名張川ホタル再生に向けてのホタル観賞会 ◆実施済み	6月15日(土) 18:00～21:00	変更なし					

平成25年度河川レンジャー年間活動計画(変更)

活動No	担当レンジャー	活動名	実施予定日時	開催予定場所	活動目的 活動内容	参加予定人数 募集方法	必要な支援	概算費用	備考
		変更活動名	変更実施予定日時	変更開催予定場所					
H25-⑥	吉岡	丈六五十路会	6月～8月頃 (1時間)	丈六地区公民館	<b>【活動目的】</b> 滝川(丈六川)の源氏ホタルは貴重なものである。郷土歴史・文化価値ともいう丈六のホタルについての説明と、ホタルの生態を守るため、河川環境が大事であることを説明し、名張川や上流の赤目の自然を次世代に残していくためには、何ができるのかを考える機会とする。  <b>【活動内容】</b> ・郷土歴史と文化価値についての講話 ・河川敷の草刈の必要性についての講話(ホタルの生態やホタルの育つ環境について)	30名 自治会会員	・配布資料コピー	0万円	
	変更なし	丈六五十路会 ※個人活動に変更	変更なし	変更なし					
H25-⑦	西	ダム見学会	7月前半 (3時間程度)	高山ダムもしくは室生ダム	<b>【活動目的】</b> ダム見学を行い、治水や利水に関する学習を行い、また水質に関する学習も含め、上流～下流の川とダムの関係を学習する。  <b>【活動内容】</b> ・高山ダムもしくは室生ダムの見学会 ・ダムの構造や役割の学習 ・水質に関する学習会	40名 一般募集	・木津川ダム総合管理所への申請 ・移動バス手配	10万円	
	変更なし	高山ダム見学会	10月～12月 12:30～16:00	高山ダム		30名 一般募集			
H25-⑧	吉岡	赤目小学校郷土学習	平成25年7月中旬 (1時間)	赤目小学校	<b>【活動目的】</b> 滝川(丈六川)の源氏ホタルは江戸時代初期、江戸幕府内藤堂藩への献上品リストに記載があるほどのものであった。江戸時代から郷土を忘れない-ALL The Time-をキャッチフレーズに、ホタルの生態や赤目の自然環境などについて学習をして、子供たちが自分たちでどのようにすればこの自然環境を守ることができるのかを考える機会とする。  <b>【活動内容】</b> ・ホタルの生態についての学習 ・赤目の自然環境についての学習	赤目小学校3～4年生 50名程度 学校と調整	・配布資料コピー	0万円	
	変更なし	小学校郷土学習 ◆実施済み	7月11日(木) 13:55～14:40	変更なし		赤目小学校4年生 30名			
H25-⑨	西	こども水辺学習会②(夏)	7月20日(日) (3時間程度)	やなせ宿 名張川河川敷	<b>【活動目的】</b> 名張市旧細川邸やなせ宿を拠点とした、『子どもの水辺調査隊』を募集し年間を通じて、川とふれあい、親しみ、川の事を考える機会を提供し水質調査ややなせ宿の歴史、木津川上流管内の河川の水質調査などを行いながら、川を大切に子ども達の育成を考える。  <b>【活動内容】</b> ・水質調査を含めた夏の水辺学習会 ・水質・水生生物調査 ・川下りとカヌー体験	30名 (親子10組程度)  (4月隊員募集)	・やなせ宿の協力要請 ・水生生物に関する指導者の協力要請 ・パックテスト他の資材準備 ・カヌー他手配	5万円	・年間の固定的な参加者の募集を行い、春・夏・秋・冬にそれぞれ実施。
	変更なし	第2回やなせ子どもの水辺調査隊	8月25日(日) 12:00～16:00	変更なし					
H25-⑩	西	源流シャワークライミング体験	7月28日(日) (6時間程度)	伊賀市大山田 奥馬野溪谷およびせせらぎ運動公園	<b>【活動目的】</b> 源流の溪谷でのシャワークライミング体験を行い、溪流での水の流れや滝登りの体験の中で、川の恐さと楽しさを体験すると共に、溪流の自然に触れ、自然の素晴らしさを体験する。また、大山田の化石から古琵琶湖の歴史を学ぶ学習会を実施する。  <b>【活動内容】</b> ・奥馬野溪谷でのシャワークライミング体験 ・大山田せせらぎ運動公園での古琵琶湖学習会	60名 一般募集	・インストラクター協力要請 ・バス手配	15万円	
	変更なし	源流シャワークライミング体験と古琵琶湖学習会 ◆実施済み	7月28日(日) 10:00～17:00	変更なし		40名 一般募集			
H25-⑪	西	川下り・カヌー体験	8月10日(土) 10:00～15:00 (5時間)	依那古地区河川敷	<b>【活動目的】</b> 参加者に川の中を歩いてもらい、川底が滑る事や急に深さが変わる事、流れの強さを体験してもらい、その体験の中からどうすれば安全に川と付き合えるのか、川を楽しむことができるかを体験してもらい、また川遊びとしてカヌー体験も行い、川と触れ合い、川の事・環境の事を考えるきっかけ作りを行う。  <b>【活動内容】</b> ・木津川河川、沖地区～市部地区区間の河川の川歩き体験 ・水生生物調査 ・カヌー他の川遊び体験	60名 (上流30名・下流30名) 一般募集	・カヌー借上 ・昼食に関しては下流レンジャーの活動制約も配慮し相談	10万円	・依那古体験隊との合同活動 ・H21年度・23年度・24年度継続実施 ・下流の木津川レンジャーとの合同活動。下流の子供たち・保護者にも川歩きを体験してもらう。
	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし					

平成25年度河川レンジャー年間活動計画(変更)

活動No	担当レンジャー	活動名	実施予定日時	開催予定場所	活動目的 活動内容	参加予定人数 募集方法	必要な支援	概算費用	備考
		変更活動名	変更実施予定日時	変更開催予定場所					
H25-⑫	池田	名張川源流探検	8月中旬 9:00頃～15:00 (6時間程度)	奈良県御杖村	【活動目的】 薬剤師の方に協力を依頼して、古来より人ほどのように薬草植物を活用してきたのか、また、忍者と山の関係は深いと言われているが実際はどうであったのか、薬草観察をしながら名張川源流を探索する。「薬草植物」と「忍者」をキーワードに「木津川上流」に興味を持ち、地理的特徴や気候などを知ってもらう事を目的とする。	20名程度 一般募集	・配布資料コピー	1万円	・H24年度からの継続活動
	変更なし	変更なし	8月18日(日) 8:30～15:00	奈良県宇陀郡御杖村	【活動内容】 ・三峰山と忍者の関係を探り植物観察 ・名張川源流探索	30名程度 一般募集			
H25-⑬	溝延	遊んで学ぶ 水のはたらき	8月18日(日) 9:00～12:00 (3時間)	糸川橋下流川原	【活動目的】 模型の水車、ペットボトル筏、ペットボトル風車船、水鉄砲などの工作物で実験する事により、直接、水に触れ、水の持つ多様な物理的性質を理解し、水の力のすごさや怖さ、川の性質を知る事により、川で身を守る安全知識について学習する。	15名 一般募集	・当日配布資料コピー ・ライフジャケット ・活動場所の草刈	3万円	・H24年度からの継続活動
	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	【活動内容】 ・水車・サイフォン実験 ・竹樋での送水実験 ・帆掛け船遊び ・ペットボトル筏試乗				
H25-⑭	西	こども水辺学習会③(秋)	9月29日(日) (3時間程度)	やなせ宿 ※参加者と相談場合により三本松宇陀道の駅周辺	【活動目的】 名張市旧細川邸やなせ宿を拠点とした、『子どもの水辺調査隊』を募集し年間を通じて、川とふれあい、親しみ、川の事を考える機会を提供し水質調査ややなせ宿の歴史、木津川上流管内の河川の水質調査などを行いながら、川を大切に子ども達の育成を考える。	30名 (親子10組程度) 一般募集 (4月隊員募集)	・やなせ宿の協力要請 ・野鳥に関する指導者の協力要請 ・バックテスト他の資材	5万円	・年間の固定的な参加者の募集を行い、春・夏・秋・冬にそれぞれ実施。
	変更なし	第3回やなせ子どもの水辺調査隊	変更なし	変更なし	【活動内容】 ・水質調査を含めた秋の水辺学習会 ・秋の野草散策と水質調査 ・水害防止に関する学習会				
H25-⑮	西田	市民防災技術講習	10月5日(土) もしくは 10月12日(土) (3時間程度)	ゆめぼりすセンター 2F大会議室と駐車場	【活動目的】 近年多発してきているゲリラ豪雨による小川や水路から家屋への浸水や造成宅地法面での亀裂発生などの緊急時に応急対応することによって災害を最小限に食い止める技術を習得されることを目的とし自主防災関係者及び地域住民リーダーに受講いただき、地域住民に広く技術を指導普及してもらうことを目的とする。	50名程度 伊賀市社会福祉協議会による参加募集	-	6万円	・第3回伊賀市ふくし大学講座と共催 ・H24年度から継続活動
	変更なし	変更なし	9月28日(土) 13:30～16:00	変更なし	【活動内容】 ・防災ボランティア養成講座応募者を対象に、身近な防災技術講習 ・土のうづくり・ロープワークの防災訓練				
H25-⑯	池田	服部川源流探検	10月下旬 9:00～13:00 (4時間程度)	伊賀市奥馬野溪	【活動目的】 「植物」「地名」「忍者」をキーワードに伊賀地域を学習する。木津川上流の植物、地名の由来を知り、同時に伊賀忍者のことも学習し、自分たちが住んでいる伊賀地域が秘蔵しているものを考えてもらう。参加者には、伊賀産のオニグルミを持って帰ってもらう。	20名程度 一般募集	-	1万円	
	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	【活動内容】 ・馬野溪での忍者の関係を探りカツラとクルミ観察 ・服部川源流探索				
H25-⑰	西田	小学校の防災学習 (水質検査・防災学習)	10月～11月 (3時間程度)	上野遊水地集中管理センター 上野遊水地周辺	【活動目的】 新居小学校における教育プログラム組み込み。 5年生の環境学習として地理的特性を活かした上野遊水地や防災施設が自分たちの生活とどのように関わっているのか、環境に配慮した河川構造物とはどのようなものか、映像や写真を使用した説明と実際に施設を見学することにより学習する。	30名程度 小学校へ依頼	・防災学習の講師 ・バックテストCOD・pH ・観光バス	1万円	・H23・24年度は伊賀市新居小学校での実施
	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	【活動内容】 ・防災学習と水質調査の実験結果を比較して川の汚れの状態を知る。				

平成25年度河川レンジャー年間活動計画(変更)

活動No	担当レンジャー	活動名	実施予定日時	開催予定場所	活動目的 活動内容	参加予定人数 募集方法	必要な支援	概算費用	備考
		変更活動名	変更実施予定日時	変更開催予定場所					
H25-⑱	溝延	名張川自然観察ウォーキング	11月4日(月) 9:00~12:00 (3時間)	糸川橋~沖津藻大橋	【活動目的】 名張川においてウォーキングをしながら、バードウォッチングとビオトープ観察を行い、川の環境と生物の関わり、川の環境保全の重要性を学習するとともに、川べりを散策することによる癒し効果、日常生活空間の広がりを体験し、川への一層の関心をもってもらおう。	20名 一般募集	・当日配布資料コピー ・水生生物調査観測備品 ・生物観察指導講師 ・バードウォッチング講師 ・観察場所ほかの草刈	2.4万円	・H22年度ビオトープづくり ・H23年度からの継続活動
	変更なし	変更なし	11月17日(日) 9:00~12:00 (3時間)	変更なし	【活動内容】 ・ウォーキング ・バードウォッチング ・水生生物調査				
H25-⑲	西	こども水辺学習会④(冬)	平成26年1月26日(日) もしくは 2月2日(日) (3時間程度)	やなせ宿 名張川河川敷	【活動目的】 名張市旧細川邸やなせ宿を拠点とした、『子どもの水辺調査隊』を募集し年間を通じて、川とふれあい、親しみ、川の事を考える機会を提供し水質調査ややなせ宿の歴史、木津川上流管内の河川の水質調査などを行いながら、川を大切に子ども達の育成を考える。	30名 (親子10組程度)  一般募集 (4月隊員募)	・やなせ宿の協力要請 ・野鳥に関する指導者の協力要請 ・パックテスト他の資材準備	5万円	・年間の固定的な参加者の募集を行い、春・夏・秋・冬にそれぞれ実施。
	変更なし	第4回やなせ子どもの水辺調査隊	変更なし	変更なし	【活動内容】 ・水質調査を含めた冬の水辺学習会 ・名張川野鳥観察と水質調査 ・最終的には、年間活動の中で子ども達の調査結果や意見などを集約				
H25-⑳	西田	久米川・木津川クリーンウォーキング	平成26年3月1日(土) 9:00~12:00 (3時間)	久米川流域 (参加する団体によって範囲変更)	【活動目的】 久米川の河川クリーンウォーキングおよび久米川堤防の安全点検	60名程度  久米川流域生活排水対策推進協議会、消防団、高校生に依頼	-	0万円	・H23年度から継続活動
	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	【活動内容】 ・久米川の河川クリーンウォーキングおよび堤防の安全点検				
外	溝延	セイタカアワダチソウ調査 (個人活動)	10月末	糸川橋近辺	【活動目的】 外来植物のセイタカアワダチソウが猛烈な勢いで、河岸・休耕田に繁茂し、旧来の自生植物を圧倒する状況が発生しており、環境に与える影響が大である。花が咲いた後に抜き取り、次年度の発生数を確認し、どの程度抜き取りによる削減効果があるかを試行的に調査することを目的とし、平成24年度の引き続き調査をおこなう。	-	-	0万円	
	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	【活動内容】 ・前年度抜き取り場所での再生数調査				
外	吉岡	姫ホテル観察 (個人活動)	4月~翌3月	長坂山~滝口付近 短野浮池付近	【活動目的】 伊賀地域でも、現活動地のみと思われる希少価値陸生息ホテルを増やすため、自然環境を整えながら、観察をおこなう。	-	-	0万円	
	変更なし	変更なし ★継続実施中	変更なし	変更なし	【活動内容】 ・姫ホテルの観察				
外	吉岡	ササユリ小公園化 (個人活動)	6月・10月~11月 (10日間程度)	長坂地区 (黄滝橋前後)	【活動目的】 河川敷や道路沿いなどのゴミ捨て防止対策として、植物で唯一学名にJapon名が入っている日本特産品であるササユリを植えて小公園化をすることにより、ゴミ捨てを減らし、自然環境を守ることを考えてもらおう啓発として試行的におこなう。	-	-	2万円	
	変更なし	変更なし ★継続実施中	変更なし	変更なし	【活動内容】 ・ゴミがよく捨てられる所にササユリを植え、繁殖、自生させる。				

平成25年度河川レンジャー年間活動計画(変更)

活動No	担当レンジャー	活動名	実施予定日時	開催予定場所	活動目的 活動内容	参加予定人数 募集方法	必要な支援	概算費用	備考
		変更活動名	変更実施予定日時	変更開催予定場所					
外	西田	久米川・往古川水質調査 (個人活動)	平成25年3月～ 毎月1回 9:00～12:00 (3時間)	久米川・往古川 計7か所	<b>【活動目的】</b> 久米川・往古川の全域を簡易水質検査により毎月実施して、流域住民に水質環境について関心を持ってもらう資料づくり  <b>【活動内容】</b> ・河川に流出している下水路からの排水を目視観 ・数年間の測定値のデータを作成し環境写真と共に流域住民に公開喚起する。	-	・パケットテスト (COD・pH各100本)	0万円	
	変更なし	変更なし ★継続実施中	変更なし	変更なし					
-		学校教育プログラムへの組み込み	未定	名張市・伊賀市内					※伊賀市・名張市小学校へ教育プログラムへの組み込みPRを継続 学校より依頼があれば、要望に応じた内容で学習会を実施
-		自治体等が開催する行事との連携	未定	名張市					※やなせ祭りと共催

[次第に戻る](#)

## 平成25年度 実施スケジュールについて

[次第に戻る](#)

平成25年度 木津川上流管内河川レンジャー 実施スケジュール(案)

年月	運営内容	現河川レンジャー(5名)	H25年度新規河川レンジャー
平成25年	3月 H25.3.11(月) 平成24年度 レンジャー会議 ●河川レンジャー年間活動計画(H25年度)の決定	平成25年度 年間活動計画(案) 作成	
	4月		
	5月	活動実施 (H26.3まで)	
	6月		
	7月 H25.7.31(水) 平成25年度 懇談会 ●H24年度運営報告、運営要領(案)の改正、募集要領の決定等		
	8月 H25.8月上旬 新規河川レンジャーの募集開始(~H25.10下旬まで)		
	9月		
	10月 H25.10下旬 新規河川レンジャーの募集締切		
	11月 H25.11下旬 木津川上流発見講座		
	12月 H25.12月上旬 プレゼンテーション 平成25年度 推薦委員会 ●河川レンジャー予定者の決定(新規・再任) H25.12下旬 河川レンジャーの任命(事務所長)	活動報告  任命(再任)	プレゼンテーション  任命
平成26年	1月		
	2月 H26.2中旬 河川レンジャー養成講座	講座受講 平成26年度 年間活動計画(案) 作成	講座受講 平成26年度 年間活動計画(案) 作成
	3月 H26.3月上旬 平成25年度 レンジャー会議 ●河川レンジャー年間活動計画(H26年度)の決定	活動報告  活動実施(H26.4~H27.3まで)	

[次策に戻る](#)



## 運営要領(案)の改正について

[次第に戻る](#)

# 木津川上流管内河川レンジャー 運営要領(案)及び同細則(案) 改正箇所一覧表

[主な改正理由]

◆：レンジャー会議による主体的な運営を推進していくための改正 ◇：河川レンジャーの応募要件の緩和

頁	章	条・項・号	原行	改正(案)	理由
1頁	目次	—	第6章 木津川上流管内河川レンジャー講座(第41条-第44条)	削除	◇
2頁	第1章 総則	第2条 第3項	第1項各号の組織間の関係は、木津川上流管内河川レンジャー機構図に示すとおりとする。	削除(削除に伴い、機構図を廃止)	◆
6頁	第2章 木津川上流管内河川レンジャー	第11条 第1項 第2号	過去2年以内に、木津川上流発見講座(以下「発見講座」という。)の受講を修了している者又は河川レンジャー活動に2回以上参加している者であること。	削除	◇
9頁		第14条 第4項	事務所長は、第2項の解任又は第3項の辞任の了承を行ったときは、懇談会及びレンジャー会議に報告する。	事務所長は、第2項の解任又は第3項の辞任の了承を行ったときは、レンジャー会議に報告する。	◆
13頁	第3章 木津川上流管内河川レンジャー懇談会	第22条 第1項	懇談会は、レンジャー会議及び事務局からの報告及び提案を受けた事項に関する審議を行い、河川レンジャーのよりよい活動に向けて、その制度、支援のための方策、河川レンジャーのあり方、役割及び運営計画等について提言を行うことを役割とする。	懇談会は、 <u>河川レンジャー活動のよりよい運営のために、制度、運営計画、支援方策、河川レンジャーのあり方及び役割等について、指導・助言を行うことを役割とする。</u>	◆
14頁		第23条 第1項 第23条 第2項	懇談会は、 <u>会員及びオブザーバー</u> をもって構成する。 会員は次の各号のとおりとする。 (1) 学識経験者及び見識者 若干名 (2) レンジャー会議座長 (3) 三重県 伊賀建設事務所長 (4) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所長 (5) 伊賀市 建設部長 (6) 名張市 都市整備部長 (7) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長	懇談会は、 <u>次の各号の会員</u> をもって構成する。 (1) 学識経験者及び見識者 若干名 (2) レンジャー会議座長 (3) 三重県 伊賀建設事務所長 (4) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所長 (5) 伊賀市 建設部長 (6) 名張市 都市整備部長 (7) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長	◆
		第23条 第3項	オブザーバーは次の各号のとおりとする。 (1) 河川レンジャー (2) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 管理課長 (3) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所長 (4) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 名張川出張所長	削除	◆
15頁	第25条 第5項	会長は、必要があると認めるときは、懇談会に関係者の出席を求め、審議に参考となる説明又は意見を聴くことができるものとする。	削除	◆	
16頁	第4章 木津川上流管内河川レンジャー会議	第27条 第1項	懇談会の開催は、事務所長が招集する。	懇談会の開催は、 <u>会長からの提案を受けて</u> 、事務所長が招集する。	◆
16頁 17頁		第28条 第1項	レンジャー会議は、河川レンジャーを運営する機関として、地域の特性に応じた河川レンジャーのあり方の検討や、河川レンジャーの年間活動計画、運営計画並びに懇談会への報告事項について審議するほか、河川レンジャーに対して助言や支援等を行うことを役割とする。	レンジャー会議は、 <u>河川レンジャー活動を主体的に運営する機関として、次の各号に掲げる事項を討議する。</u> (1) <u>河川レンジャーの年間活動計画及び運営計画の決定</u> (2) <u>河川レンジャーの活動報告及び運営報告</u> (3) <u>河川レンジャーのあり方及び役割</u> (4) <u>支援方策及び地域連携方策</u> (5) <u>河川レンジャーの知識、技能及び能力の向上に資する取り組み</u> (6) <u>円滑な運営に資する仕組みや制度</u> (7) <u>運営要領(案)等の各種基準の制定及び改正提案</u> (8) <u>懇談会への報告事項</u>	◆
19頁		第31条		(細則(案)追記) 第13条 懇談会への報告は、各会員に対して事務局より書面で行う。  (第7項追記) 7 座長は、必要があると認めるときは、レンジャー会議に関係者の出席を求め、討議に参考となる説明又は意見を聴くことができるものとする。	◆
23頁 24頁	第6章 木津川上流管内河川レンジャー講座	第41条～第44条	第6章 木津川上流管内河川レンジャー講座(第41条～第44条)	削除	◇
25頁	第7章 雑則	第46条 第1項	本運営要領(案)を改正するときは、懇談会からの提案を受けて事務所長が行う	本運営要領(案)を改正するときは、 <u>レンジャー会議</u> からの提案を受けて事務所長が行う。	◆

※ 上記改正に伴う、章・条・項・号の繰り上げについては、記載しておりません。

[次第に戻る](#)

# 木津川上流管内河川レンジャー 運営要領(案)及び同細則(案)

改正案 新旧対照表

木津川上流管内河川レンジャー懇談会

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p><b>木津川上流管内河川レンジャー運営要領(案)</b></p> <p>目次</p> <p>第1章 総則(第1条-第4条)</p> <p>第2章 木津川上流管内河川レンジャー(第5条-第21条)</p> <p>第3章 木津川上流管内河川レンジャー懇談会(第22条-第27条)</p> <p>第4章 木津川上流管内河川レンジャー会議(第28条-第33条)</p> <p>第5章 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会(第34条-第40条)</p> <p><u>第6章 木津川上流管内河川レンジャー講座(第41条-第44条)</u></p> <p>第7章 雑則(第45条・第46条)</p> <p>附則</p>	<p><b>木津川上流管内河川レンジャー運営要領(案)</b></p> <p>目次</p> <p>第1章 総則(第1条-第4条)</p> <p>第2章 木津川上流管内河川レンジャー(第5条-第21条)</p> <p>第3章 木津川上流管内河川レンジャー懇談会(第22条-第27条)</p> <p>第4章 木津川上流管内河川レンジャー会議(第28条-第33条)</p> <p>第5章 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会(第34条-第40条)</p> <p>第6章 雑則(第41条・第42条)</p> <p>附則</p>		<p>河川レンジャーの応募要件の緩和に伴う改正</p> <p>章及び条番号の繰り上げ</p>
<p><b>第1章 総則</b></p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 本運営要領(案)は、木津川上流管内河川レンジャー(以下「河川レンジャー」という。)活動の運営について定めるものである。</p>	<p><b>第1章 総則</b></p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 本運営要領(案)は、木津川上流管内河川レンジャー(以下「河川レンジャー」という。)活動の運営について定めるものである。</p>		
<p>(河川レンジャー活動を運営する組織)</p> <p>第2条 河川レンジャー活動を運営する組織は、次の各号に掲げる組織をもって構成する。</p>	<p>(河川レンジャー活動を運営する組織)</p> <p>第2条 河川レンジャー活動を運営する組織は、次の各号に掲げる組織をもって構成する。</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>(1) 木津川上流管内河川レンジャー懇談会(以下「懇談会」という。)</p> <p>(2) 木津川上流管内河川レンジャー会議(以下「レンジャー会議」という。)</p> <p>(3) 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会(以下「推薦委員会」という。)</p> <p>2 前項各号の組織は、木津川上流河川事務所長(以下「事務所長」という。)が設置する。</p> <p>3 <u>第1項各号の組織間の関係は、木津川上流管内河川レンジャー機構図に示すとおりとする。</u></p>	<p>(1) 木津川上流管内河川レンジャー懇談会(以下「懇談会」という。)</p> <p>(2) 木津川上流管内河川レンジャー会議(以下「レンジャー会議」という。)</p> <p>(3) 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会(以下「推薦委員会」という。)</p> <p>2 前項各号の組織は、木津川上流河川事務所長(以下「事務所長」という。)が設置する。</p>		<p>廃止</p>
<p>(事務局)</p> <p>第3条 事務所長は、河川レンジャー活動及び前条第1項各号の組織を運営するために、木津川上流管内河川レンジャー事務局(以下「事務局」という。)を設置する。</p> <p>2 事務局は、木津川上流河川事務所管理課並びに事務所長が指定した者とする。</p>	<p>(事務局)</p> <p>第3条 事務所長は、河川レンジャー活動及び前条第1項各号の組織を運営するために、木津川上流管内河川レンジャー事務局(以下「事務局」という。)を設置する。</p> <p>2 事務局は、木津川上流河川事務所管理課並びに事務所長が指定した者とする。</p>		
<p>(経費の負担)</p> <p>第4条 事務所長は、次の各号に掲げる経費等を実費負担する。</p> <p>(1) 河川レンジャーの活動に必要な経費及び備品の購入等費用</p>	<p>(経費の負担)</p> <p>第4条 事務所長は、次の各号に掲げる経費等を実費負担する。</p> <p>(1) 河川レンジャーの活動に必要な経費及び備品の購入等費用</p>	<p>第1条 「河川レンジャーの活動に必要な経費及び備品等の購入等費用」とは、次の各号に掲げる費用とする。</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
<p>(2) 懇談会、レンジャー会議、推薦委員会及び講座の開催運営費用</p>	<p>(2) 懇談会、レンジャー会議、推薦委員会及び講座の開催運営費用</p>	<p>(1)河川レンジャーの報酬(交通費含む)  (2) 傷害保険等の加入費  (3) 備品購入費  (4) その他事務所長が必要と認めた経費</p> <p>第2条 「懇談会、レンジャー会議、推薦委員会及び講座の開催運営費用」とは、次の各号に掲げる費用とする。</p> <p>(1)資料作成費  (2)会議運営費  (3)その他事務所長が必要と認めた経費</p>	
<p><b>第2章 木津川上流管内河川レンジャー</b>  (河川レンジャーの構成)  第5条 河川レンジャーは、個人をもって構成する。</p>	<p><b>第2章 木津川上流管内河川レンジャー</b>  (河川レンジャーの構成)  第5条 河川レンジャーは、個人をもって構成する。</p>		
<p>(河川レンジャーの役割)  第6条 河川レンジャーは、淀川水系河川整備計画で示している行政と住民等との連携や協働を必要とする事項を推進するため、行政と住民との間に立って、防災学習や水防活動等の防災・減災を推進する活動、河川にかかわる環境学習等の文化活動や動植物の保全等の活動を実施するとともに、比較的穏便で危険を伴わない範囲における河川管理上の役割を担い、河川と地域との良好な関係を</p>	<p>(河川レンジャーの役割)  第6条 河川レンジャーは、淀川水系河川整備計画で示している行政と住民等との連携や協働を必要とする事項を推進するため、行政と住民との間に立って、防災学習や水防活動等の防災・減災を推進する活動、河川にかかわる環境学習等の文化活動や動植物の保全等の活動を実施するとともに、比較的穏便で危険を伴わない範囲における河川管理上の役割を担い、河川と地域との良好な関係を</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
構築することを役割とする。	構築することを役割とする。		
<p>(河川レンジャーの活動内容)</p> <p>第7条 河川レンジャーは、次の各号に掲げる活動を行うものとする。</p> <p>(1) 防災・減災、救援・救難の推進を図る活動 自分で守る・皆で守る・地域で守る取り組みの促進</p> <p>(2) 河川環境保全を図る活動</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 河川環境保全・再生の普及・啓発・学習・住民参加の促進</p> <p style="padding-left: 2em;">ロ 河川環境のモニタリング</p> <p style="padding-left: 2em;">ハ 水質改善のための啓発活動</p> <p>(3) 河川の適正な利用の推進を図る活動 河川環境の保全・再生の普及・啓発・学習</p> <p>(4) 節水意識の普及・啓発活動</p> <p>(5) 日常的な河川管理活動 河川管理についての理解・普及・啓発・学習・住民参加促進</p> <p>(6) 河川にかかわる歴史・文化の普及・啓発活動</p> <p>(7) 河川行政と地域・住民・住民団体のコーディネートを図る活動</p> <p>(8) 川づくり・まちづくりへの参画・支援活動</p> <p>(9) 木津川上流に関心を持ち愛護する人材を育成する活動</p>	<p>(河川レンジャーの活動内容)</p> <p>第7条 河川レンジャーは、次の各号に掲げる活動を行うものとする。</p> <p>(1) 防災・減災、救援・救難の推進を図る活動 自分で守る・皆で守る・地域で守る取り組みの促進</p> <p>(2) 河川環境保全を図る活動</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 河川環境保全・再生の普及・啓発・学習・住民参加の促進</p> <p style="padding-left: 2em;">ロ 河川環境のモニタリング</p> <p style="padding-left: 2em;">ハ 水質改善のための啓発活動</p> <p>(3) 河川の適正な利用の推進を図る活動 河川環境の保全・再生の普及・啓発・学習</p> <p>(4) 節水意識の普及・啓発活動</p> <p>(5) 日常的な河川管理活動 河川管理についての理解・普及・啓発・学習・住民参加促進</p> <p>(6) 河川にかかわる歴史・文化の普及・啓発活動</p> <p>(7) 河川行政と地域・住民・住民団体のコーディネートを図る活動</p> <p>(8) 川づくり・まちづくりへの参画・支援活動</p> <p>(9) 木津川上流に関心を持ち愛護する人材を育成する活動</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>(10) 河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報の発信</p> <p>2 河川レンジャーは、活動を通して前項に規定する活動のほか、河川レンジャーの人材発掘や河川レンジャーとしてふさわしい活動をレンジャー会議に提案することができるものとする。</p> <p>3 河川レンジャーは、河川レンジャーとしての活動中において、宗教活動、政治活動及び営利活動並びにこれら行為と紛らわしい行為を行ってはならない。</p>	<p>(10) 河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報の発信</p> <p>2 河川レンジャーは、活動を通して前項に規定する活動のほか、河川レンジャーの人材発掘や河川レンジャーとしてふさわしい活動をレンジャー会議に提案することができるものとする。</p> <p>3 河川レンジャーは、河川レンジャーとしての活動中において、宗教活動、政治活動及び営利活動並びにこれら行為と紛らわしい行為を行ってはならない。</p>		
<p>(河川レンジャーの活動範囲及び活動拠点)</p> <p>第8条 河川レンジャーの活動範囲は、木津川上流域とする。</p> <p>2 河川レンジャーの活動拠点は、伊賀上野出張所構内にある上野遊水地集中管理センター資料室内に置く。</p>	<p>(河川レンジャーの活動範囲及び活動拠点)</p> <p>第8条 河川レンジャーの活動範囲は、木津川上流域とする。</p> <p>2 河川レンジャーの活動拠点は、伊賀上野出張所構内にある上野遊水地集中管理センター資料室内に置く。</p>	<p>第3条 河川レンジャーは、上野遊水地集中管理センター資料室の使用にあたり、使用申請書を事務局に提出しなければならない。</p>	
<p>(河川レンジャーの定員)</p> <p>第9条 河川レンジャーの定員は、若干名とする。</p>	<p>(河川レンジャーの定員)</p> <p>第9条 河川レンジャーの定員は、若干名とする。</p>		
<p>(河川レンジャーの任期)</p> <p>第10条 河川レンジャーの任期は、任命された日から当該年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。</p>	<p>(河川レンジャーの任期)</p> <p>第10条 河川レンジャーの任期は、任命された日から当該年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。</p>	<p>第4条 事務局は、任命された河川レンジャーに対し、委嘱状を発行する。</p>	



運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
2 再任期間は再任された日から当該年度の 3 月 31 日までとする。	2 再任期間は再任された日から当該年度の 3 月 31 日までとする。		
<p>(河川レンジャーの応募要件)</p> <p>第 11 条 河川レンジャー応募者は、次の各号に掲げる要件を満たしていなければならない。</p> <p>(1) 木津川上流域で活動できる満 18 歳以上の者であること。</p> <p><u>(2) 過去 2 年以内に、木津川上流発見講座(以下「発見講座」という。)の受講を修了している者又は河川レンジャー活動に 2 回以上参加している者であること。</u></p> <p>(3) 地域固有の情報や知識に興味や関心があること。</p> <p>(4) 有能な河川レンジャーになれるよう日々熱意を持ち、自己研鑽や研修を惜しまないこと。</p> <p>(5) 公共施設の不正使用等の法令に違反する行為を行っていないこと。</p> <p>(6) 心身ともに健全で河川レンジャーとして活動できること。</p> <p>(7) 本運営要領(案)を遵守できること。</p> <p>2 河川レンジャー応募者は、前項各号に規定する要</p>	<p>(河川レンジャーの応募要件)</p> <p>第 11 条 河川レンジャー応募者は、次の各号に掲げる要件を満たしていなければならない。</p> <p>(1) 木津川上流域で活動できる満 18 歳以上の者であること。</p> <p><b>(2)</b> 地域固有の情報や知識に興味や関心があること。</p> <p><b>(3)</b> 有能な河川レンジャーになれるよう日々熱意を持ち、自己研鑽や研修を惜しまないこと。</p> <p><b>(4)</b> 公共施設の不正使用等の法令に違反する行為を行っていないこと。</p> <p><b>(5)</b> 心身ともに健全で河川レンジャーとして活動できること。</p> <p><b>(6)</b> 本運営要領(案)を遵守できること。</p> <p>2 河川レンジャー応募者は、前項各号に規定する要</p>	<p>第 5 条 事務局は、河川レンジャー応募者に対し、居住地、勤務地および在学地ならびに資格証明等に必要な書類の提出を求めることができるものとする。</p>	<p>河川レンジャーの応募要件の緩和に伴う改正</p> <p>号番号の繰り上げ</p> <p>号番号の繰り上げ</p> <p>号番号の繰り上げ</p> <p>号番号の繰り上げ</p> <p>号番号の繰り上げ</p>

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>件を満たしているほか、次の各号に掲げる知識、経験及び資格等を有していることが望ましい。</p> <p>(1) 解説、通訳、啓発に関する技術(インタープリテーション技術)</p> <p>(2) コーディネートに関する知識と技術</p> <p>(3) 緊急時対応に関する知識</p> <p>(4) 危険予知及び回避などの安全確保や、安全教育に関する知識</p> <p>(5) 環境保全やまちづくりなどの豊富な市民活動の経験</p> <p>(6) 地域のスポーツ活動指導や青少年育成などの豊富な経験</p> <p>(7) 郷土史への精通</p> <p>(8) 川や水に関する豊富な知識や実務経験</p> <p>(9) 川の指導者(初・中・上級)としての経験</p> <p>(10) 自然観察指導員の資格</p> <p>(11) 救急・救命法受講の経験</p>	<p>件を満たしているほか、次の各号に掲げる知識、経験及び資格等を有していることが望ましい。</p> <p>(1) 解説、通訳、啓発に関する技術(インタープリテーション技術)</p> <p>(2) コーディネートに関する知識と技術</p> <p>(3) 緊急時対応に関する知識</p> <p>(4) 危険予知及び回避などの安全確保や、安全教育に関する知識</p> <p>(5) 環境保全やまちづくりなどの豊富な市民活動の経験</p> <p>(6) 地域のスポーツ活動指導や青少年育成などの豊富な経験</p> <p>(7) 郷土史への精通</p> <p>(8) 川や水に関する豊富な知識や実務経験</p> <p>(9) 川の指導者(初・中・上級)としての経験</p> <p>(10) 自然観察指導員の資格</p> <p>(11) 救急・救命法受講の経験</p>		
<p>(河川レンジャー予定者の選考及び推薦)</p> <p>第 12 条 推薦委員会は、河川レンジャー応募者並びに再任を希望する河川レンジャー(以下、「再任希望者」という。)の中から河川レンジャーとしてふさわしい者(以下「河川レンジャー予定者」という。)を選考し、事務所に推薦する。</p>	<p>(河川レンジャー予定者の選考及び推薦)</p> <p>第 12 条 推薦委員会は、河川レンジャー応募者並びに再任を希望する河川レンジャー(以下、「再任希望者」という。)の中から河川レンジャーとしてふさわしい者(以下「河川レンジャー予定者」という。)を選考し、事務所に推薦する。</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>2 河川レンジャー応募者は、推薦委員会において河川レンジャーとして行いたい活動の発表(プレゼンテーション)を行わなければならない。</p> <p>3 再任希望者は、推薦委員会において当該年度に実施した活動の報告等を行わなければならない。</p>	<p>2 河川レンジャー応募者は、推薦委員会において河川レンジャーとして行いたい活動の発表(プレゼンテーション)を行わなければならない。</p> <p>3 再任希望者は、推薦委員会において当該年度に実施した活動の報告等を行わなければならない。</p>		
<p>(河川レンジャーの任命)</p> <p>第 13 条 事務所長は、前条第 1 項の推薦を受けたときは、河川レンジャー予定者を河川レンジャーとして任命できるものとする。</p>	<p>(河川レンジャーの任命)</p> <p>第 13 条 事務所長は、前条第 1 項の推薦を受けたときは、河川レンジャー予定者を河川レンジャーとして任命できるものとする。</p>		
<p>(河川レンジャーの解任及び辞任)</p> <p>第 14 条 推薦委員会は、河川レンジャーが次の各号に掲げる内容のいずれかに該当するときは、当該河川レンジャーを解任するための提案を事務所長に対して行うことができるものとする。</p> <p>(1) 活動の意志がないと認められるとき</p> <p>(2) 心身故障のため、活動の執行に堪えないと認められるとき</p> <p>(3) 公序良俗に反し、河川レンジャーとしてふさ</p>	<p>(河川レンジャーの解任及び辞任)</p> <p>第 14 条 推薦委員会は、河川レンジャーが次の各号に掲げる内容のいずれかに該当するときは、当該河川レンジャーを解任するための提案を事務所長に対して行うことができるものとする。</p> <p>(1) 活動の意志がないと認められるとき</p> <p>(2) 心身故障のため、活動の執行に堪えないと認められるとき</p> <p>(3) 公序良俗に反し、河川レンジャーとしてふさ</p>	<p>第 6 条 「活動の意志がない」とは、例えば「数ヶ月間、活動実績がない」等、運営要領(案)第 15 条第 2 項及び第 3 項に規定する年間活動計画に基づく活動の遂行が不可能と判断された場合とする。</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>わしくない行為があると認められるとき</p> <p>(4) 活動中において宗教活動、政治活動、営利活動及びこれら行為と紛らわしい行為があると認められるとき</p> <p>(5) 公共施設の不正使用等の法令に違反する行為があると認められるとき</p> <p>(6) その他、本運営要領(案)に違反したと認められるとき</p> <p>2 事務所長は、前項の提案を受け、解任の理由が妥当であると認められるときは、河川レンジャーを解任する。</p> <p>3 推薦委員会は、河川レンジャーから辞任の申し出を受けたときは事務所長に報告し、事務所長は当該河川レンジャーの辞任を了承する。</p> <p>4 事務所長は、第2項の解任又は第3項の辞任の了承を行ったときは、<u>懇談会及び</u>レンジャー会議に報告する。</p> <p>5 推薦委員会は、第1項の提案を行うときは、事前に当該河川レンジャーに対して不服申し立てによる弁明の機会を与えなければならない。</p>	<p>わしくない行為があると認められるとき</p> <p>(4) 活動中において宗教活動、政治活動、営利活動及びこれら行為と紛らわしい行為があると認められるとき</p> <p>(5) 公共施設の不正使用等の法令に違反する行為があると認められるとき</p> <p>(6) その他、本運営要領(案)に違反したと認められるとき</p> <p>2 事務所長は、前項の提案を受け、解任の理由が妥当であると認められるときは、河川レンジャーを解任する。</p> <p>3 推薦委員会は、河川レンジャーから辞任の申し出を受けたときは事務所長に報告し、事務所長は当該河川レンジャーの辞任を了承する。</p> <p>4 事務所長は、第2項の解任又は第3項の辞任の了承を行ったときは、レンジャー会議に報告する。</p> <p>5 推薦委員会は、第1項の提案を行うときは、事前に当該河川レンジャーに対して不服申し立てによる弁明の機会を与えなければならない。</p>		<p>レンジャー会議による主体的な運営を推進していくための改正</p>
<p>(年間活動計画の作成・提出・決定)</p> <p>第15条 河川レンジャーは、年度ごとの年間活動計画(案)を作成し、活動前年度中にレンジャー会議に</p>	<p>(年間活動計画の作成・提出・決定)</p> <p>第15条 河川レンジャーは、年度ごとの年間活動計画(案)を作成し、活動前年度中にレンジャー会議に</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
<p>提出しなければならない。</p> <p>2 レンジャー会議は、前項の年間活動計画(案)の内容を審議し、河川レンジャーの活動としてふさわしいと認められるときは、当該案を年間活動計画として事務所に報告する。</p> <p>3 河川レンジャーは、前項の年間活動計画を変更できるものとする。ただし、変更が軽微な場合は事務局の承諾によるものとし、著しい変更の場合はレンジャー会議の承諾を得なければならない。</p>	<p>提出しなければならない。</p> <p>2 レンジャー会議は、前項の年間活動計画(案)の内容を審議し、河川レンジャーの活動としてふさわしいと認められるときは、当該案を年間活動計画として事務所に報告する。</p> <p>3 河川レンジャーは、前項の年間活動計画を変更できるものとする。ただし、変更が軽微な場合は事務局の承諾によるものとし、著しい変更の場合はレンジャー会議の承諾を得なければならない。</p>		
<p>(活動報告)</p> <p>第 16 条 河川レンジャーは、活動日誌を事務局に提出するとともに、活動の内容、経過及び結果等をレンジャー会議において報告しなければならない。</p>	<p>(活動報告)</p> <p>第 16 条 河川レンジャーは、活動日誌を事務局に提出するとともに、活動の内容、経過及び結果等をレンジャー会議において報告しなければならない。</p>	<p>第 7 条 活動日誌の種類は、活動日誌(計画)、活動日誌(報告)、活動日誌(レポート)とする。</p> <p>2 活動日誌(計画)は、運営要領(案)第 15 条第 2 項及び第 3 項に規定する年間活動計画に基づく活動の具体的な計画について、活動 2 週間前までに事務局へ提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>3 活動日誌(報告)は、活動日誌(計画)に基づき実施された活動について、活動翌月 10 日までに事務局に提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>4 活動日誌(レポート)は、河川に関する</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
		<p>日常的な発見や異常等について記録し、事務局に提出するものとする。</p>	
<p>(河川レンジャーの報酬等)</p> <p>第 17 条 河川レンジャーの報酬は月払いとし、河川レンジャーとしてふさわしい活動内容に対して支給するものとする。</p> <p>2 河川レンジャーの報酬月額、別に定める細則の規定によるものとする。ただし、活動内容に応じて報酬月額の増減を行う場合がある。</p> <p>3 交通費等は、細則の規定によるものとする。</p>	<p>(河川レンジャーの報酬等)</p> <p>第 17 条 河川レンジャーの報酬は月払いとし、河川レンジャーとしてふさわしい活動内容に対して支給するものとする。</p> <p>2 河川レンジャーの報酬月額は、別に定める細則の規定によるものとする。ただし、活動内容に応じて報酬月額の増減を行う場合がある。</p> <p>3 交通費等は、細則の規定によるものとする。</p>	<p>第 8 条 事務局は、細則第 7 条第 3 項に規定する活動日誌(報告)により、報酬の支給の可否を決定する。</p> <p>2 報酬は活動全体を包括して月払いとし、月遅れ支給とする。</p> <p>第 9 条 報酬月額は、河川レンジャーを国土交通省が定める「技師 C=行政職(-)4~5 級相当(係長相当)」と位置付け、「設計業務委託等技術者単価」を基に、月 4 日間 1 日 4 時間を基本とする。</p> <p>2 活動時間に 0.5 時間未満の端数を生じた場合は切り捨てるものとし、報酬月額は予算の制約上、適宜見直せるものとする。</p> <p>第 10 条 交通費等は、国土交通省「設計業務等標準積算基準書(参考資料)」に準ずるものとする。</p> <p>2 積算上の基地は、伊賀もしくは名張市</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
<p>4 河川レンジャーとしての活動が月間中にない場合は、報酬を支給しない。</p> <p>5 河川レンジャーは、第 11 条に規定する応募要件に関して虚偽の申告が認められるとき又は第 14 条第 1 項第 3 号から第 6 号までに規定する解任事項が認められるときは、その行為のあった月まで遡り、報酬を全額返却しなければならない。</p>	<p>4 河川レンジャーとしての活動が月間中にない場合は、報酬を支給しない。</p> <p>5 河川レンジャーは、第 11 条に規定する応募要件に関して虚偽の申告が認められるとき又は第 14 条第 1 項第 3 号から第 6 号までに規定する解任事項が認められるときは、その行為のあった月まで遡り、報酬を全額返却しなければならない。</p>	<p>役所とし、木津川上流管内以外で行動する場合は、事前に事務局の承諾を得なければならない。ただし、上記によりがたい場合は、事務局と協議のうえ決定するものとする。</p>	
<p>(経費及び報酬等の支払い)</p> <p>第 18 条 第 4 条第 1 項に規定する経費、前条第 2 項に規定する報酬及び前条第 3 項に規定する交通費等は、事務局が河川レンジャーに支払うものとする。</p> <p>2 河川レンジャーは、前項の支払いに当たっては、事務局が指定する様式に必要な事項を記載し、事務局に請求しなければならない。</p>	<p>(経費及び報酬等の支払い)</p> <p>第 18 条 第 4 条第 1 項に規定する経費、前条第 2 項に規定する報酬及び前条第 3 項に規定する交通費等は、事務局が河川レンジャーに支払うものとする。</p> <p>2 河川レンジャーは、前項の支払いに当たっては、事務局が指定する様式に必要な事項を記載し、事務局に請求しなければならない。</p>	<p>第 11 条 事務局は、請求内容の妥当性を確認し、報酬及び交通費等を支払うものとする。</p>	
<p>(保険の加入)</p> <p>第 19 条 河川レンジャーは、河川レンジャーとしての活動並びに第 15 条第 2 項及び第 3 項に規定する</p>	<p>(保険の加入)</p> <p>第 19 条 河川レンジャーは、河川レンジャーとしての活動並びに第 15 条第 2 項及び第 3 項に規定する</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>年間活動計画に基づく活動を行うに当たっては、事前に、本人及び当該活動参加者を対象とした傷害保険等に参加しなければならない。</p> <p>2 前項の傷害保険等への加入手続きは、事務局が行うものとする。</p>	<p>年間活動計画に基づく活動を行うに当たっては、事前に、本人及び当該活動参加者を対象とした傷害保険等に参加しなければならない。</p> <p>2 前項の傷害保険等への加入手続きは、事務局が行うものとする。</p>		
<p>(事故の責任)</p> <p>第 20 条 河川レンジャーが、河川レンジャーとしての活動並びに第 15 条第 2 項及び第 3 項に規定する年間活動計画に基づく活動中に起こした第三者及び本人に対する事故の責任は、法律上適正な責任の範囲内で事務局が負うものとする。</p>	<p>(事故の責任)</p> <p>第 20 条 河川レンジャーが、河川レンジャーとしての活動並びに第 15 条第 2 項及び第 3 項に規定する年間活動計画に基づく活動中に起こした第三者及び本人に対する事故の責任は、法律上適正な責任の範囲内で事務局が負うものとする。</p>		
<p>(河川レンジャーへの支援)</p> <p>第 21 条 事務所長は、河川レンジャーの活動範囲や機会の拡大、活動に必要な物的及び人的支援、資質向上のための講習等の参加支援、民間交流の拡大、施設の利用等、河川レンジャーを支援する。</p>	<p>(河川レンジャーへの支援)</p> <p>第 21 条 事務所長は、河川レンジャーの活動範囲や機会の拡大、活動に必要な物的及び人的支援、資質向上のための講習等の参加支援、民間交流の拡大、施設の利用等、河川レンジャーを支援する。</p>		
<p><b>第 3 章 木津川上流管内河川レンジャー懇談会</b></p> <p>(懇談会の役割)</p> <p>第 22 条 懇談会は、<u>レンジャー会議及び事務局からの報告及び提案を受けた事項に関する審議を行い、河川レンジャーのよりよい活動に向けて、その制度、支援のための方策、河川レンジャーのあり方、役割及び運営計画等について提言を行うことを</u></p>	<p><b>第 3 章 木津川上流管内河川レンジャー懇談会</b></p> <p>(懇談会の役割)</p> <p>第 22 条 懇談会は、<u>河川レンジャー活動のよりよい運営のために、制度、運営計画、支援方策、河川レンジャーのあり方及び役割等について、指導・助言を行うことを役割とする。</u></p>		<p>レンジャー会議による主体的な運営を推進していくための改正</p>



運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
役割とする。			
<p>(懇談会の構成)</p> <p>第 23 条 懇談会は、<u>会員及びオブザーバー</u>をもって構成する。</p> <p><u>2 会員は次の各号のとおりとする。</u></p> <p>(1) 学識経験者及び見識者 若干名</p> <p>(2) レンジャー会議座長</p> <p>(3) 三重県 伊賀建設事務所長</p> <p>(4) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所長</p> <p>(5) 伊賀市 建設部長</p> <p>(6) 名張市 都市整備部長</p> <p>(7) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長</p> <p><u>3 オブザーバーは次の各号のとおりとする。</u></p> <p><u>(1) 河川レンジャー</u></p> <p><u>(2) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 管理課長</u></p> <p><u>(3) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所長</u></p> <p><u>(4) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 名張川出張所長</u></p>	<p>(懇談会の構成)</p> <p>第 23 条 懇談会は、<u>次の各号の会員</u>をもって構成する。</p> <p>(1) 学識経験者及び見識者 若干名</p> <p>(2) レンジャー会議座長</p> <p>(3) 三重県 伊賀建設事務所長</p> <p>(4) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所長</p> <p>(5) 伊賀市 建設部長</p> <p>(6) 名張市 都市整備部長</p> <p>(7) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長</p>		<p>レンジャー会議による主体的な運営を推進していくための改正</p>
(懇談会の組織)	(懇談会の組織)		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>第 24 条 懇談会の会員の委嘱は、前条第 2 項各号の会員に対して、事務局が行うものとする。</p> <p>2 会員の任期は、委嘱された日から当該年度の 3 月 31 日までとする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>3 補欠のため又は増員によって委嘱する会員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 懇談会に会務を総務する会長を置き、会員の互選によりこれを定める。</p> <p>5 懇談会に副会長を置き、会長の指名によりこれを定める。</p>	<p>第 24 条 懇談会の会員の委嘱は、前条第 2 項各号の会員に対して、事務局が行うものとする。</p> <p>2 会員の任期は、委嘱された日から当該年度の 3 月 31 日までとする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>3 補欠のため又は増員によって委嘱する会員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 懇談会に会務を総務する会長を置き、会員の互選によりこれを定める。</p> <p>5 懇談会に副会長を置き、会長の指名によりこれを定める。</p>	<p>第 12 条 事務局は、各会員に対し、委嘱状を発行する。</p>	
<p>(懇談会の運営)</p> <p>第 25 条 懇談会は、必要に応じて開催する。</p> <p>2 懇談会は、会員総数の過半数の出席をもって成立し、出席会員の過半数をもって議決する。</p> <p>3 会長に事故があるときは、副会長がその職務を代行する。</p> <p>4 第 23 条第 2 項第 1 号を除く会員については、懇談会への代理出席を認めるものとする。</p> <p>5 <u>会長は、必要があると認めるときは、懇談会に係者の出席を求め、審議に参考となる説明又は意見を聴くことができるものとする。</u></p>	<p>(懇談会の運営)</p> <p>第 25 条 懇談会は、必要に応じて開催する。</p> <p>2 懇談会は、会員総数の過半数の出席をもって成立し、出席会員の過半数をもって議決する。</p> <p>3 会長に事故があるときは、副会長がその職務を代行する。</p> <p>4 第 23 条第 2 項第 1 号を除く会員については、懇談会への代理出席を認めるものとする。</p>		<p>レンジャー会議による主体的な運営を推進していくための改正</p>
<p>(懇談会の情報公開)</p>	<p>(懇談会の情報公開)</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>第26条 懇談会は、原則として、公開で行う。</p> <p>2 事務所長は、懇談会を開催するに当たっては、事前に木津川上流河川事務所のホームページ等に掲載の案内を掲示するものとし、懇談会の開催後には、先のホームページに議事要旨を掲載する。</p>	<p>第26条 懇談会は、原則として、公開で行う。</p> <p>2 事務所長は、懇談会を開催するに当たっては、事前に木津川上流河川事務所のホームページ等に掲載の案内を掲示するものとし、懇談会の開催後には、先のホームページに議事要旨を掲載する。</p>		
<p>(懇談会の開催)</p> <p>第27条 懇談会の開催は、事務所長が招集する。</p> <p>2 事務局は、原則として、懇談会を開催する日の2週間前までに、各会員に対し、開催日時、開催場所及び議事内容を記載した懇談会開催の通知をしなければならない。</p> <p>3 事務局は、原則として、懇談会資料を懇談会の開催日までに、各会員に対し、送付しなければならない。</p>	<p>(懇談会の開催)</p> <p>第27条 懇談会の開催は、<u>会長からの提案を受けて、</u>事務所長が招集する。</p> <p>2 事務局は、原則として、懇談会を開催する日の2週間前までに、各会員に対し、開催日時、開催場所及び議事内容を記載した懇談会開催の通知をしなければならない。</p> <p>3 事務局は、原則として、懇談会資料を懇談会の開催日までに、各会員に対し、送付しなければならない。</p>		<p>レンジャー会議による主体的な運営を推進していくための改正</p>
<p><b>第4章 木津川上流管内河川レンジャー会議</b></p> <p>(レンジャー会議の役割)</p> <p>第28条 レンジャーマー会議は、<u>河川レンジャーを運営する機関として、地域の特性に応じた河川レンジャーのあり方の検討や、河川レンジャーの年間活動計画、運営計画並びに懇談会への報告事項について審議するほか、河川レンジャーに対して助言や支援等を行うことを役割とする。</u></p>	<p><b>第4章 木津川上流管内河川レンジャー会議</b></p> <p>(レンジャー会議の役割)</p> <p>第28条 レンジャーマー会議は、<u>河川レンジャー活動を主体的に運営する機関として、次の各号に掲げる事項を討議する。</u></p> <p>(1) <u>河川レンジャーの年間活動計画及び運営計画の決定</u></p> <p>(2) <u>河川レンジャーの活動報告及び運営報告</u></p>		<p>レンジャー会議による主体的な運営を推進していくための改正</p>

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
	<p><u>(3) 河川レンジャーのあり方及び役割</u></p> <p><u>(4) 支援方策及び地域連携方策</u></p> <p><u>(5) 河川レンジャーの知識、技能及び能力の向上に資する取り組み</u></p> <p><u>(6) 円滑な運営に資する仕組みや制度</u></p> <p><u>(7) 運営要領(案)等の各種基準の制定及び改正提案</u></p> <p><u>(8) 懇談会への報告事項</u></p>	<p>第13条 懇談会への報告は、各会員に対して事務局より書面で行う。</p>	<p>(細則) 懇談会への報告方法の追加</p>
<p>(レンジャー会議の構成)</p> <p>第29条 レンジャー会議は、次の各号の委員をもって構成する。</p> <p>(1) 河川レンジャー 全員</p> <p>(2) 三重県 伊賀建設事務所 事業推進室 流域課長</p> <p>(3) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 管理課長</p> <p>(4) 伊賀市 建設部 公共事業対策室長</p> <p>(5) 名張市 都市整備部 都市整備政策室長</p> <p>(6) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 管理課長</p> <p>(7) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所長</p>	<p>(レンジャー会議の構成)</p> <p>第29条 レンジャー会議は、次の各号の委員をもって構成する。</p> <p>(1) 河川レンジャー 全員</p> <p>(2) 三重県 伊賀建設事務所 事業推進室 流域課長</p> <p>(3) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 管理課長</p> <p>(4) 伊賀市 建設部 公共事業対策室長</p> <p>(5) 名張市 都市整備部 都市整備政策室長</p> <p>(6) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 管理課長</p> <p>(7) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所長</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>(8) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 名張川出張所長</p> <p>(9) その他必要に応じて 若干名</p>	<p>(8) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 名張川出張所長</p> <p>(9) その他必要に応じて 若干名</p>		
<p>(レンジャー会議の組織)</p> <p>第30条 レンジャー会議の委員の委嘱は、前条第1項各号の委員に対して、事務局が行うものとする。</p> <p>2 委員の任期は、委嘱された日から当該年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>3 補欠のため又は増員によって委嘱する委員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 レンジャー会議に会務を総務する議長を置き、委員の互選によりこれを定める。</p> <p>5 レンジャー会議の議事進行のため、河川レンジャーの中から座長を選任できるものとし、委員の互選によりこれを定める。</p>	<p>(レンジャー会議の組織)</p> <p>第30条 レンジャー会議の委員の委嘱は、前条第1項各号の委員に対して、事務局が行うものとする。</p> <p>2 委員の任期は、委嘱された日から当該年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>3 補欠のため又は増員によって委嘱する委員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 レンジャー会議に会務を総務する議長を置き、委員の互選によりこれを定める。</p> <p>5 レンジャー会議の議事進行のため、河川レンジャーの中から座長を選任できるものとし、委員の互選によりこれを定める。</p>	<p>第14条 事務局は、各委員に対し、委嘱状を発行する。</p>	<p>(細則)条番号の繰り上げ</p>
<p>(レンジャー会議の運営)</p> <p>第31条 レンジャー会議は、必要に応じて開催する。</p> <p>2 レンジャー会議は、委員総数の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。</p> <p>3 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。</p> <p>4 第29条第1項第1号及び第9号を除く委員につい</p>	<p>(レンジャー会議の運営)</p> <p>第31条 レンジャー会議は、必要に応じて開催する。</p> <p>2 レンジャー会議は、委員総数の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。</p> <p>3 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。</p> <p>4 第29条第1項第1号及び第9号を除く委員につい</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
<p>ては、レンジャー会議への代理出席を認めるものとする。</p> <p>5 座長は、懇談会に出席するものとする。ただし、出席が困難なときは、座長があらかじめ指名する河川レンジャーが代理出席するものとする。</p> <p>6 議長並びに座長は、推薦委員会及び第 37 条第 5 項に規定する推薦委員会が設置する意見を聴取する場に出席するものとする。ただし、出席が困難なときは、議長並びに座長があらかじめ指名する委員が代理出席するものとする。</p>	<p>ては、レンジャー会議への代理出席を認めるものとする。</p> <p>5 座長は、懇談会に出席するものとする。ただし、出席が困難なときは、座長があらかじめ指名する河川レンジャーが代理出席するものとする。</p> <p>6 議長並びに座長は、推薦委員会及び第 37 条第 5 項に規定する推薦委員会が設置する意見を聴取する場に出席するものとする。ただし、出席が困難なときは、議長並びに座長があらかじめ指名する委員が代理出席するものとする。</p> <p><u>7 座長は、必要があると認めるときは、レンジャー会議に関係者の出席を求め、討議に参考となる説明又は意見を聴くことができるものとする。</u></p>		<p>レンジャー会議による主体的な運営を推進していくための改正</p>
<p>(レンジャー会議の情報公開)</p> <p>第 32 条 レンジャー会議は、原則として、公開で行う。</p> <p>2 事務所長は、レンジャー会議を開催するに当たっては、事前に木津川上流河川事務所のホームページ等に開催の案内を掲示するものとし、レンジャー会議の開催後には、先のホームページに議事要旨を掲載する。</p>	<p>(レンジャー会議の情報公開)</p> <p>第 32 条 レンジャー会議は、原則として、公開で行う。</p> <p>2 事務所長は、レンジャー会議を開催するに当たっては、事前に木津川上流河川事務所のホームページ等に開催の案内を掲示するものとし、レンジャー会議の開催後には、先のホームページに議事要旨を掲載する。</p>		
<p>(レンジャー会議の開催)</p> <p>第 33 条 レンジャー会議の開催は、議長が招集する。</p> <p>2 事務局は、原則として、レンジャー会議を開催す</p>	<p>(レンジャー会議の開催)</p> <p>第 33 条 レンジャー会議の開催は、議長が招集する。</p> <p>2 事務局は、原則として、レンジャー会議を開催す</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>る日の2週間前までに、各委員に対し、開催日時、開催場所及び議事内容を記載したレンジャー会議開催の通知をしなければならない。</p> <p>3 事務局は、原則として、レンジャー会議資料をレンジャー会議の開催日までに、各委員に対し、送付しなければならない。</p>	<p>る日の2週間前までに、各委員に対し、開催日時、開催場所及び議事内容を記載したレンジャー会議開催の通知をしなければならない。</p> <p>3 事務局は、原則として、レンジャー会議資料をレンジャー会議の開催日までに、各委員に対し、送付しなければならない。</p>		
<p><b>第5章 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会</b> (推薦委員会の役割)</p> <p>第34条 推薦委員会は、第12条に規定する河川レンジャー予定者の選考及び推薦、第14条第1項に規定する河川レンジャーの解任に関する提案並びに第14条第3項に規定する河川レンジャーの辞任に関する報告を行うことを役割とする。</p> <p>2 河川レンジャー予定者の選考に当たっては、別に定める「木津川上流管内河川レンジャー審査要領(案)」(以下、「審査要領(案)」という。)に基づき、公平中立な立場で審査を行う。</p>	<p><b>第5章 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会</b> (推薦委員会の役割)</p> <p>第34条 推薦委員会は、第12条に規定する河川レンジャー予定者の選考及び推薦、第14条第1項に規定する河川レンジャーの解任に関する提案並びに第14条第3項に規定する河川レンジャーの辞任に関する報告を行うことを役割とする。</p> <p>2 河川レンジャー予定者の選考に当たっては、別に定める「木津川上流管内河川レンジャー審査要領(案)」(以下、「審査要領(案)」という。)に基づき、公平中立な立場で審査を行う。</p>		
<p>(推薦委員会の構成)</p> <p>第35条 推薦委員会は、委員及びオブザーバーをもって構成する。</p> <p>2 委員は次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) 学識経験者及び見識者 若干名</p> <p>(2) 三重県 伊賀建設事務所 副所長</p>	<p>(推薦委員会の構成)</p> <p>第35条 推薦委員会は、委員及びオブザーバーをもって構成する。</p> <p>2 委員は次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) 学識経験者及び見識者 若干名</p> <p>(2) 三重県 伊賀建設事務所 副所長</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>(3) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長</p> <p>3 オブザーバーは次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) 伊賀市 建設部 公共事業対策室長</p> <p>(2) 名張市 都市整備部 都市整備政策室長</p> <p>(3) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長</p> <p>(4) レンジャー会議議長</p>	<p>(3) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長</p> <p>3 オブザーバーは次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) 伊賀市 建設部 公共事業対策室長</p> <p>(2) 名張市 都市整備部 都市整備政策室長</p> <p>(3) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長</p> <p>(4) レンジャー会議議長</p>		
<p>(推薦委員会の組織)</p> <p>第 36 条 推薦委員会の委員の委嘱は、前条第 2 項各号の委員に対して、事務局が行うものとする。</p> <p>2 委員の任期は、委嘱された日から当該年度の 3 月 31 日までとする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>3 補欠のため又は増員によって委嘱する委員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 推薦委員会に会務を総務する委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。</p> <p>5 推薦委員会に副委員長を置き、委員長の指名によりこれを定める。</p>	<p>(推薦委員会の組織)</p> <p>第 36 条 推薦委員会の委員の委嘱は、前条第 2 項各号の委員に対して、事務局が行うものとする。</p> <p>2 委員の任期は、委嘱された日から当該年度の 3 月 31 日までとする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>3 補欠のため又は増員によって委嘱する委員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 推薦委員会に会務を総務する委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。</p> <p>5 推薦委員会に副委員長を置き、委員長の指名によりこれを定める。</p>	<p>第 <b>15</b> 条 事務局は、各委員に対し、委嘱状を発行する。</p>	<p>(細則)条番号の繰り上げ</p>
<p>(推薦委員会の運営)</p> <p>第 37 条 推薦委員会は、必要に応じて開催する。</p> <p>2 推薦委員会は、委員総数の過半数の出席をもって</p>	<p>(推薦委員会の運営)</p> <p>第 37 条 推薦委員会は、必要に応じて開催する。</p> <p>2 推薦委員会は、委員総数の過半数の出席をもって</p>		



運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>成立し、出席委員の過半数をもって議決する。</p> <p>3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。</p> <p>4 第35条第2項第1号を除く委員については、推薦委員会への代理出席を認めるものとする。</p> <p>5 推薦委員会は、審査のために参考となる意見を聴取する場を設置することができるものとする。</p>	<p>成立し、出席委員の過半数をもって議決する。</p> <p>3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。</p> <p>4 第35条第2項第1号を除く委員については、推薦委員会への代理出席を認めるものとする。</p> <p>5 推薦委員会は、審査のために参考となる意見を聴取する場を設置することができるものとする。</p>		
<p>(推薦委員会の情報公開及び守秘義務)</p> <p>第38条 推薦委員会は、非公開で行う。ただし、審査要領(案)に基づき、河川レンジャー応募者並びに再任希望者のプライバシーを害する恐れのある情報を除き、審査結果の要旨を木津川上流河川事務所ホームページ等で公開する。</p> <p>2 推薦委員会は、河川レンジャー応募者並びに再任希望者に対し、審査結果を文書で通知する。</p> <p>3 委員、オブザーバー及び事務局は、推薦委員会に関する情報について、守秘義務を負うものとする。</p> <p>4 前条第5項に規定する意見を聴取する場の公開は、推薦委員会において決定する。</p>	<p>(推薦委員会の情報公開及び守秘義務)</p> <p>第38条 推薦委員会は、非公開で行う。ただし、審査要領(案)に基づき、河川レンジャー応募者並びに再任希望者のプライバシーを害する恐れのある情報を除き、審査結果の要旨を木津川上流河川事務所ホームページ等で公開する。</p> <p>2 推薦委員会は、河川レンジャー応募者並びに再任希望者に対し、審査結果を文書で通知する。</p> <p>3 委員、オブザーバー及び事務局は、推薦委員会に関する情報について、守秘義務を負うものとする。</p> <p>4 前条第5項に規定する意見を聴取する場の公開は、推薦委員会において決定する。</p>		
<p>(推薦委員会にかかわる情報開示)</p> <p>第39条 推薦委員会の河川レンジャー予定者の選考に関する情報の開示を請求されたときは、「国土交</p>	<p>(推薦委員会にかかわる情報開示)</p> <p>第39条 推薦委員会の河川レンジャー予定者の選考に関する情報の開示を請求されたときは、「国土交</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>通省所管分野における個人情報保護に関するガイドライン」に基づき、近畿地方整備局木津川上流河川事務所より開示する。</p>	<p>通省所管分野における個人情報保護に関するガイドライン」に基づき、近畿地方整備局木津川上流河川事務所より開示する</p>		
<p>(推薦委員会の開催)</p> <p>第40条 推薦委員会の開催は、委員長が招集する。</p> <p>2 事務局は、原則として、推薦委員会を開催する日の2週間前までに、各委員に対し、開催日時及び開催場所を通知しなければならない。</p>	<p>(推薦委員会の開催)</p> <p>第40条 推薦委員会の開催は、委員長が招集する。</p> <p>2 事務局は、原則として、推薦委員会を開催する日の2週間前までに、各委員に対し、開催日時及び開催場所を通知しなければならない。</p>		
<p><b>第6章 木津川上流管内河川レンジャー講座</b></p> <p>(講座の構成)</p> <p>第41条 講座は、<u>発見講座及び河川レンジャー養成講座(以下、「養成講座」という。)</u>で構成する。</p> <p>2 <u>発見講座は、木津川上流と河川レンジャーに関する基礎的知識及び共通認識を得るための講座とする。</u></p> <p>3 <u>養成講座は、木津川上流に関する高度な知識及び河川レンジャーの活動技術を得るための講座とする。</u></p>			<p>河川レンジャーの応募要件の緩和に伴う改正</p>
<p>(講座の受講要件)</p> <p>第42条 <u>発見講座の受講者は、18歳以上の者であって、講座開催の公募により受講を受け付けた者又は地元行政機関、自治会及び河川管理者からの紹介を受けた者とする。</u></p>			

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <b>改正案</b>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <b>改正理由</b>
<p>2 <u>養成講座の受講者は、第 13 条により河川レンジャーとして任命された者とする。ただし、再任者は除く。</u></p>			
<p>(講座の運営)</p> <p>第 43 条 <u>講座は、原則として、年 1 回の開催とする。</u></p> <p><u>ただし、受講希望者数等により回数を増減できるものとする。</u></p> <p>2 <u>講座の講師は、講義内容及び実習内容に応じて事務局が選任するものとする。</u></p>			
<p>(講座の開催)</p> <p>第 44 条 <u>講座は、事務局が開催するものとする。</u></p> <p>2 <u>事務局は、講座の開催に当たっては、開催日時、開催場所及び講座内容の広報を行わなければならない。</u></p>			
<p><b>第 7 章 雑則</b></p> <p>(細則)</p> <p>第 45 条 事務所長は、本要領(案)に基づき、次の各号に掲げる細則等を定めることができるものとする。</p> <p>(1) 木津川上流管内河川レンジャー運営要領(案)細則</p> <p>(2) 木津川上流管内河川レンジャー審査要領(案)</p>	<p><b>第 6 章 雑則</b></p> <p>(細則)</p> <p>第 41 条 事務所長は、本要領(案)に基づき、次の各号に掲げる細則等を定めることができるものとする。</p> <p>(1) 木津川上流管内河川レンジャー運営要領(案)細則</p> <p>(2) 木津川上流管内河川レンジャー審査要領(案)</p>		<p>章番号の繰り上げ</p> <p>条番号の繰り上げ</p>

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
<p>(運営要領(案)の改正)</p> <p>第 46 条 本運営要領(案)を改正するときは、<u>懇談会</u>からの提案を受けて事務所長が行う。</p>	<p>(運営要領(案)の改正)</p> <p>第 42 条 本運営要領(案)を改正するときは、<u>レンジャー会議</u>からの提案を受けて事務所長が行う。</p>	<p>(細則(案)の改正)</p> <p>第 16 条 この細則(案)を改正するときは、事務局が行う。</p> <p>(用語の意義)</p> <p>第 17 条 この運営要領(案)において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1)公共施設 国、県、市の管理する施設をいう。</p> <p>(2)川の指導者(初・中・上級) 「特定非営利活動法人川に学ぶ体験活動協議会で認定された者」等をいう。</p> <p>(3)川づくり 例えば「本来の河川環境を活かす川づくり」等をいう。</p> <p>(4)まちづくり 例えば「地域で育てて地域を育てる活動」等をいう。</p>	<p>レンジャー会議による主体的な運営を推進していくための改正</p> <p>条番号の繰り上げ</p> <p>(細則)条番号の繰り上げ</p> <p>(細則)条番号の繰り上げ</p>
<p><b>附則</b></p> <p>1. 本運営要領(案)は、平成 20 年 3 月 4 日から施行する。</p>	<p><b>附則</b></p> <p>1. 本運営要領(案)は、平成 20 年 3 月 4 日から施行する。</p>	<p><b>附則</b></p> <p>1. この細則(案)は、平成 21 年 7 月 17 日から施行する。</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
改正 平成 20 年 9 月 5 日 平成 21 年 7 月 8 日 平成 23 年 2 月 28 日 平成 23 年 8 月 22 日 平成 24 年 6 月 11 日	改正 平成 20 年 9 月 5 日 平成 21 年 7 月 8 日 平成 23 年 2 月 28 日 平成 23 年 8 月 22 日 平成 24 年 6 月 11 日 <u>平成 25 年 7 月 31 日</u>	改正 平成 23 年 2 月 28 日 平成 23 年 8 月 22 日 <u>平成 25 年 7 月 31 日</u>	

# 木津川上流管内河川レンジャー機構図

木津川上流管内河川レンジャー懇談会		
会員	学識経験者及び見識者 若干名	
	レンジャー会議座長	
	自治体等	三重県 伊賀建設事務所長
		独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所長
		伊賀市 建設部長
名張市 都市整備部長		
国 交 省	近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長	
オブザーバー	河川レンジャー	
	国 交 省	近畿地方整備局 管理課長 木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所長 名張川出張所長

木津川上流管内河川レンジャー会議		
委員	河川レンジャー 全員	
	自治体等	三重県 伊賀建設事務所 事業推進室 流域課長
		独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 管理課長
		伊賀市 建設部 公共事業対策室長
		名張市 都市整備部 都市整備政策室長
国 交 省	近畿地方整備局 管理課長 木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所長 名張川出張所長	

河川レンジャーの活動計画、活動報告、運営計画等の報告

制度、支援のための方策、河川レンジャーのあり方、役割、運営計画等の提言

木津川上流管内河川レンジャー事務局	
事務局	国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 管理課事務所長が指定した者

(開催予定 1回/年)

木津川上流管内河川レンジャー講座	
------------------	--

木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会		
委員	学識経験者及び見識者 若干名	
	自治体等	三重県 伊賀建設事務所 副所長
		独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長
	自治体等	伊賀市 建設部 公共事業対策室長
		名張市 都市整備部 都市整備政策室長
国 交 省	近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長	
オブザーバー	レンジャー会議議長	

[次第に戻る](#)

## 平成25年度 募集要領について

[次第に戻る](#)

# 木津川上流管内河川レンジャーの募集

『河川レンジャー』になって川で活動していただける方を支援します！！

1. 活動内容	<p>●河川レンジャーは、住民の方々が河川に関心を持つような活動を行うことを役割としており、主な活動内容は以下のとおりです。</p> <p>◆主な活動内容(事例) 『水防・防災学習』『野鳥観察会』『歴史・郷土・文化学習』『川下り・カヌー体験』 『ダム見学会』『水生生物調査』『源流探検』『特定外来生物調査』『情報交換会』等</p> <p>※現在は、三重県伊賀市・名張市内を中心として活動しています。</p> <p>◆活動範囲 木津川上流域</p> <p>※活動の実施にあたっては、ご自身で活動内容を計画していただき、内容審査による承認を受けて実施していただきます。</p>
2. 活動期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで
3. 支援の内容	●実施した活動に対して、日当、交通費、備品購入費等、活動経費の一部を支援します。
4. 応募資格	<p>●河川レンジャーとして木津川上流域で活動していただける満 18 歳以上の方(H25. 4. 1 現在)で、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域固有の情報や知識に興味や関心がある方</li><li>・有能な河川レンジャーになれるよう日々熱意を持ち、自己研鑽や研修を惜しまない方</li><li>・公共施設の不正使用等の法令に違反する行為を行っていない方</li><li>・心身ともに健全で河川レンジャーとして活動できる方</li><li>・木津川上流管内河川レンジャー運営要領(案)を遵守できる方</li></ul>
5. 募集人数	●若干名
6. 選考方法	<p>●後日開催される推薦委員会において、河川レンジャーとして行いたい活動を発表(プレゼンテーション)していただき、委員会による審査により選考します。</p> <p>※プレゼンテーションは平成25年12月上旬に開催を予定しております。 ※開催日程等の詳細は、応募された方に後日ご案内いたします。</p>
7. 応募方法	●「木津川上流管内河川レンジャー応募書」に必要事項をご記入の上、事務局まで郵送またはFAXにて応募して下さい。
8. 応募締切日	●平成 25 年 10 月 29 日(火)まで
9. 選考結果の通知	●選考結果は、本人にお知らせします。(平成 25 年 12 月下旬予定)



<p>10. 応募先、 お問合せ先</p>	<p>●木津川上流管内河川レンジャー事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務担当 一般社団法人近畿建設協会名張支所内 〒518-0713 名張市平尾 2980-26 名張不動産ビル3階 TEL 0595-62-0476 (平日 AM10:00~PM5:00) FAX 0595-62-0477</li> <li>・国土交通省木津川上流河川事務所管理課 TEL 0595-63-1611(代表)</li> </ul> <p>※土日祝日の電話・窓口対応は行っておりません。ご了承下さい。</p>
<p>11. その他</p>	<p>●推薦委員会による選考の結果、河川レンジャーに任命された方は、以下の「河川レンジャー養成講座」を受講していただきます。</p> <p>【平成25年度 河川レンジャー養成講座】</p> <p>[開催日時] 平成26年2月中旬開催予定 (半日程度)</p> <p>[開催場所] 伊賀市小田町242 上野遊水地集中管理センター (国土交通省木津川上流河川事務所伊賀上野出張所構内)</p> <p>※開催日程等の詳細は、河川レンジャーに任命された方に後日ご案内いたします。</p>
<p>12. 主催</p>	<p>●国土交通省木津川上流河川事務所</p>

# 木津川上流管内河川レンジャー応募書

★氏名・年齢・性別・ご職業					
ふりがな		年齢	満 _____ 才 (H25. 4. 1 現在)	性別	男 ・ 女
氏 名	印				
ご職業	会社員 ・ 自営業 ・ 学生 ・ その他( )				
★住所・連絡先等					
住 所 連絡先	〒 _____				
	TEL : ( _____ )	—	( 自宅 ・ 携帯 )		
	FAX : ( _____ )	—	( 自宅 )		
	E-mail: _____ @ _____		( 自宅 ・ 携帯 )		
★応募理由等					
(河川レンジャーに応募した理由や、川にかかわる活動を行ったことがある場合はその活動内容や団体名等をご記入下さい。)					

★応募理由等

★河川レンジャー応募書 送付先

木津川上流管内河川レンジャー事務局

・事務担当 一般社団法人近畿建設協会名張支所内

(住所) 〒518-0713 名張市平尾 2980-26 名張不動産ビル 3階

(TEL) 0595-62-0476 (AM10:00~PM5:00) (FAX) 0595-62-0477

※ご記入いただいた個人情報は、木津川上流管内河川レンジャーの運営以外の目的には使用致しません。

[次第に戻る](#)